

令和 7 年度第 3 回国分寺市介護保険運営協議会 次第

日時：令和 7 年11月18日（火）午後 6 時30分～

会場：会議室 2 0 1

1 開会

2 議題

- ① 地域密着型サービス事業所の指定について（資料 1）
- ② 国分寺市高齢者保健福祉計画・第 10 期国分寺市介護保険事業計画・認知症施策推進計画策定に向けた各種基礎調査について（資料 2）

3 報告

- ① 令和 6 年度国分寺市地域包括支援センター事業報告・令和 7 年度国分寺市地域包括支援センター事業計画について（資料 3、4）
- ② 令和 7 年度保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金（インセンティブ交付金）の評価結果について（資料 5）
- ③ 隣接市の地域密着型サービス事業所の指定について（資料 6）
- ④ その他

4 閉会

地域密着型サービス事業所の指定更新に係る資料
(GENKINEXT国分寺光)

- 1 指定地域密着型サービス事業所 指定更新申請書写し
- 2 地域密着型通所介護事業所の指定に係る記載事項

指定地域密着型サービス事業所
指定地域密着型介護予防サービス事業所
指定居宅介護支援事業所
指定介護予防支援事業所



指定更新申請書

西暦2025年09月17日

国分寺市長 殿 所在地 群馬県伊勢崎市上泉町157番地1

申請者 名称 株式会社介護NEXT

代表者職名・氏名 代表取締役 大場隆幸

介護保険法に規定する事業所に係る指定の更新を受けたいので、下記のとおり、関係書類を添えて申請します。

		法人番号	2070001005873			
申請者	フリガナ	カブシキガイシャカイゴネクスト				
	名称	株式会社介護NEXT				
	主たる事務所の所在地	(郵便番号 372-0045) 群馬県伊勢崎市上泉町157番地1				
	連絡先	電話番号	0270-61-8960	(内線)	FAX番号	0270-61-8961
		Email	govt_information@kaigo-next.com			
事業所	代表者の職名・氏名・生年月日	職名	代表取締役	フリガナ	オオバタカユキ	
				氏名	大場隆幸	
	代表者の住所					
	事業等の種類	地域密着型通所介護	介護保険事業所番号	1373101441		
	指定有効期間満了日	西暦2025年10月31日				
事業所	フリガナ	ゲンキネクスト コクブンジヒカリ				
	名称	GENKINEXT 国分寺光				
	所在地	(郵便番号 185-0034) 東京都国分寺市光町1-20-25				
	当該事業所の所在地以外の場所に当該事業所の一部として使用される事務所を有するとき					
	フリガナ					
管理者	名称					
	主たる事務所の所在地	(郵便番号)				
	フリガナ	コバヤシユミ		生年月日		
	氏名	小林由美				
	住所					

- 備考 1 「事業等の種類」に該当する付表と必要書類を添付してください。
- 2 様式右上の申請者の所在地と様式中央の申請者欄の主たる事務所の所在地は必ず一致させる必要はありません。また、申請者欄の主たる事務所の所在地は、原則として、登記事項証明書の内容を記載してください。ただし、建物名や部屋番号を追記することも可能です。
- 3 電子申請届出システムを利用する際は、「事業等の種類」に該当する付表を入力してください。
- 4 「当該事業所の所在地以外の場所に当該事業所の一部として使用される事務所を有するとき」の対象が2つ以上の場合は、付表に該当する事業所を記入してください。

付表第二号(三) 地域密着型通所介護(療養通所介護)事業所の指定等に係る記載事項

事業所	法人番号	2070001005873								
	フリガナ	ゲンキネクスト コクブンジヒカリ								
	名 称	GENKINEXT 国分寺光								
	所在地	(郵便番号 185-0034) 東京都国分寺市光町1-20-25								
	連絡先	電話番号	042-505-5792 (内線)				FAX番号	042-505-5793		
管理者	フリガナ	コバヤシユミ		住所						
	氏 名	小林由美								
	生年月日									
	当該事業所で兼務する他の職種 (兼務の場合のみ記入)	生活相談員								
	他の事業所、施設等の職 務との兼務 (兼務の場合のみ記入)	兼務先の名称、所 在地						事業所番号		
	兼務先のサービス種別、兼務する職 種及び勤務時間等									
	共生型サービスの該当有無				無					
○設備に関する基準の確認に必要な事項										
食堂及び機能訓練室の合計面積 54 m ² 利用定員(同時利用) 15 人										
サービス提供 単位 1	○人員に関する基準の確認に必要な事項									
	従業者の職種・員数	生活相談員		看護職員		介護職員		機能訓練指導員		
		専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	
		常 勤(人)	0	2	0	0	1	1	1	0
	非常勤(人)	0	0	0	2	1	0	2	2	
	○設備に関する基準の確認に必要な事項									
	営業日 (該当に○)	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	祝日	
		○		○	○	○	○	○	○	
	その他(年末年始休日等)									
	営業時間	平日		8 : 30		~ 17		30		
曜日ごとに 異なる場合 記入		土曜日								
		日曜日・祝日								
サービス提供時間		9 : 00		~ 12		05				
利用定員		15 人								
サービス提供 単位 2	○人員に関する基準の確認に必要な事項									
	従業者の職種・員数	生活相談員		看護職員		介護職員		機能訓練指導員		
		専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	
		常 勤(人)	0	2	0	0	1	1	1	0
	非常勤(人)	0	0	0	2	1	0	2	2	
	○設備に関する基準の確認に必要な事項									
	営業日 (該当に○)	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	祝日	
		○		○	○	○	○	○	○	
	その他(年末年始休日等)									
	営業時間	平日		8 : 30		~ 17		30		
曜日ごとに 異なる場合 記入		土曜日								
		日曜日・祝日								
サービス提供時間		13 : 30		~ 16		35				
利用定員		15 人								
サービス提供 単位 3	○人員に関する基準の確認に必要な事項									
	従業者の職種・員数	生活相談員		看護職員		介護職員		機能訓練指導員		
		専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	
		常 勤(人)								
	非常勤(人)									
	○設備に関する基準の確認に必要な事項									
	営業日 (該当に○)	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	祝日	
	その他(年末年始休日等)									
	営業時間	平日				~				
曜日ごとに 異なる場合 記入		土曜日			~					
		日曜日・祝日			~					
サービス提供時間				~						
利用定員		人								
添付書類		別添のとおり								

国分寺市高齢者保健福祉計画・第10期国分寺市介護保険事業計画・認知症施策推進計画策定に向けた各種基礎調査について

介護保険法(第117条第5項)において市町村は、日常生活圏域ごとにおける被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他の事情を正確に把握した上で、これらの事情を勘案して、市町村介護保険事業計画を作成するよう努めることとされている。

第9期計画策定にあたっては、国から「実施いただきたい調査」として挙げられている介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査を含む7調査を実施した。

次期第10期計画策定は、国から「実施を検討いただきたい調査」として挙げられている在宅生活改善調査、居所変更実態調査、介護人材実態調査を、第9期に実施した7調査に組み込む形で実施を予定している。

新たに実施予定の3調査の概要は、以下のとおり。

I. 在宅生活改善調査

現在自宅等にお住まいの方で、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている方」もしくは「家族等介護者の就労継続が難しくなっている利用者」の人数、生活の維持もしくは就労の継続が難しくなっている理由、生活の改善、就労の継続のために必要な支援・サービス等を把握し、在宅生活や家族等介護者の就労継続につながる取組を検討する。

＜在宅生活改善調査では、例えば以下のような点に着目した集計が可能＞

- ・ 過去１年間で、自宅等から居所を変更した人（住み慣れた住まいで暮らすことができなくなった人）は、どの程度いるか
- ・ 現在、生活の維持が難しくなっている人、就労の継続が難しくなっている家族等介護者は、どの程度いるか
- ・ 生活の維持が難しくなっている方の、生活改善に必要な支援・サービスは何か

Ⅱ． 居所変更実態調査

過去１年間に施設・居住系サービスから居所を変更した方の人数や死亡した人数等を把握し、施設・居住系サービスでの生活の継続性を高めるために必要な機能について検討する。

＜居所変更実態調査では、例えば以下のような点に着目した集計が可能＞

- ・ 過去１年間で居所を変更した人と、死亡した人は、どの程度いるか
(どの程度の方が、最後までその施設等で暮らし続けることができたのか)
- ・ 居所を変更する理由として、多いものは何か（どのような機能を強化することで、その施設等で暮らし続けることができるようになるのか)

Ⅲ. 介護人材実態調査

介護人材の性別・年齢構成、資格保有状況、過去１年間の採用・離職の状況、訪問介護サービスにおけるサービス提供の実態などを把握し、職員の確保・定着、育成、もしくは業務改善に必要な取組等を検討する。

＜介護人材実態調査では、例えば以下のような点に着目した集計が可能＞

- ・サービス系統別の、介護職員の性別・雇用形態別の年齢構成は（サービス系統別に大きな偏りはみられないか）
- ・過去１年間の、サービス系統別の採用・離職の実態は（要介護者数の増加に比して、介護職員数は増加しているか）
- ・訪問介護のサービス提供に、見直しの余地はないか（生活援助について、地域のボランティア等が担う余地はないか）

一覧表

	在宅生活改善調査	居所変更実態調査	介護人材実態調査
目的	「要介護者の適切な在宅生活の継続」	「住み慣れた施設等における生活の継続」	「介護人材の確保、適切な役割分担の実現」
対象となる高齢者の居所	自宅、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム	住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム、グループホーム、（地域密着型）特定施設、介護老人保健施設、介護医療院、（地域密着型）特別養護老人ホーム	施設・居住系サービス、通所系サービス、訪問系サービス、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護
回答者	居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所、地域包括支援センターのケアマネジャー	上記施設の職員	上記施設の職員

（参考）第 10 期介護保険事業計画の作成に向けた手引き作成に資する調査研究事業報告書（令和 7 年 3 月）（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社）

インター	令和7年度第3回運協 資料2-1
申請者 I D	
パスワード	

国分寺市高齢者保健福祉計画・第10期国分寺市介護保険事業計画

高齢者福祉に関するアンケート

(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

ご あ い さ つ

調整中

令和8年2月28日(土)までに回答をお願いします。

調整中

【インターネット回答に関する問合せ先】

【問合せ先】

国分寺市 福祉部 高齢福祉課 計画・事業推進係

電話：042-312-8637 F A X：042-320-1180

※(土)(日)(祝)を除く午前8時30分から午後5時まで

問 1 あなたの家族や生活状況について

(1) 家族構成を教えてください

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 1人暮らし | 2 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) |
| 3 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | 4 息子・娘との2世帯 |
| 5 その他 | |

(2) 現在のあなたの就労状態はどれですか(いくつでも)

- | | | |
|--------------------|---------|--------------|
| 1. 職に就いたことがない | 2. 引退した | 3. 常勤(フルタイム) |
| 4. 非常勤(パート・アルバイト等) | 5. 自営業 | 6. 求職中 |
| 7. その他 | | |

(3) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

- 1 介護・介助は必要ない ⇒ (3)に進んでください
- 2 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒ ①に進んでください
- 3 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) ⇒ ①、②、③に進んでください

【(3)において「2」「3」を選択した方のみ】

① 介護・介助が必要になった主な原因を教えてください(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---|--|---|
| 1 <small>のうそっちゅう</small> 脳卒中 (<small>のうしゅつけつ・のうこうそく</small> 脳出血・脳梗塞等) | 2 心臓病 | 3 がん(悪性新生物) |
| 4 <small>はいきしゅ</small> 呼吸器の病気 (<small>はいきしゅ</small> 肺気腫・肺炎等) | 5 関節の病気(リウマチ等) | |
| 6 <small>にんちしょう</small> 認知症(アルツハイマー病等) | 7 パーキンソン病 | 8 <small>とうにょうびょう</small> 糖尿病 |
| 9 <small>じんしつかん</small> 腎疾患(透析) | 10 <small>しかく</small> 視覚・ <small>ちようかくしょうがい</small> 聴覚障害 | 11 <small>こっせつ</small> 骨折・ <small>てんとう</small> 転倒 |
| 12 <small>せきついそんしょう</small> 脊椎損傷 | 13 高齢による <small>すいじゃく</small> 衰弱 | 14 その他 () |
| 15 不明 | | |

【(3)において「3」を選択した方のみ】

② 主にどなたの介護、介助を受けていますか(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------|-----------|---------|
| 1 配偶者(夫・妻) | 2 息子 | 3 娘 |
| 4 子の配偶者 | 5 孫 | 6 兄弟・姉妹 |
| 7 介護サービスのヘルパー | 8 その他 () | |

【(3) において「3」を選択した方のみ】			市独自
③ ②の方の年齢を教えてください（あてはまるものすべてに○）			
1 20歳未満	2 20代	3 30代	
4 40代	5 50代	6 60代	
7 70代	8 80歳以上	9 わからない	
(4) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか			
1 大変苦しい	2 やや苦しい	3 ふつう	
4 ややゆとりがある	5 大変ゆとりがある		
(5) お住まいの種類を教えてください			
1 持家（一戸建て）	2 持家（集合住宅）		
3 <small>こうえいちんたいじゅうたく</small> 公営賃貸住宅	4 <small>みんかんちんたいじゅうたく</small> 民間賃貸住宅（一戸建て）		
5 <small>みんかんちんたいじゅうたく</small> 民間賃貸住宅（集合住宅）	6 借家		
7 その他			
【(5) において「2」「3」「5」を選択した方で、2階以上の階にお住まいの方のみ】			
① お住まいの集合住宅に、エレベーター又はエスカレーターは設置されていますか			
1 設置されている	2 設置されていない	市独自	

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか		
1 できるし、している	2 できるけどしていない	3 できない
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか		
1 できるし、している	2 できるけどしていない	3 できない
(3) 15分位続けて歩いていますか		
1 できるし、している	2 できるけどしていない	3 できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか			
1 何度もある	2 1度ある	3 ない	
(5) 転倒に対する不安は大きいですか			
1 とても不安である	2 やや不安である	3 あまり不安でない	4 不安でない
(6) 週に1回以上は外出していますか			
1 ほとんど外出しない	2 週1回	3 週2～4回	4 週5回以上
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか			
1 とても減っている	2 減っている	3 あまり減っていない	4 減っていない
(8) 外出を控えていますか			
1 はい		2 いいえ	
【(8)で「1」を選択した方のみ】			
① 外出を控えている理由を教えてください（あてはまるものすべてに○）			
1 病気	2 障害（ <small>しょうがい のうそっちゅう こういしょう</small> 脳卒中の後遺症など）		
3 足腰などの痛み	4 トイレの心配（失禁など）		
5 耳の障害（聞こえの問題など）	6 目の障害		
7 外での楽しみがない	8 経済的に出られない		
9 交通手段がない	10 その他（ ）		
(9) 外出する際の移動手段を教えてください（あてはまるものすべてに○）			
1 徒歩	2 自転車	3 バイク	
4 自動車（自分で運転）	5 自動車（人に乗せてもらう）	6 電車	
7 路線バス	8 病院や施設のバス	9 車いす	
10 電動車いす（カート）	11 歩行器・シルバーカー		
12 タクシー	13 その他（ ）		

問3 食べることについて

(1) 身長・体重

身長 cm

体重 kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

1 はい 2 いいえ

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

1 はい 2 いいえ

(4) 口の渇きが気になりますか

1 はい 2 いいえ

(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

1 はい 2 いいえ

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

- 1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

① 噛み合わせは良いですか

1 はい 2 いいえ

【(6) で「1」「3」を選択した方のみ】

② 毎日入れ歯の手入れをしていますか

1 はい 2 いいえ

(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

1 はい 2 いいえ

(8) どなたかと食事をとめる機会がありますか

- 1 毎日ある 2 週に何度かある 3 月に何度かある
4 年に何度かある 5 ほとんどない

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか

1 はい

2 いいえ

(2) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」等の物忘れがあると言われますか

市独自

1 はい

2 いいえ

(3) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

1 はい

2 いいえ

【(3) で「1」を選択した方のみ】

① 携帯電話やスマートフォンで操作可能なものを教えてください
(あてはまるものすべてに○)

市独自

1 電話

2 メール

3 ウェブ検索

4 SNS (LINE等)

5 アプリのダウンロード

6 写真・動画撮影

7 QRコード (読み取り・決済等)

8 携帯・スマートフォンを持っていない

(4) 今日が何月何日かわからない時がありますか

1 はい

2 いいえ

(5) 5分前のことが思い出せますか

1 はい

2 いいえ

市独自

(6) その日の活動(食事をする、衣服を選ぶ等)を自分で判断できますか

市独自

1 困難なくできる

2 いくらか困難であるが、できる

3 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要

4 ほとんど判断できない

(7) 人に自分の考えをうまく伝えられますか

市独自

1 伝えられる

2 いくらか困難であるが、伝えられる

3 あまり伝えられない

4 伝えられない

(8) 現在の耳の聞こえはどうか

市独自

1 よく聞こえる

2 時々聞こえが悪い感じがある

3 聞こえが悪いのでうまく会話できない

4 ほとんど聞こえない

(9) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)		
1 できるし、している	2 できるけどしていない	3 できない
(10) 自分で食品・日用品の買物をしていますか		
1 できるし、している	2 できるけどしていない	3 できない
(11) 自分で食事の用意をしていますか		
1 できるし、している	2 できるけどしていない	3 できない
(12) 自分で請求書の支払いをしていますか		
1 できるし、している	2 できるけどしていない	3 できない
(13) 自分で預貯金の出し入れをしていますか		
1 できるし、している	2 できるけどしていない	3 できない
(14) 年金などの書類 (役所や病院等に出す書類) が書けますか		
1 はい	2 いいえ	
(15) 新聞を読んでいますか		
1 はい	2 いいえ	
(16) 本や雑誌を読んでいますか		
1 はい	2 いいえ	
(17) 健康についての記事や番組に関心がありますか		
1 はい	2 いいえ	
(18) 友人の家を訪ねていますか		
1 はい	2 いいえ	
(19) 家族や友人の相談にのっていますか		
1 はい	2 いいえ	

(20) 病人を見舞うことができますか

1 はい

2 いいえ

(21) 若い人に自分から話しかけることがありますか

1 はい

2 いいえ

(22) 趣味はありますか

1 趣味あり



趣味を教えてください

2 思いつかない

(23) 生きがいがありますか

1 生きがいあり



生きがいを教えてください

2 思いつかない

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

	週4回 以上	週2～ 3回	週1回	月1～ 3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループ やクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための 通いの場（集いの場等）	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

1 是非参加したい 2 参加してもよい 3 参加したくない 4 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

1 是非参加したい 2 参加してもよい 3 参加したくない 4 既に参加している

問6 たすけあいについて
あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴^{ぐち}を聞いてくれる人はどなたですか（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-------------------------------|--------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他（ ） | 8 そのような人はいない | |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴^{ぐち}を聞いてあげる人はどなたですか
（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-------------------------------|--------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他（ ） | 8 そのような人はいない | |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか
（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-------------------------------|--------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他（ ） | 8 そのような人はいない | |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-------------------------------|--------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他（ ） | 8 そのような人はいない | |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| 1 自治会・町内会・老人クラブ | 2 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3 ケアマネジャー | 4 医師・歯科医師・看護師 |
| 5 地域包括支援センター・市役所 | 6 その他（ ） |
| 7 そのような人はいない | |

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 毎日ある | 2 週に何度かある | 3 月に何度かある |
| 4 年に何度かある | 5 ほとんどない | |

<p>(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか (同じ人には何度会っても1人と数えることとします)</p>		
1 0人 (いない)	2 1～2人	3 3～5人
4 6～9人	5 10人以上	
<p>(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (あてはまるものすべてに○)</p>		
1 近所・同じ地域の人	2 幼なじみ	3 学生時代の友人
4 仕事での同僚・元同僚	5 趣味や関心が同じ友人	
6 ボランティア等の活動での友人	7 その他	
8 いない		
<p>(9) あなたは、ご近所の方とどのようなお付き合いがありますか</p>		市独自
<p>1 日ごろから助け合っている 2 気のあった人とは親しくしている</p> <p>3 たまに立ち話をする程度 4 顔を合わせたら挨拶をする程度</p> <p>5 ほとんど付き合いはない 6 近所にどのような人がいるか知らない</p>		
<p>(10) あなたは、ご近所の方とのお付き合いは必要だと思いますか</p>		市独自
<p>1 必要だと思う 2 多少は必要だと思う</p> <p>3 あまり必要だとは思わない 4 必要だとは思わない</p>		

問7 健康等について

<p>(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか</p>										
1 とてもよい	2 まあよい	3 あまりよくない	4 よくない							
<p>(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数を○で囲んでください)</p>										
とても 不幸										とても 幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	
1 はい	2 いいえ
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	
1 はい	2 いいえ
(5) 習慣として運動（散歩、体操等を含む）をしていますか ※運動習慣のある人とは、「1回30分以上の運動を週2回以上1年以上続けている人」とされています	
1 している	2 していない
市独自	
【(5)において「2」を選択した方のみ】	
① 習慣として運動していない主な理由を教えてください（あてはまるものすべてに○）	
1 病気	2 <small>しょうがい のうそっちゅう こういしょう</small> 障害（脳卒中の後遺症等）
3 足腰等の痛み	4 トイレの心配（失禁等）
5 耳の障害（聞こえの問題等）	6 目の障害
7 外での楽しみがない	8 運動することがおっくうだ（面倒だ）
9 運動する気持ちはあるが続けられない	10 その他（ ）
(6) あなたは、栄養バランスの取れた食事をとっていますか（又はどのくらい関心がありますか）	
1 既にしている（6か月以上）	2 既にしている（6か月未満）
3 今後1か月以内にする予定である	4 今後6か月以内にする予定である
5 関心はあるが、今後6か月以内にする予定はない	6 関心がない
市独自	
(7) お酒は飲みますか	
1 ほぼ毎日飲む	2 時々飲む
3 ほとんど飲まない	4 もともと飲まない
(8) タバコは吸っていますか	
1 ほぼ毎日吸っている	2 時々吸っている
3 吸っていたがやめた	4 もともと吸っていない

(9) 現在治療中又は後遺症のある病気はありますか (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---|
| 1 ない | 2 高血圧 |
| 3 <small>のうそっちゅう のうしゅっけつ・のうこうそく</small>
脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) | 4 心臓病 |
| 5 <small>とうようびょう</small>
糖尿病 | 6 <small>こうしけっしょう ししつじょう</small>
高脂血症 (脂質異常) |
| 7 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 8 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 9 <small>じんぞう ぜんりつせん</small>
腎臓・前立腺の病気 | 10 <small>きんこっかく びょうき こつそ しょう</small>
筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) |
| 11 <small>がいしょう てんとう こっせつ</small>
外傷 (転倒・骨折等) | 12 がん (悪性新生物) |
| 13 <small>めんえき</small>
血液・免疫の病気 | 14 うつ病 |
| 15 <small>にんちしょう</small>
認知症 (アルツハイマー病等) | 16 パーキンソン病 |
| 17 目の病気 | 18 耳の病気 |
| 19 その他 () | |

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

【(2) において「1」を選択した方のみ】

① 認知症に関する次の相談先を知っていますか (あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------------|---------------------|---------------|
| 1 地域包括支援センター | 2 市役所 | 3 認知症疾患医療センター |
| 4 かかりつけ医 | 5 おれんじCafé (認知症カフェ) | |
| 6 認知症の家族の会 (きさらぎ会等) | 7 その他 () | |

以下すべて市独自質問

問9 その他

(1) あなたは、高齢者の相談窓口として、地域包括支援センターを知っていますか

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1 利用したことがある | 2 利用したことはないが、役割は知っている |
| 3 名前を聞いたことがある程度 | 4 知らない |

(2) 認知症についてどの程度知っていますか

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 よく知っている | 2 ある程度知っている |
| 3 あまり知らない | 4 まったく知らない |

(3) 消費者被害等に関して、次のような対策をしていますか（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1 日頃から家族で話し合っている | 2 電話でお金のお話をしないと約束している |
| 3 家族で事前に合言葉を決めておく | 4 常に留守番電話に設定している |
| 5 自動通話録音機を設置している | 6 国分寺市生活安全・安心メールに登録している |
| 7 公的機関に相談する
（警察や消費生活センターなど） | 8 対策はしていない |

(4) あなたは、成年後見制度を知っていますか

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 どのような制度か知っている | ⇒ (5) に進んでください |
| 2 どのような制度か知らない | ⇒ (7) に進んでください |

※「成年後見制度」とは、認知症等によって判断能力に不安がある方が、一方的に不利益な契約を結ぶことがないように、補助人、保佐人、後見人が、本人の判断能力を補い、保護する制度です。

【(4) において「1」を選択した方のみ】

(5) 今後判断能力に不安が生じた場合、成年後見制度を利用したいですか

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 利用したい | ⇒ (7) に進んでください |
| 2 利用したくない | ⇒ (6) に進んでください |

【(5) において「2」を選択した方のみ】

(6) 成年後見制度を利用したくないと考える理由を教えてください（3つまで選択可）

- | |
|------------------------|
| 1 手続きが複雑である |
| 2 申立費用・報酬費用等の負担がある |
| 3 後見人等に金銭管理等をゆだねることが心配 |

- 4 他人に財産状況や生活状況を知られたくない
- 5 家族等の介護者が元気なうちは、介護者に金銭管理等をしてもらいたい
- 6 利用のタイミングがわからない
- 7 誰が後見人等に選任されるか不安である
- 8 その他（ ）

(7) 今後の就労希望についておうかがいします

- 1 ほぼ毎日働きたい
- 2 週に2～3日程度働きたい
- 3 月に数日程度働きたい
- 4 働きたくない

(8) あなたは、人生の最期のときをどこで迎えたいですか

- 1 自宅
- 2 病院等の医療施設
- 3 子どもの家
- 4 兄弟姉妹等親族の家
- 5 高齢者向けのケア付き住宅
- 6 特別養護老人ホーム等の福祉施設
- 7 その他（ ）
- 8 わからない

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて2月28日（土）までにポストに投函してください。（切手は不要です）

	令和7年度第3回運協 資料2-2
申請者 I D	
パスワード	

国分寺市高齢者保健福祉計画・第10期国分寺市介護保険事業計画

高齢者福祉に関するアンケート

(在宅介護実態調査)

調整中

令和8年2月28日(土)までに回答をお願いします。

調整中

【問合せ先】

国分寺市 福祉部 高齢福祉課 計画・事業推進係

電話：042-312-8637 F A X：042-320-1180

※(土)(日)(祝)を除く午前8時30分から午後5時まで

個人情報の取扱いについて

この調査は、在宅介護に関する調査・分析を目的とするもので、国分寺市が下記業者に委託し、実施するものです。回答用紙は、個人情報の取扱いについての同意書を兼ねております。

下記処理委託先は、個人情報の取扱いにつきまして、厳重な保護管理体制を構築し、業務を推進しております。配送業務等を外部に委託する場合にも、委託先の選定に関する厳格な基準を設け、これに合致した委託先にのみ業務を委託しております。

処理委託先



同 意 書

国分寺市長 殿

国分寺市が実施する本調査内容及び要支援・要介護認定情報を、「国分寺市高齢者保健福祉計画・第10期国分寺市介護保険事業計画」策定及び介護保険事業に使用することについて同意いたします。

令和 年 月 日

ご本人氏名

主な介護者氏名

1 ご本人 2 主な介護者となっている家族・親族
3 主な介護者以外の家族・親族 4 ご本人のケアマネジャー
5 その他（ ）

1 基本情報・サービス利用意向等について

1 単身世帯 2 夫婦のみ世帯 3 その他

1 要支援 1	2 要支援 2	
3 要介護 1	4 要介護 2	5 要介護 3
6 要介護 4	7 要介護 5	8 わからない

1 入所・入居は検討していない ⇒ 問4へ

2 入所・入居を検討している 3 すでに入所・入居申し込みをしている

1 個室 2 多床室（大部屋）

3 個室でも多床室（大部屋）でもどちらでもいい 4 わからない

問3-2 個室あるいは多床室（大部屋）を希望される理由があれば、ご自由にご記入ください

市独自

問4 現在抱えている傷病を教えてください（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---|---|
| 1 <small>のうけっかんしっかん</small> 脳血管疾患（ <small>のうそっちゅう</small> 脳卒中） | 2 <small>しんしっかん</small> 心疾患（ <small>しんぞうびょう</small> 心臓病） |
| 3 <small>あくせいしんせいぶつ</small> 悪性新生物（がん） | 4 <small>こきゅうきしっかん</small> 呼吸器疾患 |
| 5 <small>じんしっかん</small> 腎疾患（ <small>とうせき</small> 透析） | 6 <small>きんこつかくけいしっかん</small> 筋骨格系疾患（ <small>こつ そ</small> 骨粗しょう症、 <small>しょう</small> 脊柱管狭窄症等） |
| 7 <small>こうげんびょう</small> 膠原病（ <small>かんせつ</small> 関節リウマチ含む） | 8 <small>へんけいせいいかんせつしっかん</small> 変形性関節疾患 |
| 9 <small>にんちしょう</small> 認知症 | 10 <small>びょう</small> パーキンソン病 |
| 11 <small>なんびょう</small> 難病（ <small>びょう</small> パーキンソン病を除く） | 12 <small>とうようびょう</small> 糖尿病 |
| 13 <small>がんか</small> 眼科・ <small>じ</small> 耳鼻科疾患
（ <small>しかく</small> 視覚・ <small>ちょうかくしょうがい</small> 聴覚障害を伴うもの） | 14 その他（ ） |
| 15 なし | 16 わからない |

問5 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）介護保険サービスを利用していますか

- 1 利用している ⇒ 問6へ
2 利用していない ⇒ 問7へ

【問5で「2」を選択した方のみ】

問6 介護保険サービスを利用していない理由を教えてください（あてはまるものすべてに○）

- 1 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない 2 本人にサービス利用の希望がない
3 家族が介護をするため必要ない 4 以前、利用していたサービスに不満があった
5 利用料を支払うのが難しい 6 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8 サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない
9 その他（ ）

問7 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスを教えてください（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|------------------|----------------------|---------|
| 1 配食 | 2 調理 | 3 掃除・洗濯 |
| 4 買い物（宅配は含まない） | 5 ゴミ出し | |
| 6 移外出同行（通院、買い物等） | 7 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | |
| 8 見守り、声かけ | 9 サロン等の定期的な通いの場 | |
| 10 その他（ ） | 11 利用していない | |

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）を教えてください（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|----------------------|--------------------------------|-----------------|
| 1 配食 | 2 調理 | 3 掃除・洗濯 |
| 4 買い物（宅配は含まない） | 5 ゴミ出し | 6 外出同行（通院、買い物等） |
| 7 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | 8 見守り、声かけ | |
| 9 サロン等の定期的な通いの場 | 10 その他（ ） | |
| 11 特になし | | |

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問9 現在、訪問診療を利用していますか

- | | |
|----------|-----------|
| 1 利用している | 2 利用していない |
|----------|-----------|

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

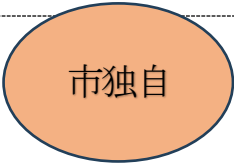
2 ご家族やご親族からの介護について

問10 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）

- | | |
|--------------------------|------------|
| 1 ない ⇒ 問13へ | |
| 2 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない | 3 週に1～2日ある |
| 4 週に3～4日ある | 5 ほぼ毎日ある |

【問10において「1」以外を選択した方のみ】

問11 ご自身が受けている介護のことで、悩んでいるときに、どこに相談・連絡しますか（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-------------------------------|----------------------------------|---|
| 1 地域包括支援センター | 2 市役所 |  |
| 3 家族 | 4 ケアマネジャー | |
| 5 医療機関（主治医） | 6 介護事業所（訪問介護サービス事業所、訪問看護ステーション等） | |
| 7 その他（ ） | | |

3 成年後見制度について

成年後見制度の質
問はすべて市独自

問12 成年後見制度を知っていますか

- 2 どのような制度が知らない ⇒ A票の設問は以上です。B票に進んでください。

※「成年後見制度」とは、認知症等によって判断能力に不安がある方が、一方的に不利益な契約を結ぶことがないように、補助人、保佐人、後見人が、本人の判断能力を補い、保護する制度です。

【問12において「1」を選択した方のみ】

問 13 今後判断能力に不安が生じた場合、成年後見制度を利用したいですか

- 1 利用したい ⇒ A票の設問は以上です。B票に進んでください。
- 2 利用したくない

【問 13 において「2」を選択した方のみ】

問 14 成年後見制度を利用したくないと考える理由を教えてください（3つまで選択可）

- 1 手続きが複雑である
- 2 申立費用・報酬費用等の負担がある
- 3 後見人等に金銭管理等をゆだねることが心配
- 4 他人に財産状況や生活状況を知られたくない
- 5 家族等の介護者が元気なうちは、介護者に金銭管理等をしてもらいたい
- 6 利用のタイミングがわからない
- 7 誰が後見人等に選任されるか不安である
- 8 その他（

ご本人が、ご家族やご親族（同居していない子どもや親族を含む）からの介護を受けていない場合は、アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて2月28日（土）までにポストに投函してください。（切手は不要です）

ご本人が、ご家族やご親族（同居していない子どもや親族を含む）からの介護を受けている場合は、以下のB票への記入をお願いします。

B票は、「主な介護者」の方が記入してください。「主な介護者」の方のご記入が難しい場合は、ご本人が記入してください。（ご本人の記入が難しい場合は、無回答で結構です）。

B票

主な介護者の方について、お伺いします

（ご家族やご親族の方からの介護を受けている方）

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）
（あてはまるものすべてに○）

- 1 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
- 2 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
- 3 主な介護者が転職した
- 4 主な介護者以外の家族・親族が転職した
- 5 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
- 6 わからない

※ 自営業や農林水産業の仕事を辞めた方を含みます。

問2 主な介護者の方は、どなたですか

- | | | |
|-------|---------|---------------------|
| 1 配偶者 | 2 子 | 3 子の配偶者 |
| 4 孫 | 5 兄弟・姉妹 | 6 その他（ ） |

問3 主な介護者の方の年齢を教えてください

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1 20歳未満 | 2 20代 | 3 30代 |
| 4 40代 | 5 50代 | 6 60代 |
| 7 70代 | 8 80歳以上 | 9 わからない |

問4 現在、主な介護者の方が行っている介護等を教えてください
(あてはまるものすべてに○)

【身体介護】

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1 日中の排泄 | 2 夜間の排泄 |
| 3 食事の介助（食べる時） | 4 入浴・洗身 |
| 5 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6 衣服の着脱 |
| 7 屋内の移乗・移動 | 8 外出の付き添い、送迎等 |
| 9 服薬 | 10 認知症状への対応 |
| 11 医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等） | |

【生活援助】

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 12 食事の準備（調理等） | 13 その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等） |
| 14 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

【その他】

- | | |
|---------------|----------|
| 15 その他
() | 16 わからない |
|---------------|----------|

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等を教えてください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

【身体介護】

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1 日中の排泄 | 2 夜間の排泄 |
| 3 食事の介助（食べる時） | 4 入浴・洗身 |
| 5 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6 衣服の着脱 |
| 7 屋内の移乗・移動 | 8 外出の付き添い、送迎等 |
| 9 服薬 | 10 認知症状への対応 |
| 11 医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等） | |

【生活援助】

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 12 食事の準備（調理等） | 13 その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等） |
| 14 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

【その他】

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 15 その他
() | 16 不安に感じていることは、特にない |
| 17 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問6 主な介護者の方の現在の勤務形態を教えてください

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1 フルタイムで働いている | ⇒ 問7～問10へ |
| 2 パートタイムで働いている | ⇒ 問7～問10へ |
| 3 働いていない | ⇒ 問10へ |
| 4 主な介護者に確認しないと、わからない | ⇒ 問10へ |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

【問6で「1」「2」を選択した方のみ】

問7 主な介護者の方は、介護をするにあたって、働き方についての調整等を行っていますか（あてはまるものすべてに○）

- 1 特に行っていない
- 2 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
- 3 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
- 4 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
- 5 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
- 6 主な介護者に確認しないと、わからない

【問6で「1」「2」を選択した方のみ】

問8 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

- 1 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
- 2 介護休業・介護休暇等の制度の充実
- 3 制度を利用しやすい職場づくり
- 4 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制等）
- 5 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワーク等）
- 6 仕事と介護の両立に関する情報の提供
- 7 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
- 8 介護をしている従業員への経済的な支援
- 9 その他（）
- 10 特にない
- 11 主な介護者に確認しないと、わからない

【問6で「1」「2」を選択した方のみ】

問9 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 問題なく、続けていける | 2 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3 続けていくのは、やや難しい | 4 続けていくのは、かなり難しい |
| 5 主な介護者に確認しないと、わからない | |

【主な介護者の方が記入した場合のみ回答してください】

問10 次の項目について、主な介護者の方の状態や気持ちに最も近いものを、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

	市独自	よくあてはまる	どちらかというあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
1 睡眠時間や休息時間がとれない		1	2	3	4
2 自分の健康が保てない		1	2	3	4
3 ストレスがたまっている		1	2	3	4
4 精神的・肉体的疲労感が限界である		1	2	3	4
5 自分ひとりが我慢すれば済むと思うことがある		1	2	3	4
6 介護を続けていく自信がない		1	2	3	4
7 共倒れしてしまうのではないかとと思うことがある		1	2	3	4
8 ご本人についつらくあたってしまうことがある		1	2	3	4
9 ご本人と意思疎通ができない		1	2	3	4
10 誰も自分の大変さを理解してくれない		1	2	3	4
11 家族や親族等の理解・協力が得られない		1	2	3	4
12 適切な介護の方法や、その相談窓口がわからない		1	2	3	4
13 経済的負担が大きい		1	2	3	4

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて2月28日（土）までにポストに投函してください。（切手は不要です）

インタ	令和 7 年度第 3 回運協 資料 2 - 3
申請者 I D	
パスワード	

国分寺市高齢者保健福祉計画・第 10 期国分寺市介護保険事業計画

高齢者福祉に関するアンケート

(施設等利用者及び家族状況調査)

調整中

令和 8 年 2 月 28 日 (土) までに回答をお願いします。

調整中

【問合せ先】

【問合せ先】

国分寺市 福祉部 高齢福祉課 計画・事業推進係

電話：042-312-8637 F A X：042-320-1180

※(土)(日)(祝)を除く午前8時30分から午後5時まで

★調査票を記入されたのはどなたですか

1 ご本人が記入

2 ご本人に回答を確認しながら、ご本人以外の方が記入

3 ご本人の立場に立って、ご本人以外の方が記入

➔ ★記入された方はどなたですか

1 配偶者

5 その他の親族

2 兄弟姉妹、親

6 施設等の担当職員

3 子ども、孫

7 その他（

4 子どもの配偶者、孫の配偶者

）

問 1 施設等入所者ご本人（以下、「ご本人」）の状況について

（１）年齢

1 40歳～64歳

2 65歳～69歳

3 70歳～74歳

4 75歳～79歳

5 80歳～84歳

6 85歳以上

（２）現在入所（入居）している施設等

1 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

2 介護老人保健施設（老人保健施設）

3 介護医療院（介護療養型医療施設）

4 有料老人ホーム・ケアハウス（特定施設）

5 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

6 その他（

）

➔ （２）－１ 居室のタイプ

1 個室

2 多床室（大部屋）

3 わからない

(3) 現在の施設等に入所（入居）した主な理由を教えてください（あてはまるものすべてに○）

- 1 24時間介護やケアが受けられるから
- 2 専門的な介護やケアが受けられるから
- 3 ケア内容や設備等がいいから
- 4 手厚い介護を必要とするから
- 5 一人で住むには不安があるから
- 6 家族に迷惑をかけたくないから
- 7 介護者が高齢等のため、身体介護が困難になったから
- 8 ご本人が現在の施設等への入所（入居）を希望したから
- 9 自宅の構造が介護に適さないから
- 10 防犯、防災等の面で安心できるから
- 11 医療的な対応を受けられるから
- 12 費用負担が安くなるから
- 13 自宅から近いから
- 14 その他（)

(4) 施設等の所在地

- | | |
|---------|---------|
| 1 国分寺市内 | 2 国分寺市外 |
|---------|---------|

(5) 現在入所（入居）している施設等は、どのくらいの期間、利用されていますか

- | | | | |
|---|---------------|---|-------------|
| 1 | 3 か月未満 | 5 | 3 年以上 5 年未満 |
| 2 | 3 か月以上 6 か月未満 | 6 | 5 年以上 |
| 3 | 6 か月以上 1 年未満 | 7 | わからない |
| 4 | 1 年以上 3 年未満 | | |

(6) 現在の施設等に申込みをしてから入所（入居）するまで、どの程度待ちましたか

- | | | | |
|---|---------------|---|-------------|
| 1 | 待たずに入れた | 5 | 1 年以上 3 年未満 |
| 2 | 3 か月未満 | 6 | 3 年以上 |
| 3 | 3 か月以上 6 か月未満 | 7 | わからない |
| 4 | 6 か月以上 1 年未満 | | |

(7) 現在の施設等に入所（入居）する前に、入所（入居）していた施設等（あるいはお住まい）

- | |
|-------------------------|
| 1 自宅 |
| 2 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） |
| 3 介護老人保健施設（老人保健施設） |
| 4 介護医療院（介護療養型医療施設） |
| 5 有料老人ホーム・ケアハウス（特定施設） |
| 6 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） |
| 7 その他（ ） |

(8) 入所（入居）前の家族構成

- | |
|-------------------------------|
| 1 ひとり暮らし |
| 2 夫婦のみのふたり暮らし（ともに65歳以上） |
| 3 夫婦のみのふたり暮らし（夫・妻のどちらかが65歳以上） |
| 4 夫婦のみのふたり暮らし（ともに65歳未満） |
| 5 家族と同居（子どもと同居等） |
| 6 その他の世帯 |
| 7 わからない |

(9) 現在の要介護度

(※有効期間が満了している方で新しい結果が出ていない方は、有効期間満了時の介護度を記入)

- | | |
|--------|--------|
| 1 要介護1 | 4 要介護4 |
| 2 要介護2 | 5 要介護5 |
| 3 要介護3 | |

問2 施設等での生活について

(1) 日常的な金銭管理・預貯金通帳等の管理は誰が行っていますか

- | | |
|---------|----------|
| 1 ご本人 | 4 成年後見人 |
| 2 家族や親族 | 5 その他（ ） |
| 3 施設等職員 | |

(2) 日頃楽しみにしていることを教えてください（3つまで選択可）

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 家族や親族との団らん | 8 散歩 |
| 2 友人や知人との団らん | 9 趣味や学習活動 |
| 3 施設等職員との団らん | 10 リハビリテーション |
| 4 ボランティアや地域の人との交流 | 11 買い物 |
| 5 施設等でのイベントや行事 | 12 散髪や化粧 |
| 6 施設等での食事 | 13 その他 |
| 7 入浴 | （ ） |

- 1 穏やかに毎日を過ごせている
- 2 生活が維持できている
- 3 自分でできることが増えた
- 4 日々の生活に張りが出た
- 5 健康が維持・向上した
- 6 筋力等身体機能が維持・向上した
- 7 その他（ ）
- 8 特に良くなったと感じることはない

1	おおむね満足している
2	どちらかといえば満足している
3	どちらかといえば満足していない
4	満足していない

1 現在の施設等で介護や治療を受けながら暮らし続けたい

2 緊急時に治療を受けられる病院で暮らしたい

3 介護付き有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で暮らしたい

4 自宅で医療や介護を受けながら暮らしたい

5 その他（ ）

1 個室	3 個室でも多床室（大部屋）でもどちらでもよい
2 多床室（大部屋）	4 わからない

問3 施設等サービスで大切なことについて

(1) 施設等サービスで、特に大切だと思うものはどれですか(5つまで選択可)

- 1 特別養護老人ホームや介護老人保健施設等、介護保険施設の充実
- 2 有料老人ホームやグループホーム等、居住系施設の充実
- 3 高齢者向けの賃貸住宅の充実
- 4 リハビリ機能の充実
- 5 レクリエーション内容の工夫
- 6 事業者情報の充実
- 7 ボランティアや地域の人との交流
- 8 施設等入所時の食費や居住費の補助
- 9 その他 ()

問4 ご意見・ご要望について

(1) 施設等での生活の質を向上させるために必要なこと等、ご意見・ご要望等がありましたらご自由にご記入ください

<hr/> <hr/>

次のページからはご本人のご家族の方がお答えください。

ご家族のいない方、ご家族が遠方にお住まいのため回答できない場合は、これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて 2月28日(土)までに ポストに投函してください。(切手は不要です)

イン	令和7年度第3回運協 資料2－4
申請者 I D	
パスワード	

●本調査票は、次の事業についてご記入ください

事業種別	
------	--

国分寺市高齢者保健福祉計画・第10期国分寺市介護保険事業計画

高齢者福祉に関するアンケート

(介護保険事業者調査)

調整中

別紙「ご記入に際してのお願い」をご確認いただき、
令和8年2月28日（土）までに回答をお願いします。

1 貴事業所の概要

問1 次の(1)～(5)について教えてください

(1)法人格の種類	1 社会福祉法人 2 特定非営利活動法人 (NPO法人) 3 株式会社 4 有限会社 5 医療法人 6 生活協同組合 7 その他 ()																									
(2)所在地	1 国分寺市内 2 国分寺市外																									
(3)該当するサービス種別 (介護予防を含む)	1. 住宅型有料老人ホーム 2. 軽費老人ホーム (特定施設除く) 3. サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く) 4. グループホーム 5. 特定施設 6. 地域密着型特定施設 7. 介護老人保健施設 8. 介護医療院 9. 特別養護老人ホーム 10. 地域密着型特別養護老人ホーム 11. 訪問系サービス (訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス (総合事業)) 12. 小規模多機能型居宅介護 13. 看護小規模多機能型居宅介護 14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 15. 通所介護 (デイサービス) 16. 通所リハビリテーション 17. 認知症対応型通所介護 18. 通所型サービスB																									
(4)職員体制	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th colspan="2">正 規 職 員</th><th colspan="2">正規職員以外</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">常勤労働者</td><td rowspan="2">人</td><td>うち外国人労働者 人</td><td rowspan="2">人</td><td>うち外国人労働者 人</td></tr> <tr> <td></td><td>うち派遣職員 人</td></tr> <tr> <td rowspan="2">短時間労働者</td><td rowspan="2">人</td><td>うち外国人労働者 人</td><td rowspan="2">人</td><td>うち外国人労働者 人</td></tr> <tr> <td></td><td>うち派遣職員 人</td></tr> <tr> <td rowspan="2">登録ヘルパー (訪問介護事業所のみ)</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">人</td><td>うち外国人労働者 人</td></tr> <tr> <td>うち派遣職員 人</td></tr> </tbody> </table>		正 規 職 員		正規職員以外		常勤労働者	人	うち外国人労働者 人	人	うち外国人労働者 人		うち派遣職員 人	短時間労働者	人	うち外国人労働者 人	人	うち外国人労働者 人		うち派遣職員 人	登録ヘルパー (訪問介護事業所のみ)			人	うち外国人労働者 人	うち派遣職員 人
	正 規 職 員		正規職員以外																							
常勤労働者	人	うち外国人労働者 人	人	うち外国人労働者 人																						
				うち派遣職員 人																						
短時間労働者	人	うち外国人労働者 人	人	うち外国人労働者 人																						
				うち派遣職員 人																						
登録ヘルパー (訪問介護事業所のみ)			人	うち外国人労働者 人																						
				うち派遣職員 人																						

	<p>ここでは、以下のとおり分類します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常勤労働者：事業所の定める所定労働時間をすべて勤務する方 ・短時間労働者：労働時間が、常勤労働者より少ない方（登録ヘルパーを除く） ・登録ヘルパー：働くことができる時間を事業所に登録しておき、本人の都合の良い時だけ勤務する方（訪問介護事業所のみ） ・正規職員以外：「派遣・契約・臨時・パートタイム」職員等の方
(5) 正規職員の勤務年数	<p>1年未満 () 人</p> <p>1～3年未満 () 人</p> <p>3年以上 () 人</p> <p>※() 人の数字の合計が(4)の正規職員の合計となるようにご記入ください</p>
(6) 短時間労働者・登録ヘルパーの勤務年数	<p>1年未満 () 人</p> <p>1～3年未満 () 人</p> <p>3年以上 () 人</p> <p>※() 人の数字の合計が(4)の短時間労働者、登録ヘルパーの合計となるようにご記入ください</p>

問2 貴事業所において安定的に事業所運営を行うにあたり、不足していると感じる職員数は、常勤換算で何人になりますか。また、頭数では何人になりますか。

1. 常勤換算 () 人	2. 頭数 () 人
3. 不足していない	

問3 貴事業所は開設から1年以上経過していますか

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問4 過去1年間（令和7年2月1日～令和8年1月31日）に採用した人数、離職した人数を常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めて教えてください

	常勤		非常勤	
	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数
常勤労働者	人	人	人	人
短時間労働者	人	人	人	人

問 1 (3) で選択肢11～14の訪問系サービス、15以降の通所系サービスを選択した事業者は、問13へお進みください。

選択肢 1～10の施設・居住系サービスを選択した事業者は、問 4 以降の質問すべてにお答えください。

2 居所変更の実態について

問 5 貴施設等の入所・入居者について、教えてください。

(1) 利用者定員数	人									
(2) (貴施設の) 待機者数	人									
(3) 特別養護老人ホームの待機者数(申込者数)	人									
(4) 現在の入所・入居者数(要支援・要介護度別)	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中 ・不明	合計
										人

問 6 貴施設等で、以下の医療処置が必要な利用者の受け入れは可能ですか。(あてはまる項目全てに○)

1) 点滴の管理	9) 経管栄養
2) 中心静脈栄養	10) モニター測定
3) 透析	11) 褥瘡の処置
4) ストーマの処置	12) カテーテル
5) 酸素療法	13) 喀痰吸引
6) レスピレーター	14) インスリン注射
7) 気管切開の処置	15) 上記に対応可能な医療処置はない
8) 疼痛の看護	

問 7 現在、上記の医療処置を受けている入所・入居者の合計人数をご回答ください。(数値を記入)

※問 5 の医療処置を受けている入所・入居者の合計 (実人数)

人

問 8 過去 1 年間 (令和 7 年 2 月 1 日～令和 8 年 1 月 31 日) に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。

人

問 9 問 7 の過去 1 年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。

1) 自宅	人	8) 介護老人保健施設	人
2) 住宅型有料老人ホーム	人	9) 介護医療院	人
3) 軽費老人ホーム (特定施設除く)	人	10) 特別養護老人ホーム	人
4) サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く)	人	11) 地域密着型特別養護老人ホーム	人
5) グループホーム	人	12) 病院・診療所 (一時的な入院を除く)	人
6) 特定施設	人	13) その他	人
7) 地域密着型特定施設	人	14) 入居・入所する前の居場所を把握していない	人

問 10 過去 1 年間 (令和 7 年 2 月 1 日～令和 8 年 1 月 31 日) に、貴施設等を退去した人の人数を要介護度別にご記入ください。

自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中 ・不明	貴施設等での死亡 (搬送先での死亡も含む)	合計

問11 問9でご記入いただいた過去1年間の退去者について、退去先別の人数をご記入ください。

1) 自宅 ※兄弟・子ども・親戚等の家含む	人	9) 介護医療院	人
2) 住宅型有料老人ホーム	人	10) 特別養護老人ホーム	人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	人	11) 地域密着型特別養護老人ホーム	人
4) サービス付き高齢者向け住宅 （特定施設除く）	人	12) 病院・診療所（上記「9」を除く）	人
5) グループホーム	人	13) その他	人
6) 特定施設	人	14) 行先を把握していない	人
7) 地域密着型特定施設	人	15) 死亡	人
8) 介護老人保健施設	人		

問12 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として最も多いものを3つまで選択してください。

1) 必要な生活支援が発生・増大したから	6) 入所・入居者の状態等が改善したから
2) 必要な身体介護が発生・増大したから	7) 入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから
3) 認知症の症状が悪化したから	8) 費用負担が重くなったから
4) 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	9) 本人が希望したから
5) 「1」～「4」以外の状態像が悪化したから	10) その他

問13 貴事業所で入居・入所者が退去するのはどのような場合が多いですか。よくあるケースについてお答えください。（自由回答）

2 利用者の人権の尊重について

問14 貴事業所において、利用者の意思や尊厳の尊重、事業所内での虐待防止等、利用者の人権を擁護するために講じている取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

- 1 認知症、高齢者虐待防止等に関する研修を実施したり、外部研修へ参加をしている
- 2 他事業所と情報交換等の交流をしている
- 3 人員配置上の工夫をしている（夜勤体制の強化等）
- 4 事業所内外の多職種（医師やケアマネジャー等）間の連携を高めている
- 5 規則等の再検討や、業務内容（一斉介助や流れ作業等）の見直しを行っている
- 6 トラブルが発生したとき、利用者及び家族が最初に連絡できる職員を明確にしている
- 7 苦情対応等の対応状況に関する点検評価を外部から受ける仕組みを導入している
- 8 家族等にサービスの内容を知らせている
- 9 事業所の情報公表を進めている（福祉サービス第三者評価等の利用）
- 10 その他（ ）
- 11 特にない

3 事故防止、感染予防の取組について

問15 サービス提供を通して利用者の身に起こり得る「事故（例：転倒・誤嚥等）」について、貴事業所で事故防止や、事故を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 事故防止マニュアルの作成 | 6 救急車の呼び方マニュアルの作成 |
| 2 事故防止研修の実施 | 7 応急処置技能研修の実施 |
| 3 事故防止ミーティングの実施 | 8 その他（ ） |
| 4 ヒヤリ・ハット報告の徹底 | 9 特にない |
| 5 事故発生時の対応マニュアルの作成 | |

問15-1 講じていると選択した取組において、効果があったと思う取組はありますか（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 事故防止マニュアルの作成 | 6 救急車の呼び方マニュアルの作成 |
| 2 事故防止研修の実施 | 7 応急処置技能研修の実施 |
| 3 事故防止ミーティングの実施 | 8 その他（ ） |
| 4 ヒヤリ・ハット報告の徹底 | 9 特にない |
| 5 事故発生時の対応マニュアルの作成 | |

問16 サービス提供を通して利用者の身に起こり得る「感染症の伝播」（職員から利用者、利用者から利用者、来訪者等の部外者から利用者）について、貴事業所で講じている予防策にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

1 感染症予防マニュアルの作成	6 職員への手洗い・うがい・消毒の奨励
2 職員への感染症の正しい知識の提供	7 職員への予防接種の実施
3 職員への利用者の感染状況に関わる 情報提供	8 入浴順を工夫する等の個別対応
4 職員への手袋や被服等の貸与	9 その他（ ）
5 安全衛生ミーティング	10 特にない

問17 今後起こり得る「大規模災害（例：地震・台風等）」について、貴事業所で被害を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

1 避難計画・方針の策定	
2 避難訓練の実施	
3 食料品等の備蓄	
4 自治会等の地域組織との連携	
5 その他（ ）	
6 特にない	

4 利用者からの苦情・相談内容とその対応について

問18 利用者やその家族から、どのような苦情や相談が多いですか（3つまで選択可）

1 サービスの質	
2 従事者の態度	
3 管理者等の対応	
4 説明・情報の不足	
5 契約・手続関係	
6 具体的な被害・損害	
7 利用者の金銭的な負担	
8 その他（ ）	
9 特にない	

問19 苦情や相談の対応体制について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

(1) 苦情相談窓口	1 ある	2 ない
(2) 担当者の配置	1 ある	2 ない
(3) 苦情相談マニュアル	1 ある	2 ない
(4) 苦情相談記録簿	1 ある	2 ない
(5) 職員間で共通認識を持つ機会	1 ある	2 ない
(6) 職員間で具体的な対応策について検討	1 ある	2 ない
(7) その他（ある場合のみ記入）	〔 〕	

5 サービスの質の向上に向けた課題について

問20 貴事業所で課題となっているものはどれですか（あてはまるものすべてに○）

<p>【経営面】</p> <p>1 提供するサービスの量的拡大</p> <p>2 提供するサービスエリアの拡大</p> <p>【人材面】</p> <p>3 人材の確保</p> <p>4 従業員の労働条件の改善</p> <p>5 OJT（人材育成・教育）の充実</p> <p>6 外部研修への積極的な派遣</p> <p>7 障害者サービスへの対応・研修</p> <p>【サービスの質】</p> <p>8 各種マニュアルの作成</p> <p>9 サービスの自己評価の取組</p> <p>10 利用者にとって有益な情報開示の推進</p> <p>11 制度改正に対応した利用者への説明</p>	<p>12 利用者にわかりやすい契約書の工夫</p> <p>13 利用者のプライバシー保護・個人情報管理の徹底</p> <p>14 サービス担当者会議への積極的な参加</p> <p>15 苦情処理対応の充実</p> <p>【連携】</p> <p>16 家族等介護者とのつながり</p> <p>17 福祉系事業者との連携</p> <p>18 医療系事業者との連携</p> <p>19 医療機関との連携</p> <p>20 地域包括支援センターとの連携</p> <p>21 ボランティアの受入れ、連携</p> <p>22 その他（ ）</p> <p>23 課題はない</p>
---	--

問21 ボランティアを受け入れる場合、どんなことを担ってもらいたいですか
(あてはまるものすべてに○)

1	配膳、下膳、お茶出し
2	散歩、屋内移動の補助
3	事業所内の清掃
4	利用者の話し相手
5	趣味の相手
6	レクリエーション等の補助
7	裁縫
8	洗濯物の整理
9	庭の手入れ等の補助
10	イベントボランティア（落語、手品、演奏等）
11	その他（)

6 報酬改定や処遇改善等の影響について

※職員に対する処遇全般の設問になりますので、訪問看護等、人員配置基準上、介護職員のいないサービスを提供されている事業所もご回答ください

問22 令和6年4月以降の介護職員の処遇改善の取組状況について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

(1) 基本給のアップ	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(2) 基本給以外で、賞与のアップ	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(3) 基本給以外で、資格等の手当のアップ	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(4) 福利厚生（保険・住宅等）の充実	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(5) 教育・研修の充実	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(6) 職員配置の拡充	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(7) その他（ある場合のみ記入） ()	1 実施済み	2 実施予定	

問23 介護職員の処遇改善を行う上で、どのような課題があると考えますか
(あてはまるものすべてに○)

- 1 介護報酬処遇改善加算の額が十分ではない
- 2 事業の安定運営が最優先で、職員の処遇改善する余裕がない
- 3 介護職員の処遇改善をしても、人材確保や定着率向上に結びつかない
- 4 今後の制度改正や介護報酬改定を見据えると、給与体系まで手がつけられない
- 5 その他 ()
- 6 特に課題はない

問24 令和7年中(令和7年1月～12月)の収入額は、前年に比べてどうなりましたか

- 1 大きく増えた(2割増以上)
- 2 増えた(1割増以上2割増未満)
- 3 少し増えた(1割増未満)
- 4 ほぼ変わらない
- 5 少し減った(1割減未満)
- 6 減った(1割減以上2割減未満)
- 7 大きく減った(2割減以上)

問24-1 収入額が増減した理由を教えてください(あてはまるものすべてに○)

- 1 利用者数の増減
- 2 利用者一人当たりの利用単価の増減
- 3 提供サービスの拡大・縮小
- 4 加算の取得
- 5 報酬改定の影響
- 6 その他 ()

7 人材の確保について

問25 貴事業所で行っている職員の早期離職の防止や定着促進に向けた取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

- 1 賃金・労働時間等の労働条件を改善する
- 2 労働時間の希望を聞く
- 3 仕事内容の希望を聞く
- 4 職場（事務室など）の環境を整える
- 5 職場内の交流を深め、コミュニケーションの円滑化を図る
- 6 ストレスチェックの導入等、職員のストレス対策を行う
- 7 キャリアの見通しを持って安定して働き続けられるようにする
- 8 研修等、人材育成を充実させる
- 9 福利厚生を充実させる
- 10 ICTや介護ロボット等の先進的な介護機器の導入による業務改善を行う
- 11 その他（）
- 12 特に行っていない

問26 貴事業所で行っている人材確保に向けた取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

- 1 教育機関との連携を深める
- 2 貴事業所（又は法人）で資格取得講座を開講し、修了者から採用する
- 3 就職希望者の情報がより早く得られるように職員や知人に声かけをする
- 4 貴事業所（又は法人）の存在を周知させるために定期的な広告をする
- 5 採用時に賃金・労働条件を他社に比べよくする
- 6 採用時に労働日数・時間の希望を出来るだけ聞き入れる
- 7 無資格者を採用し、採用後に資格取得講座を受講させる
- 8 上位資格の取得にあたって受講料補助等の支援をする
- 9 外国人材を登用する
- 10 その他（）
- 11 特に行っていない

問 27 採用や人材定着に関する課題をご回答ください。(自由記述)

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

問28 人材確保に関して市町村に期待するサポートがあれば、ご回答ください。(自由記述)

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

8 第三者評価の受審状況について

この設問については、以下のいずれかのサービスを提供している事業者のみ回答してください

- | | | |
|------------|--------------------|-----------------|
| ・ 居宅介護支援 | ・ 特定施設入居者生活介護 | ・ 地域密着型通所介護 |
| ・ 訪問介護 | ・ 福祉用具貸与 | ・ 認知症対応型通所介護 |
| ・ 訪問入浴介護 | ・ 介護老人福祉施設 | ・ 小規模多機能型居宅介護 |
| ・ 訪問看護 | ・ 介護老人保健施設 | ・ 認知症対応型共同生活介護 |
| ・ 通所介護 | ・ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | ・ 看護小規模多機能型居宅介護 |
| ・ 短期入所生活介護 | | |

上記以外の事業者は、「9 ご意見・ご要望について」へお進みください

問29 「東京都福祉サービス評価推進機構」が認証した「第三者評価機関」による「福祉サービス第三者評価」を受けていますか。また、受けるお考えはありますか

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1 年1回受審している | 3 受審していないが、検討している |
| 2 定期的ではないが、受審している | 4 受審していないし、今後受審する予定もない |

問29-1 どのような支援があれば受審できると思いますか（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 受審費用の助成 | 4 その他（ ） |
| 2 評価機関についての情報提供 | 5 支援有無に関わらず受審しない |
| 3 受審手続きの簡素化 | （理由： ） |

9 その他

問30 貴事業所で勤務する介護職員から利用者または利用者家族から以下のようなハラスメント被害の報告を受けたことがありますか

- | |
|--|
| 1 身体的暴力（物を投げる、蹴られる、唾を吐くなど） |
| 2 精神的暴力（大声を発する、怒鳴る、特定の職員にいやがらせをする、理不尽なサービスを要求するなど） |
| 3 セクシュアルハラスメント（必要もなく手や腕を触る、抱きしめる、あからさまに性的な話をするなど） |
| 4 受けたことがない |

※以下の項目はハラスメントではないとされています。

- ・ 認知症等の病気または障害の症状として現れた言動（BPSD等）
- ・ 利用料金の滞納
- ・ 苦情の申立て

問30-1 【問30で 1、2 を選択した方のみ】

職員からハラスメント被害の報告を受けたとき、どのように対応しましたか。

- 1 顧問弁護士相談
- 2 都（市）法律相談
- 3 都相談窓口
- 4 事業所内相談窓口
- 5 その他（ ）

10 ご意見・ご要望について

問31 介護保険制度や保険者（国分寺市）に対してのご意見・ご要望等、ご自由にご記入ください

This image shows a blank sheet of white paper with four horizontal dashed lines, resembling notebook paper. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて 2月28日（土）までにポストに投函してください。（切手は不要です）

イン	令和7年度第3回運協 資料2-5
申請者 I D	

国分寺市高齢者保健福祉計画・第10期国分寺市介護保険事業計画

高齢者福祉に関するアンケート

(介護支援専門員調査)

調整中

別紙「ご記入に際してのお願い」をご確認いただき、
令和8年2月28日（土）までに回答をお願いします。

1 ご自身の状況について

問1 次の(1)～(10)について教えてください

(1) 年齢	<div>1 30歳未満</div> <div>2 30～39歳</div> <div>3 40～49歳</div> <div>4 50～59歳</div> <div>5 60歳以上</div>
(2) 介護支援専門員としての業務経験年数	<div> <div> <div></div> <div></div> </div> 年 <div> <div></div> <div></div> </div> か月 </div>
(3) 介護支援専門員を受験した際の基礎資格	<div>1 国家資格等</div> <div>2 相談援助業務従事者</div> <div>3 介護等業務従事者</div>
(4) 就業業務形態	<div>1 常勤で専従</div> <div>2 常勤で兼務</div> <div>3 非常勤で専従</div> <div>4 非常勤で兼務</div>
(5) 事業所の業務形態	<div>1 単独</div> <div>2 他の事業と併設</div>
(6) 健康診断受診状況	<div>1 職場で定期的に受けている</div> <div>2 職場で不定期だが受けている</div> <div>3 職場で実施されていないので自費で受けている</div> <div>4 受けていない(理由:)</div>
(7) 労働災害の経験 (あてはまるものすべてに○)	<div>1 感染症(インフルエンザ・疥癬・水虫等含む)に感染した</div> <div>2 移動中の事故</div> <div>3 身体上の自覚症状(骨・腱・関節・筋肉の痛み等)が現れた</div> <div>4 その他の自覚症状(ストレス・疲労感・不眠等)が現れた</div> <div>5 その他()</div> <div>6 労働災害の経験はない</div>
(8) 週の所定労働時間	<div>1 10時間未満</div> <div>2 10～20時間未満</div> <div>3 20～30時間未満</div> <div>4 30～40時間未満</div> <div>5 40時間超</div>
(9) 賃金の支払形態	<div>1 時間給(1時間あたり) ()円</div> <div>2 日 給(1日あたり) ()円</div> <div>3 月 給</div> <div>4 その他(支払形態:)</div> <div>※「月給」「その他」を選んだ方は、金額を記入しなくて結構です。</div>

(10) 令和7年中の収入 (賞与及び残業・諸手当等を含む)	1 160万円未満	6 500万円～600万円未満
	2 160万円～200万円未満	7 600万円～800万円未満
	3 200万円～300万円未満	8 800万円以上
	4 300万円～400万円未満	9 回答したくない
	5 400万円～500万円未満	10 昨年は1年を通じて働いていない

問2 介護支援専門員に関する仕事の就労意向について教えてください

(1) 現在働いている事業所での仕事をいつまで続けたいですか

1 半年程度	3 3～5年未満	5 続けられるかぎり
2 1～3年未満	4 5～10年未満	6 わからない

(2) 現在働いている事業所を問わず、介護支援専門員に関する仕事をいつまで続けたいですか

1 半年程度	3 3～5年未満	5 続けられるかぎり
2 1～3年未満	4 5～10年未満	6 わからない

問3 あなたが介護支援専門員として働く上での労働条件・仕事の負担について、悩み、不安、不満等を感じていることはありますか(あてはまるものすべてに○)

1 雇用が不安定である	7 休暇が少ない、休暇が取りにくい
2 正社員(正規職員)になれない	8 責任が重く精神的にきつい
3 介護支援専門員としての仕事の内容のわりに賃金が低い	9 健康面(感染症・腰痛・怪我)の不安がある
4 経験年数を積んでも賃金が伸びない	10 業務に対する社会的評価が低い
5 労働時間が不規則である	11 その他()
6 労働時間が長い	12 特に悩み、不安、不満等を感じていない

問4 介護支援専門員として働く中で、今までに満足感を得られたことを教えてください

2 利用者から望まれる事業者情報について

問5 利用者から「提供してほしい」又は「不足している」との声が多い事業者情報は何か(3つまで選択可)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 ショートステイ等の空き情報 | 6 通所施設等の情報 |
| 2 ヘルパー等、従事者の力量 | 7 特別養護老人ホームの待機期間 |
| 3 複数の事業者を比較できる情報 | 8 リハビリ内容の情報 |
| 4 提供しているサービスの質 | 9 その他() |
| 5 提供しているサービスの詳細な内容 | 10 特にない |

4 苦情・相談事例について

問8 利用者やその家族から寄せられる苦情や相談は、どのようなものが多いですか(3つまで選択可)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 提供しているサービスの質 | 6 具体的な被害・損害 |
| 2 ヘルパー等従事者の態度 | 7 利用者の金銭的な負担 |
| 3 サービス提供事業者の対応 | 8 その他() |
| 4 説明・情報の不足 | 9 特にない |
| 5 契約・手続関係 | |

5 業務内容について

問9 介護支援専門員の業務について、どのようなことに負担を感じていますか(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 ケアプランの説明や承認 | 4 ケアマネジャー業務外の相談対応 |
| 2 事務量の増加 | 5 その他() |
| 3 利用者や事業者の苦情対応 | 6 特に負担を感じることはない |

問10 あなた自身が受け持つ仕事量について、どのように評価しますか

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 十分こなせている | 3 あまりこなせていない |
| 2 どちらかというこなせている | 4 こなせていない |

問11 ケアプランに基づいたサービスが提供されているか、また、契約事項が守られているかの確認は、ケアマネジメント業務の一部です。サービスの質(中身)についての履行確認はどのような方法で行っていますか(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1 訪問時に利用者やその家族からの聞き取り | 4 サービス提供記録での確認 |
| 2 サービス提供事業者との連絡 | 5 電話・FAXでの利用者やその家族からの聞き取り |
| 3 サービス利用時の家庭訪問や施設訪問 | 6 その他() |

問12 介護予防プランの作成を受託していますか

1 受託している

2 受託していない

問12-1 介護予防プランの作成を受託する上で問題になっていることは何ですか(あてはまるものすべてに○)

1 介護予防サービス計画書の作成が煩雑

4 その他

2 人材不足により、サービス提供予定が
組みにくい

()

3 受託件数が多く対応しきれない

5 問題になっていない

6 業務上の悩みや問題点について

問13 あなたは、業務上の悩みや問題点を誰に相談していますか(あてはまるものすべてに○)
(※選択肢「7」、「8」については守秘義務を伴うものを除く)

1 職場の上司・同僚

6 医療従事者

2 職場以外の介護支援専門員

7 友人・知人

3 利用者の担当サービス提供責任者

8 家族・親族

4 保険者(国分寺市)

9 その他()

5 地域包括支援センター

10 相談していない

問13-1 相談していない理由は何ですか(あてはまるものすべてに○)

1 忙しくて相談する時間がとれないから

5 相談しても無駄だから

2 職場内外とも相談体制が整っていないから

6 自分で解決しているから

3 信頼できる相談相手がいないから

7 その他

4 相談先がわからないから

()

問14 あなたは、利用者または利用者家族から以下のようなハラスメントを受けたことがありますか

1 身体的暴力(物を投げる、蹴られる、唾を吐くなど)

2 精神的暴力(大声を発する、怒鳴る、特定の職員にいやがらせをする、理不尽なサービスを要求するなど)

3 セクシュアルハラスメント(必要もなく手や腕を触る、抱きしめる、あからさまに性的な話をするなど)

4 受けたことがない

※以下の項目はハラスメントではないとされています。

・認知症等の病気または障害の症状として現れた言動(BPSD等)

・利用料金の滞納

・苦情の申立て

問14－1 【問14で1から4を選択した方のみ】

ハラスメントを受けたことを、誰に相談していますか(あてはまるものすべてに○)

1 職場の上司・同僚	6 顧問弁護士
2 職場の相談窓口	7 都(市)法律相談
3 保険者(国分寺市)	8 都相談窓口
4 友人・知人	9 その他()
5 家族・親族	10 相談していない



問14－2 【問14－1で10を選択した方のみ】

相談していない理由は何ですか(あてはまるものすべてに○)

1 忙しくて相談する時間がとれないから	5 相談しても無駄だから
2 職場内外とも相談体制が整っていないから	6 自分で解決しているから
3 信頼できる相談相手がいないから	7 その他()
4 相談先がわからないから	

7 ケアマネジメントの質の向上について

問15 ケアマネジメントの質の向上に向けて、必要な知識は何だと思いますか(あてはまるものすべてに○)

1 自治体毎の施策や担当部署等の知識	8 高齢者虐待防止に関する知識
2 権利擁護に関する知識	9 高齢者に多い疾患や障害に関する知識
3 住宅改修に関する知識	10 自立支援・重度化防止に関する知識
4 医療・保健に関する知識	11 地域の社会資源
5 障害者福祉制度に関する知識	12 医療連携及び多職種協働に関する知識
6 リハビリテーションに関する知識	13 その他 ()
7 福祉用具の利用方法に関する知識	

問16 ケアマネジメントの質の向上に向けて、さらに向上させたい知識は何ですか(あてはまるものすべてに○)

1 自治体毎の施策や担当部署等の知識	8 高齢者虐待防止に関する知識
2 権利擁護に関する知識	9 高齢者に多い疾患や障害に関する知識
3 住宅改修に関する知識	10 自立支援・重度化防止に関する知識
4 医療・保健に関する知識	11 地域の社会資源
5 障害者福祉制度に関する知識	12 医療連携及び多職種協働に関する知識
6 リハビリテーションに関する知識	13 その他 ()
7 福祉用具の利用方法に関する知識	

8 サービス担当者会議の開催について

問17 利用者の心身の状態や環境の変化、保健・福祉・医療サービスの利用状況及び経過等から、サービス担当者会議を開催する機会を的確に捉えて、適切に開催していますか

1 よくできている	3 あまりできていない
2 どちらかというとできている	4 まったくできていない

問17-1 どのようなことが原因ですか(あてはまるものすべてに○)

1 業務多忙につき時間がないため	5 職場環境が整っていないため
2 参加者との調整が難しいため	6 関連機関や各種専門職との連携がうまく取りづらいため
3 開催場所がないため	7 家族の協力が得られないため
4 自分の勉強不足のため	8 その他 ()

9 保険者に対する評価について

問18 保険者(国分寺市)に対して不満に感じることは、どのようなことですか(あてはまるものすべてに○)

1 受付場所が少ない	7 制度に関する説明・広報が少ない
2 窓口対応が悪い	8 事業者支援の情報提供が少ない
3 書類を郵送で処理できない	9 訪問日と利用者宛書類の送付タイミングがずれる
4 各種手続きが煩雑	10 余計な通知が多い
5 申請から介護認定までの時間の長さ	11 その他 ()
6 困難事例に対する相談体制や受け止めが不十分	12 特にない

10 介護支援専門員への支援について

問19 保険者(国分寺市)が行う介護支援専門員への支援として、どのようなことを望みますか(あてはまるものすべてに○)

1 各種研修の充実	7 事業者に対する指導の徹底
2 事例検討会の開催	8 インターネットによるケアマネ支援情報の発信
3 相談体制の強化	9 高齢者虐待事例の相談・助言
4 地域の医療機関との連携	10 成年後見制度に関する相談・助言
5 認定審査会における付帯意見	11 消費者被害に関する相談・助言
6 利用者や家族への介護保険制度の周知徹底	12 研修費補助等の補助金の交付
	13 その他 ()

問20 保険者(国分寺市)に相談したいこと、要望等がありましたら、ご自由にご記入ください

11 関係機関との連携について

問21 次に挙げる人たちとの連携状況について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

	十分に 連携が図れ ている	どちらか という と連携は 図れている	あまり 連携は 図れて いない	まったく 連携は 図れて いない	連携を 図る 必要 がない
(1) 他の居宅介護支援事業所	1	2	3	4	5
(2) 他の介護保険事業所	1	2	3	4	5
(3) 介護保険以外の事業所	1	2	3	4	5
(4) 医療機関	1	2	3	4	5
(5) 地域包括支援センター	1	2	3	4	5
(6) ボランティア・NPO	1	2	3	4	5
(7) 行政機関	1	2	3	4	5
(8) 社会福祉協議会	1	2	3	4	5
(9) 民生委員	1	2	3	4	5
(10) 障害者基幹相談支援センター	1	2	3	4	5

問22 問21の人たちとどのような方法で連携を取っていますか(あてはまるものすべてに○)

1 ケース検討会の開催、参加 2 勉強会の開催、参加（共同開催含む） 3 困難事例等の相談（複合的課題を抱える世帯への支援） 4 地域資源に関する相談 5 その他（ 6 特にない
--

12 医療との連携について

問23 あなたの事業所において、かかりつけ医や歯科医との連携が必要だと思うケースでは、実際に連携が図れていると思いますか

- 1 十分に連携が図れていると思う
- 2 どちらかというと連携は図れていると思う
- 3 あまり連携は図れていないと思う
- 4 まったく連携は図れていないと思う
- 5 その他()

→問23-1 かかりつけ医や歯科医との連携はどのような方法で行っていますか(3つまで選択可)

- 1 事前に時間調整を行い、かかりつけ医や歯科医(病院・診療所)を訪問して面談している
- 2 ほとんどの場合、質問内容を電話でやりとりし、必要がある場合に面談している
- 3 電話で連絡を取り、面談はしていない
- 4 診療情報提供書等の書類等で連絡を取っており、面談はしていない
- 5 サービス担当者会議等に参加して連携をとっている
- 6 利用者やその家族を通じて話を聞いている
- 7 その他()

→問23-2 医療との連携が図れていない理由は何ですか(あてはまるものすべてに○)

- 1 日程を調整することが難しい
- 2 自分自身の医療的な知識が不足している
- 3 医師の介護保険制度に対する理解が少ない
- 4 連携の必要性を感じない
- 5 その他()

13 ご意見・ご要望について

問24 介護保険制度や保険者（国分寺市）に対してのご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください

[illegible]

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて2月28日(土)までに
ポストに投函してください。(切手は不要です)

インタ		令和 7 年度第 3 回運協 資料 2 - 6
申請者 I D		
パスワード		

国分寺市高齢者保健福祉計画・第10期国分寺市介護保険事業計画

高齢者福祉に関するアンケート

(介護職員等調査)

調整中

別紙「ご記入に際してのお願い」をご確認いただき、
令和8年2月28日(土)までに回答をお願いします。

1 介護職員(以下、「あなた」)の状況について

問1 あなたの現在働いている事業所について教えてください

(1)経営主体	1 社会福祉法人 2 特定非営利活動法人 (NPO法人) 3 株式会社 4 有限会社	5 医療法人 6 生活協同組合 7 その他 ()
(2)従業員規模 (パート含む)	1 5人未満 2 5人以上10人未満 3 10人以上20人未満 4 20人以上50人未満	5 50人以上100人未満 6 100人以上 7 わからない
(3)主な介護サービス種類	1 訪問介護 2 訪問入浴介護 3 訪問看護 4 訪問リハビリテーション 5 居宅療養管理指導 6 通所介護 7 通所リハビリテーション 8 短期入所生活介護 9 短期入所療養介護 10 特定施設入居者生活介護 11 福祉用具貸与 12 介護老人福祉施設 13 介護老人保健施設 14 介護医療院 (介護療養型医療施設) 15 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	16 夜間対応型訪問介護 17 地域密着型通所介護 18 認知症対応型通所介護 19 小規模多機能型居宅介護 20 認知症対応型共同生活介護 21 地域密着型特定施設入居者生活介護 22 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 23 看護小規模多機能型居宅介護 24 特定福祉用具販売 25 住宅改修 26 居宅介護支援 27 送迎サービス 28 高齢者緊急ショートステイサービス 29 その他 ()

問2 あなたご自身について教えてください

(1)年齢	1 30歳未満 2 30～39歳	3 40～49歳 4 50～59歳	5 60歳以上
(2)現在取得している介護に関する資格(あてはまるものすべてに○)	1 訪問介護員(ホームヘルパー)(実務者研修修了・初任者研修修了を含む) 2 社会福祉士 3 介護福祉士 4 作業療法士 5 理学療法士 6 看護師・准看護師 7 介護支援専門員(ケアマネジャー)	8 福祉住環境コーディネーター 9 栄養士 10 管理栄養士 11 福祉用具専門相談員 12 保健師 13 保育士 14 調理師 15 その他 ()	16 取得している資格はない

(3)健康診断受診状況	1 職場で定期的に受けている 2 職場で不定期だが受けている 3 職場で実施されていないので自費で受けている 4 受けていない(理由：)
(4)労働災害の経験(あてはまるものすべてに○)	1 感染症(インフルエンザ・疥癬・水虫等含む)に感染した 2 移動中の事故 3 身体上の自覚症状(骨・腱・関節・筋肉の痛み等)が現れた 4 その他の自覚症状(ストレス・疲労感・不眠等)が現れた 5 その他() 6 労働災害の経験はない
(5)主たる生計維持者(世帯で最も生活費を負担している方)	1 自分(あなた) 2 自分(あなた)以外 3 生活費は折半等

2 現在の職場の状況について

問3 あなたが現在働いている事業所を知ったきっかけを教えてください
(あてはまるものすべてに○)

1 職員や知人を通じて 2 ハローワーク 3 新聞広告 4 求人情報サイト	5 事業所や法人のホームページ 6 学校や施設 7 その他()
--	--

問4 現在働いている事業所でのあなたの就労状況について教えてください

(1)現在の主な仕事	1 訪問介護員(ヘルパー) 2 サービス提供責任者 3 介護職員 4 看護職員 5 生活相談員 6 理学療法士 7 作業療法士 8 機能訓練指導員 9 その他 ()
(2)介護に関する仕事の経験年数	①現在働いている事業所での経験年数 ()年()か月 ②他事業所での経験も含めた総経験年数 ()年()か月
(3)就業形態	1 正規職員 2 正規職員以外で常勤労働者 3 正規職員以外で短時間労働者 4 正規職員以外で登録ヘルパー(訪問介護員)

	<p>ここでは、以下のとおり分類します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正規職員以外：「派遣・契約・臨時・パートタイム」職員等の方 ・ 常勤労働者：事業所の定める所定労働時間をすべて勤務する方 ・ 短時間労働者：労働時間が、常勤労働者より少ない方（登録ヘルパーを除く） ・ 登録ヘルパー：働くことができる時間を事業所に登録しておき、本人の都合の良い時だけ勤務する方（訪問介護事業所のみ） 										
(4) 週の所定労働時間	<p>1 10時間未満 2 10～20時間未満 3 20～30時間未満 4 30～40時間未満 5 40時間超</p> <p>※登録ヘルパーの方は、週の平均労働時間を選択してください</p>										
(5) 賃金の支払形態	<p>1 時間給（1時間あたり）（ ）円 2 日 給（1日あたり）（ ）円 3 月 給 4 その他（支払形態： ）</p> <p>※「月給」「その他」を選んだ方は、金額を記入しなくて結構です</p>										
(6) 令和7年中の収入（賞与及び残業・諸手当等を含む）	<table border="0"> <tr> <td>1 160万円未満</td><td>6 500万円～600万円未満</td></tr> <tr> <td>2 160万円～200万円未満</td><td>7 600万円～800万円未満</td></tr> <tr> <td>3 200万円～300万円未満</td><td>8 800万円以上</td></tr> <tr> <td>4 300万円～400万円未満</td><td>9 回答したくない</td></tr> <tr> <td>5 400万円～500万円未満</td><td>10 昨年は1年を通じて働いていない</td></tr> </table>	1 160万円未満	6 500万円～600万円未満	2 160万円～200万円未満	7 600万円～800万円未満	3 200万円～300万円未満	8 800万円以上	4 300万円～400万円未満	9 回答したくない	5 400万円～500万円未満	10 昨年は1年を通じて働いていない
1 160万円未満	6 500万円～600万円未満										
2 160万円～200万円未満	7 600万円～800万円未満										
3 200万円～300万円未満	8 800万円以上										
4 300万円～400万円未満	9 回答したくない										
5 400万円～500万円未満	10 昨年は1年を通じて働いていない										

問5 現在の仕事を選んだ理由を教えてください（あてはまるものすべてに○）

1 働きがいのある仕事だと思ったから	8 介護の知識や技術が身につくから
2 今後もニーズが高まる仕事だから	9 給与等の収入が多いから
3 人や社会の役に立ちたいから	10 自分や家族の都合の良い時間（日）に働けるから
4 生きがい・社会参加のため	11 他によい仕事がないから
5 お年寄りが好きだから	12 その他（ ）
6 身近な人の介護の経験から	13 特に理由はない
7 資格・技能が活かせるから	

問6 現在の仕事について満足していますか

1 満足している	3 やや不満である
2 どちらかというと満足している	4 不満である

問7 現在の仕事で今までに満足感を得られたことを教えてください

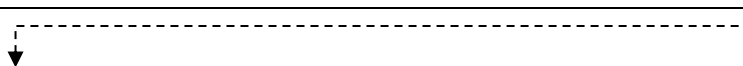
<div></div> <div></div> <div></div>

問8 現在の仕事で今までに不満に思ったことを教えてください

<div></div> <div></div> <div></div>

問9 あなたは、業務上の悩みの問題点を誰に相談していますか(あてはまるものすべてに○)
(※選択肢「7」、「8」については守秘義務を伴うものを除く)

1 職場の上司・同僚	6 医療従事者
2 職場の相談窓口	7 友人・知人
3 ケアマネジャー	8 家族・親族
4 保険者(国分寺市)	9 その他()
5 地域包括支援センター	10 相談していない



【問9で10を選択した方のみ】

問9-1 相談していない理由は何ですか(あてはまるものすべてに○)

1 忙しくて相談する時間がとれないから	5 相談しても無駄だから
2 職場内外とも相談体制が整っていないから	6 自分で解決しているから
3 信頼できる相談相手がいないから	7 その他
4 相談先がわからないから	()

問10 あなたは、利用者または利用者家族から以下のようなハラスメントを受けたことがありますか

- 1 身体的暴力（物を投げる、蹴られる、唾を吐くなど）
- 2 精神的暴力（大声を発する、怒鳴る、特定の職員にいやがらせをする、理不尽なサービスを要求するなど）
- 3 セクシュアルハラスメント（必要もなく手や腕を触る、抱きしめる、あからさまに性的な話をするなど）
- 4 受けたことがない

※以下の項目はハラスメントではないとされています。

- ・認知症等の病気または障害の症状として現れた言動（BPSD等）
- ・利用料金の滞納
- ・苦情の申立て

問10-1 【問10で1、2を選択した方のみ】

ハラスメントを受けたことを、誰に相談していますか（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------|------------|
| 1 職場の上司・同僚 | 6 顧問弁護士 |
| 2 職場の相談窓口 | 7 都（市）法律相談 |
| 3 保険者（国分寺市） | 8 都相談窓口 |
| 4 友人・知人 | 9 その他（ ） |
| 5 家族・親族 | 10 相談していない |

問10-2 【問10-1で10を選択した方のみ】

相談していない理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1 忙しくて相談する時間がとれないから | 5 相談しても無駄だから |
| 2 職場内外とも相談体制が整っていないから | 6 自分で解決しているから |
| 3 信頼できる相談相手がいないから | 7 その他（ ） |
| 4 相談先がわからないから | |

問11 介護に関する仕事の就労意向について教えてください

（1）現在働いている事業所での仕事をいつまで続けたいですか

- | | | |
|----------|-----------|------------|
| 1 半年程度 | 3 3～5年未満 | 5 続けられるかぎり |
| 2 1～3年未満 | 4 5～10年未満 | 6 わからない |

（2）現在働いている事業所を問わず、介護に関する仕事をいつまで続けたいですか

- | | | |
|----------|-----------|------------|
| 1 半年程度 | 3 3～5年未満 | 5 続けられるかぎり |
| 2 1～3年未満 | 4 5～10年未満 | 6 わからない |

問12 あなたが現在働く上での不安や悩みについて教えてください

(1) 労働条件・仕事の負担について、悩み、不安、不満等を感じていることはありますか
(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----|------------------------------|---|
| 1 | 雇用が不安定である | |
| 2 | 正社員(正規職員)になれない | |
| 3 | 仕事の内容のわりに賃金が低い | |
| 4 | 労働時間が不規則である | |
| 5 | 労働時間が長い | |
| 6 | 休憩がとりにくい | |
| 7 | 夜間や深夜時間帯に何か起きるのではないかと不安がある | |
| 8 | 休暇が少ない、休暇が取りにくい | |
| 9 | 身体的負担が大きい(体力に不安がある) | |
| 10 | 精神的にきつい | |
| 11 | 健康面(感染症・腰痛・怪我)の不安がある | |
| 12 | 業務に対する社会的評価が低い | |
| 13 | 福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、施設の構造に不安がある | |
| 14 | 仕事上の怪我等への補償がない | |
| 15 | その他 (|) |
| 16 | 特に悩み、不安、不満等を感じていない | |

(2) 利用者及び利用者の家族について、悩み、不安、不満等を感じていることはありますか
(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----|------------------------------------|---|
| 1 | 利用者に適切なケアができているか不安がある | |
| 2 | 良いと思ってやったことが利用者に理解されない | |
| 3 | 利用者の行動が理解できずに対処方法がわからない | |
| 4 | 利用者は何をやらせてもらっても当然と思っている | |
| 5 | 定められたサービス行為以外の仕事を要求される | |
| 6 | 利用者と家族の希望が一致しない | |
| 7 | 利用者や、その家族との人間関係がうまくいかない | |
| 8 | 利用者の家族が、本人に必要なサポートを理解してくれない | |
| 9 | 介護事故(転倒・誤嚥その他)で利用者に怪我を負わせてしまう不安がある | |
| 10 | その他 (|) |
| 11 | 特に悩み、不安、不満等を感じていない | |

(3) 職場での人間関係等について、悩み、不安、不満等を感じていることはありますか
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1 経営層の介護の基本方針、理念が不明確である | |
| 2 経営層や管理職等の管理能力が低い、業務の指示が不明確、不十分である | |
| 3 上司や同僚との仕事上の意思疎通がうまくいかない | |
| 4 介護に対する認識について上司と違いがある | |
| 5 自分と合わない上司や同僚がいる | |
| 6 ケアの方法等について意見交換が不十分である | |
| 7 悩みの相談相手がいらない、相談窓口がない | |
| 8 その他 (|) |
| 9 特に悩み、不安、不満等を感じていない | |

(4) あなたが働く上で感じる不安や悩みに対して、どのようなサポートがあると良いといったご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください

<hr/> <hr/> <hr/>

問13 利用者やそのご家族の方から、介護保険以外のサービスでこんなサービスがあると良いといったご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください

<hr/> <hr/> <hr/>

3 報酬改定や処遇改善の状況について

問14 現在働いている事業所における令和6年4月以降のあなた自身の処遇改善の状況について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

(1)基本給のアップ	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(2)基本給以外で、賞与のアップ	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(3)基本給以外で、資格等の手当のアップ	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(4)福利厚生(保険・住宅等)の充実	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(5)教育・研修の充実	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(6)職員配置の拡充	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(7)その他(ある場合のみ記入) ()	1 実施済み	2 実施予定	

問15 現在働いている事業所で、令和6年4月以降のあなたの仕事内容や職場環境への影響について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

(1)業務量の変化	1 業務量が増えた 2 やや業務量が増えた 3 特に変わりはない	4 やや業務量が減った 5 業務量は減った 6 わからない
(2)業務負担の変化	1 負担が増えた 2 やや負担が増えた 3 特に変わりはない	4 やや負担が減った 5 負担は減った 6 わからない
(3)労働条件の変化	1 よくなった 2 ややよくなった 3 特に変わりはない	4 やや悪くなった 5 悪くなった 6 わからない

4 以前に働いていた職場の状況について

問16 現在の仕事に就く前に、収入の伴う仕事をしたことがありますか

- | | | |
|---|---------|-----------------|
| 1 | したことがある | → 問15－1に進んでください |
| 2 | したことはない | → 問16に進んでください |

【問16で1を選択した方のみ】

問16－1 現在の仕事に就く以前の仕事では、介護サービスに関わっていましたか

- | | | |
|---|-----|--------------------------|
| 1 | はい | → 問16－2 及び 問16－3に進んでください |
| 2 | いいえ | → 問17に進んでください |

【問16－1で1を選択した方のみ】

問16－2 その職場（以前働いていた介護サービスに関わる職場）での就業形態はどれですか
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---|----------------------|
| 1 | 正規職員 |
| 2 | 正規職員以外で常勤労働者 |
| 3 | 正規職員以外で短時間労働者 |
| 4 | 正規職員以外で登録ヘルパー（訪問介護員） |

【問16－1で1を選択した方のみ】

問16－3 その仕事をやめた理由を教えてください（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----|---|
| 1 | 自分、家庭の事情（結婚・出産・転勤等）のため |
| 2 | 待遇（賃金・労働時間）に不満があったため |
| 3 | 職場の人間関係に不満があったため |
| 4 | 利用者との人間関係に不満があったため |
| 5 | ケアの考え方が合わなかったため |
| 6 | 法人や事業所の経営理念や運営のあり方に不満があったため |
| 7 | 正社員（正規職員）になれなかったため |
| 8 | 介護の仕事内容が希望にあわなかったため |
| 9 | 契約期間が終了したため |
| 10 | 定年を迎えたため |
| 11 | 健康を害したため |
| 12 | その他（ ） |

5 ご意見・ご要望について

問16 介護保険制度や保険者（国分寺市）に対してのご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

皆様に回答いただくアンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて2月28日(土)までに
ポストに投函してください(切手は不要です。)

なお、問1(3)主な介護サービスにおいて、以下を選択した方は、別紙「職員票
(訪問介護員向け)」の記入をお願いします。

- 1 訪問介護
- 2 訪問入浴介護
- 15 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- 16 夜間対応型訪問介護
- 19 小規模多機能型居宅介護
- 23 看護小規模多機能型居宅介護

職員票（訪問介護員向け）別紙

※この調査票は、訪問サービス・訪問介護を行う介護職員の方（非常勤含む。ボランティア除く）

が対象です。

※介護職員等調査票問1（3）で、該当のサービス種類を選択した方のみ回答をお願いいたします。

※令和8年2月1日現在の状況について、

問17【問4の（2）①現在働いている事業所での経験年数について、1年未満と回答された方】現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください。

- | | |
|--|---|
| | 1. 現在の職場が初めての勤務先⇒【裏面に回答】 |
| | 2. 介護以外の職場⇒【裏面に回答】 |
| | 3. 特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設 |
| | 4. 訪問介護・入浴、夜間対応型 |
| | 5. 小多機、看多機、定期巡回サービス |
| | 6. 通所介護、通所リハ、認知症デイ |
| | 7. 住宅型有料、サ高住（特定施設以外） |
| | 8. その他の介護サービス |
- ⇒【「3.」～「8.」の場合は問5へ】

問18【問4で「3.」～「8.」と回答された方】ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。

1) 場所（1つに○）		1. 現在の事業所と、同一の市区町村内
		2. 現在の事業所と、別の市区町村内
2) 法人（1つに○）		1. 現在の事業所と、同一の法人・グループ
		2. 現在の事業所と、別の法人・グループ

⇒皆様、裏面も
ご回答ください

職員票（訪問介護員向け）別紙

この調査は、「訪問介護員」を対象とした調査です。「訪問介護」、「訪問入浴」、「夜間対応型訪問介護」、「訪問型サービス（総合事業）」、「定期巡回サービス」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」に従事されている方にお聞きします。

※表面の問3「4）過去1週間の勤務時間」（★欄）で回答した7日間の勤務時間について、身体介護・生活援助を提供した時間（分）を記入してください。

（例、水曜日を開始日とする場合、水曜日（開始日）から次週の火曜日までの7日間の情報を記入してください）

※移動時間、待機時間は含みません。「買い物」は、店舗での買い物に要する標準的な時間及び利用者の居宅における訪問介護に要する標準的な時間の合算となります（移動時間を含まない）。

※「掃除」には、ゴミ出しも含まれます。

※障害サービスの提供は除いてください。

※介護給付による提供、介護予防給付・総合事業による提供は分けて記入してください。

※記入する時間は「5分単位」とします。（例）32分→30分と記入。

■介護給付による訪問について右詰めで記入

曜日	身体介護		生活援助							
			買い物		調理・配膳		掃除		その他の生活援助	
記入例	60	分	20	分	20	分	20	分	20	分
月		分		分		分		分		分
火		分		分		分		分		分
水		分		分		分		分		分
木		分		分		分		分		分
金		分		分		分		分		分
土		分		分		分		分		分
日		分		分		分		分		分
週の合計		分		分		分		分		分

■介護予防給付・総合事業による訪問について右詰めで記入

曜日	身体介護		生活援助							
			買い物		調理・配膳		掃除		その他の生活援助	
記入例	30	分	0	分	0	分	20	分	20	分
月		分		分		分		分		分
火		分		分		分		分		分
水		分		分		分		分		分
木		分		分		分		分		分
金		分		分		分		分		分
土		分		分		分		分		分
日		分		分		分		分		分
週の合計		分		分		分		分		分

※自立生活支援・重度化防止のための見守りの援助（自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等）は、身体介護に含む

週の合計時間

時間

インタ	令和7年度第3回運協 資料2-7
申請者ID	
パスワード	

国分寺市高齢者保健福祉計画・第10期国分寺市介護保険事業計画

高齢者福祉に関するアンケート

(住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅調査)

調整中

別紙「ご記入に際してのお願い」をご確認いただき、
令和8年2月28日(土)までに回答をお願いします。

1 貴施設・住宅の概要について

問1 次の(1)～(5)について教えてください

(1)種別	1 住宅型有料老人ホーム 2 サービス付き高齢者向け住宅				
(2)法人格の種類	1 社会福祉法人 5 医療法人 2 特定非営利活動法人 6 生活協同組合 (NPO法人) 7 その他 3 株式会社 () 4 有限会社				
(3)職員体制		正 規 職 員		正規職員以外	
	常 勤 労 働 者	人	うち外国人労働者 人	人	うち外国人労働者 人
					うち派遣職員 人
	短 時 間 労 働 者	人	うち外国人労働者 人	人	うち外国人労働者 人
					うち派遣職員 人
	ここでは、以下のとおり分類します ・常勤労働者：事業所の定める所定労働時間をすべて勤務する方 ・短時間労働者：労働時間が、常勤労働者より少ない方 ・正規職員以外：「派遣・契約・臨時・パートタイム」職員等の方				
(4)正規職員の勤務年数	1年未満 (人) 1～3年未満 (人) 3年以上 (人) ※(人)の数字の合計が(3)の正規職員の合計となるようにご記入ください				
(5)定期健康診断の実施状況 (労働安全衛生法規定)	常勤労働者 1 実施している 2 実施していない				
	短時間労働者 1 実施している 2 実施していない				

問2 居室形態を教えてください

	戸数/室数	1戸/室あたりの 平均の広さ	定員※
(1) 単身者向け	戸/室	m ²	人
(2) 世帯・夫婦向け	戸/室	m ²	

※世帯・夫婦向けの定員の合計を記載してください

問3 貴施設・住宅において併設している介護保険サービスについて、それぞれ1つずつ選んで○をしてください（地域密着型サービス含む）

	同一建物内に併設	同一敷地内に併設	併設していない
(1) 訪問介護			
(2) 訪問入浴介護			
(3) 訪問看護			
(4) 居宅療養管理指導			
(5) 通所介護			
(6) 通所リハビリテーション			
(7) 小規模多機能型居宅介護			
(8) 認知症対応型共同生活介護			
(9) 居宅介護支援			
(10) その他 ()			

問4 貴施設・住宅において提供可能なサービスについて、該当するものをすべて選んで○をしてください

	自施設・住宅	外部サービス (併設)	外部サービス (併設以外)	提供できない
(1) 安否確認				
(2) 生活相談				
(3) 緊急対応				
(4) 食事提供				
(5) ショートステイ				
(6) 入浴サービス				
(7) 買い物代行				
(8) 外出支援				
(9) 通院付き添い				
(10) 書類管理				

問5 以下の医療ニーズのうち、貴施設・住宅で受入れ可能なものをすべて選んで○をしてください。併せて、令和8年1月1日現在の利用人数をご記入ください

医療ニーズ	受入れ 可	人数	医療ニーズ	受入れ 可	人数
(1) インスリン		人	(10) ペースメーカー		人
(2) 鼻腔経管栄養		人	(11) レスピレーター		人
(3) 中心静脈栄養		人	(12) 在宅酸素		人
(4) 点滴の管理		人	(13) 透析		人
(5) 胃ろう		人	(14) 褥瘡の処置		人
(6) バルーンカテーテル		人	(15) モニター測定		人
(7) ストマ		人	(16) 看取り		人
(8) 気管切開		人	(17) 疼痛の看護(薬物療法)		人
(9) 喀痰吸引		人	(18) 疼痛の看護(非薬物療法)		人

2 現在の利用者状況について

※問6～問9は、令和8年1月1日現在の利用者状況についてご記入ください

問6 入居状況や待機状況

(1) 入居者数	人
(2) 入居者数の内、特別養護老人ホームの待機者数（申込者数）	人
(3) 待機者数	人
(4) 待機期間	か月

問7 入居者の年齢

40～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	100歳 以上	不明
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

問8 入居者の介護度等

	自立	要支援		要介護					不明
		1	2	1	2	3	4	5	
人数（※1）	人	人	人	人	人	人	人	人	人
上記のうち国分寺 市民の人数（※2）	人	人	人	人	人	人	人	人	人

（※1）「人数」の合計が問6「（1）入居者数」となるようにご記入ください

（※2）国分寺市民とは国分寺市の介護保険被保険者であり、他市の住所地特例者は含みません

問9 生活保護受給者

（1）貴施設・住宅の入居者の中に生活保護受給者はいますか

1 はい	2 いいえ	3 わからない
→（2）へお進みください	→問10へお進みください	→問10へお進みください

【問9（1）で「1」を選択した方のみ】

（2）生活保護受給者数をご記入ください

生活保護受給者数	人
上記のうち国分寺市民の人数（※2）	人

（※2）国分寺市民とは国分寺市の介護保険被保険者であり、他市の住所地特例者は含みません

3 事故防止、感染予防、虐待予防等の取組について

問10 サービス提供を通して利用者の身に起こり得る「事故（例：転倒・誤嚥等）」について、貴施設・住宅で事故防止や、事故を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 事故防止マニュアルの作成 | 6 救急車の呼び方マニュアルの作成 |
| 2 事故防止研修の実施 | 7 応急処置技能研修の実施 |
| 3 事故防止ミーティングの実施 | 8 その他 |
| 4 ヒヤリ・ハット報告の徹底 | () |
| 5 事故発生時の対応マニュアルの作成 | 9 特にない |

問11 サービス提供を通して利用者の身に起こり得る「感染症の伝播」（職員から利用者、利用者から利用者、来訪者等の部外者から利用者）について、貴施設・住宅で講じている予防策にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1 感染症予防マニュアルの作成 | 6 職員への手洗い・うがい・消毒の奨励 |
| 2 職員への感染症の正しい知識の提供 | 7 職員への予防接種の実施 |
| 3 職員への利用者の感染状況に関わる
情報提供 | 8 入浴順を工夫する等の個別対応 |
| 4 職員への手袋や被服等の貸与 | 9 その他 |
| 5 安全衛生ミーティング | () |
| | 10 特にない |

問12 今後起こり得る「大規模災害（例：地震・台風等）」について、貴施設・住宅で被害を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 避難計画・方針の策定 | 4 自治会等の地域組織との連携 |
| 2 避難訓練の実施 | 5 その他 |
| 3 食料品等の備蓄 | () |
| | 6 特にない |

問13 貴施設・住宅において、利用者の意思や尊厳の尊重、施設内での虐待防止等、利用者の人権を擁護するために講じている取組にはどのようなものがありますか
(あてはまるものすべてに○)

- 1 認知症、高齢者虐待防止等に関する研修を実施したり、外部研修へ参加をしている
- 2 他施設と情報交換等の交流をしている
- 3 人員配置上の工夫をしている(夜勤体制の強化等)
- 4 施設内外の多職種(医師やケアマネジャー等)間の連携を高めている
- 5 規則等の再検討や、業務内容(一斉介助や流れ作業等)の見直しを行っている
- 6 トラブルが発生したとき、利用者及び家族が最初に連絡できる職員を明確にしている
- 7 苦情対応等の対応状況に関する点検評価を外部から受ける仕組みを導入している
- 8 家族等にサービスの内容を知らせている
- 9 施設の情報公表を進めている(福祉サービス第三者評価等の利用)
- 10 その他 ()
- 11 特にない

4 利用者からの苦情・相談内容とその対応について

問14 利用者やそのご家族から、どのような苦情や相談が多いですか(3つまで選択可)

- | | |
|------------|--------------|
| 1 サービスの質 | 6 具体的な被害・損害 |
| 2 従事者の態度 | 7 利用者の金銭的な負担 |
| 3 管理者等の対応 | 8 その他 () |
| 4 説明・情報の不足 | 9 特にない |
| 5 契約・手続関係 | |

問15 苦情や相談の対応体制について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

(1) 苦情相談窓口	1 ある	2 ない
(2) 担当者の配置	1 ある	2 ない
(3) 苦情相談マニュアル	1 ある	2 ない
(4) 苦情相談記録簿	1 ある	2 ない
(5) 職員間で共通認識を持つ機会	1 ある	2 ない
(6) 職員間で具体的な対応策について検討	1 ある	2 ない
(7) その他(ある場合のみ記入)	()	

5 サービスの質の向上に向けた課題について

問16 貴施設・住宅で課題となっているものはどれですか（あてはまるものすべてに○）

【経営面】		13 制度改正に対応した利用者への説明
1 事業所の経営理念の明確化		14 利用者にわかりやすい契約書の工夫
2 提供するサービスの量的拡大		15 利用者のプライバシー保護・個人情報管理の徹底
3 提供するサービスエリアの拡大		16 サービス担当者会議への積極的な参加
【人材面】		17 苦情処理対応の充実
4 人材の確保		【連携】
5 従業員の労働条件の改善		18 家族等介護者とのつながり
6 従業員への経営理念の周知徹底		19 福祉系事業者との連携
7 OJT（人材育成・教育）の充実		20 医療系事業者との連携
8 外部研修への積極的な派遣		21 医療機関との連携
9 障害者サービスの対応・研修		22 地域包括支援センターとの連携
【サービスの質】		23 ボランティアの受入れ、連携
10 各種マニュアルの作成		24 その他（ ）
11 サービスの自己評価の取組		25 課題はない
12 利用者にとって有益な情報開示の推進		

問17 ボランティアを受け入れる場合、どんなことを担ってもらいたいですか（あてはまるものすべてに○）

1 配膳、下膳、お茶出し	7 裁縫
2 散歩、屋内移動の補助	8 洗濯物の整理
3 施設内の清掃	9 庭の手入れ等の補助
4 施設利用者の話し相手	10 イベントボランティア（落語、手品、演奏等）
5 趣味の相手	11 その他（ ）
6 レクリエーション等の補助	

6 人材の確保について

問18 貴施設・住宅で行っている職員の早期離職の防止や定着促進に向けた取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| 1 賃金・労働時間等の労働条件を改善する | 7 キャリアの見通しを持って安定して働き続けられるようにする |
| 2 労働時間の希望を聞く | 8 研修等、人材育成を充実させる |
| 3 仕事内容の希望を聞く | 9 福利厚生を充実させる |
| 4 職場（事務室など）の環境を整える | 10 ICTや介護ロボット等の先進的な介護機器の導入による業務改善を行う |
| 5 職場内の交流を深め、コミュニケーションの円滑化を図る | 11 その他（ ） |
| 6 ストレスチェックの導入等、職員のストレス対策を行う | 12 特に行っていない |

問19 貴施設・住宅で行っている人材確保に向けた取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------|
| 1 教育機関との連携を深める | 6 採用時に労働日数・時間の希望を出来るだけ聞き入れる |
| 2 貴事業所（又は法人）で資格取得講座を開講し、修了者から採用する | 7 無資格者を採用し、採用後に資格取得講座を受講させる |
| 3 就職希望者の情報がより早く得られるように職員や知人に声かけをする | 8 上位資格の取得にあたって受講料補助等の支援をする |
| 4 貴事業所（又は法人）の存在を周知させるために定期的な広告をする | 9 外国人材を登用する |
| 5 採用時に賃金・労働条件を他社に比べよくする | 10 その他（ ） |
| | 11 特に行っていない |

7 ご意見・ご要望について

問20 介護保険制度や保険者（国分寺市）に対してのご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください

This image shows a blank sheet of white paper with four horizontal dashed lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page, providing a guide for handwriting practice. There is no text or other markings on the paper.

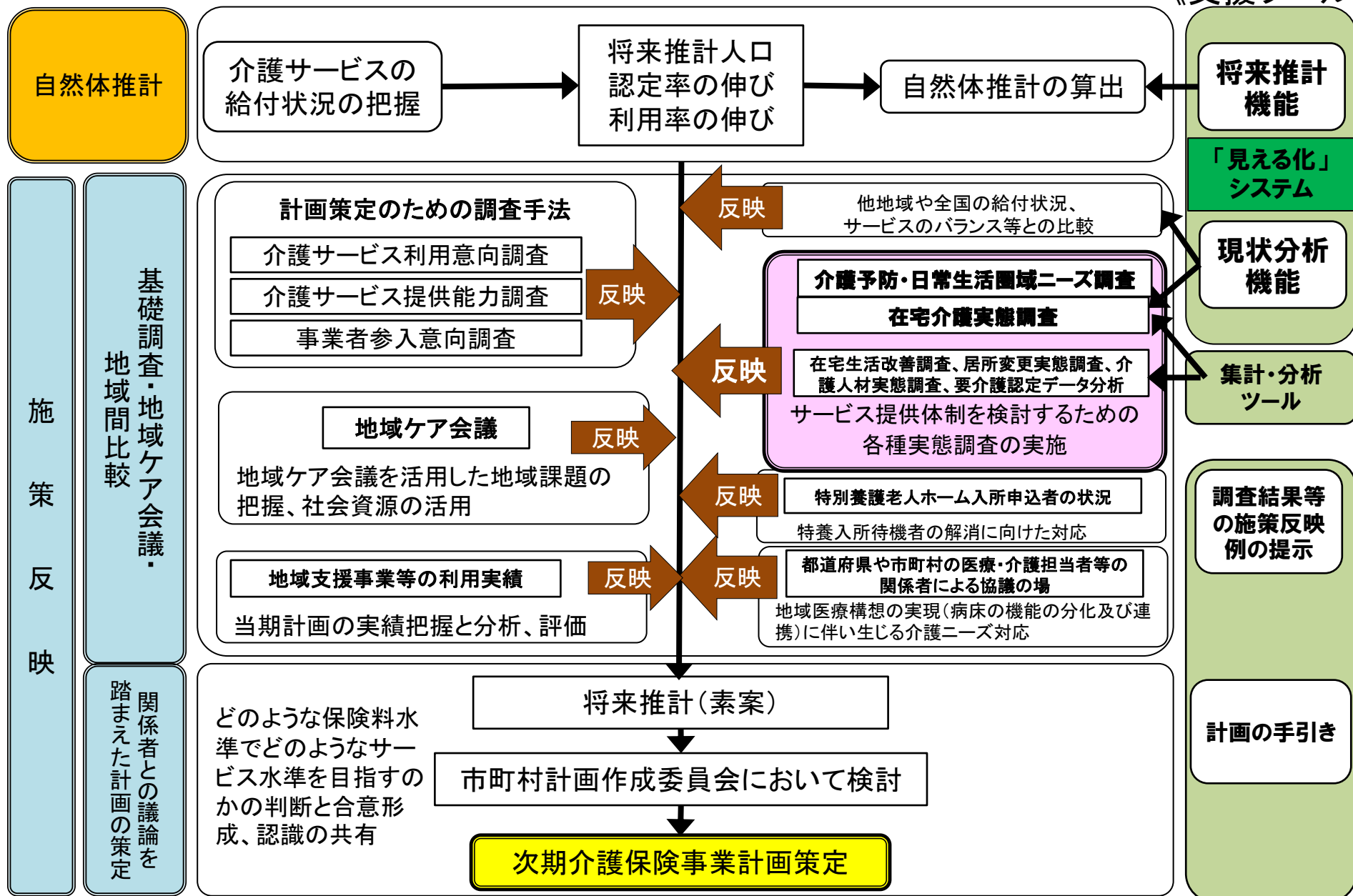
アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
 回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて2月28日(土)
 までにポストに投函してください(切手は不要です。)

介護保険事業計画の作成プロセスと支援ツールイメージ

令和7年度第3回運協
資料2-2

《作成プロセス》

《支援ツール》



第10期介護保険事業(支援)計画に向けた調査の実施

介護保険法(第117条第5項)において市町村は、日常生活圏域ごとにおける被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他の事情を正確に把握した上で、これらの事情を勘案して、市町村介護保険事業計画を作成するよう努めることとされている。

＜実施いただきたい調査＞

- **介護予防・日常生活圏域ニーズ調査**については、地域の要支援者・総合事業対象者・一般高齢者の地域課題を把握するために重要であり、**実施していただきたい**。(基本指針参照)
- **在宅介護実態調査**については、介護離職を防止する観点から、「高齢者の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的として、主に在宅で要介護認定を受けている者を対象とした調査である。計画の作成にあたり関係者と議論する際の材料として有用であり**実施していただきたい**。(基本指針参照)

＜実施を検討いただきたい調査＞

- その他のサービス提供体制を検討するための各種実態把握調査(**在宅生活改善調査、居所変更実態調査、介護人材実態調査**)については、調査の実施・分析に必要な体制の確保に留意しつつ、**実施を検討いただきたい**。
在宅生活の継続という観点からのビジョンを設定・検討されている市町村は、本調査が、住み慣れた地域での生活を支えるうえで有効な定期巡回・小多機・看多機等の地域密着型サービスのニーズの把握につながる観点を踏まえて検討いただきたい。

＜留意点＞

- **保険者機能強化推進交付金の令和8年度指標**では、留意点で「**当該地域の特徴の把握にあたり**、必要に応じて、①介護予防・日常生活支援ニーズ調査、②在宅介護実態調査、③その他各種実態調査(在宅生活改善調査、居所変更実態調査、介護人材実態調査等)を実施することが重要である。」と予定している。

介護保険法(平成9年法律第123号) (抄)

第117条第5項 市町村は、第2項第一号の規定により当該市町村が定める区域ごとにおける被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他の事情を正確に把握した上で、これらの事情を勘案して、市町村介護保険事業計画を作成するよう努めるものとする。

9期の基本指針(令和6年1月19日厚生労働省告示第18号) (抄)

第二 - 一 - 2 - (三) 調査の実施

市町村は、被保険者のサービスの利用に関する意向等を把握するとともに、自らが定める区域ごとに被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他の事情等、要介護者等の実態に関する調査(以下「各種調査等」という。)の実施に努めるものとする。なお、その際は、特に、**介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を活用することが重要である**。

また、要介護状態等にある家族を介護するため離職すること(以下「介護離職」という。)を防止する観点から、働きながら介護に取り組む家族等や、今後の仕事と介護の両立に不安や悩みを持つ就業者の実情等の把握に努めるなど調査方法等の工夫を図ることが重要である。

～中略～

さらに、これらの調査により定量的に把握された心身の状況が低下した被保険者の状況や働きながら介護に取り組む家族の状況等を参考として、生活支援サービスや介護予防事業の充実等の取組、介護離職の防止を含む家族等への支援の観点を踏まえた介護サービスの整備や、介護離職防止の観点から労働担当部局と連携した職場環境の改善に関する普及啓発等の取組を市町村介護保険事業計画に定めるとともに、それらの取組を勘案して要介護者等の人数やサービス量の見込みを定めることが望ましい。

Ⅲ 「調査や分析ツールの活用」により、把握できる地域の実態とは？

手引き
P.26

Q 2 現在、自宅等にお住まいで、生活の維持が難しくなっている人はどの程度いるの？

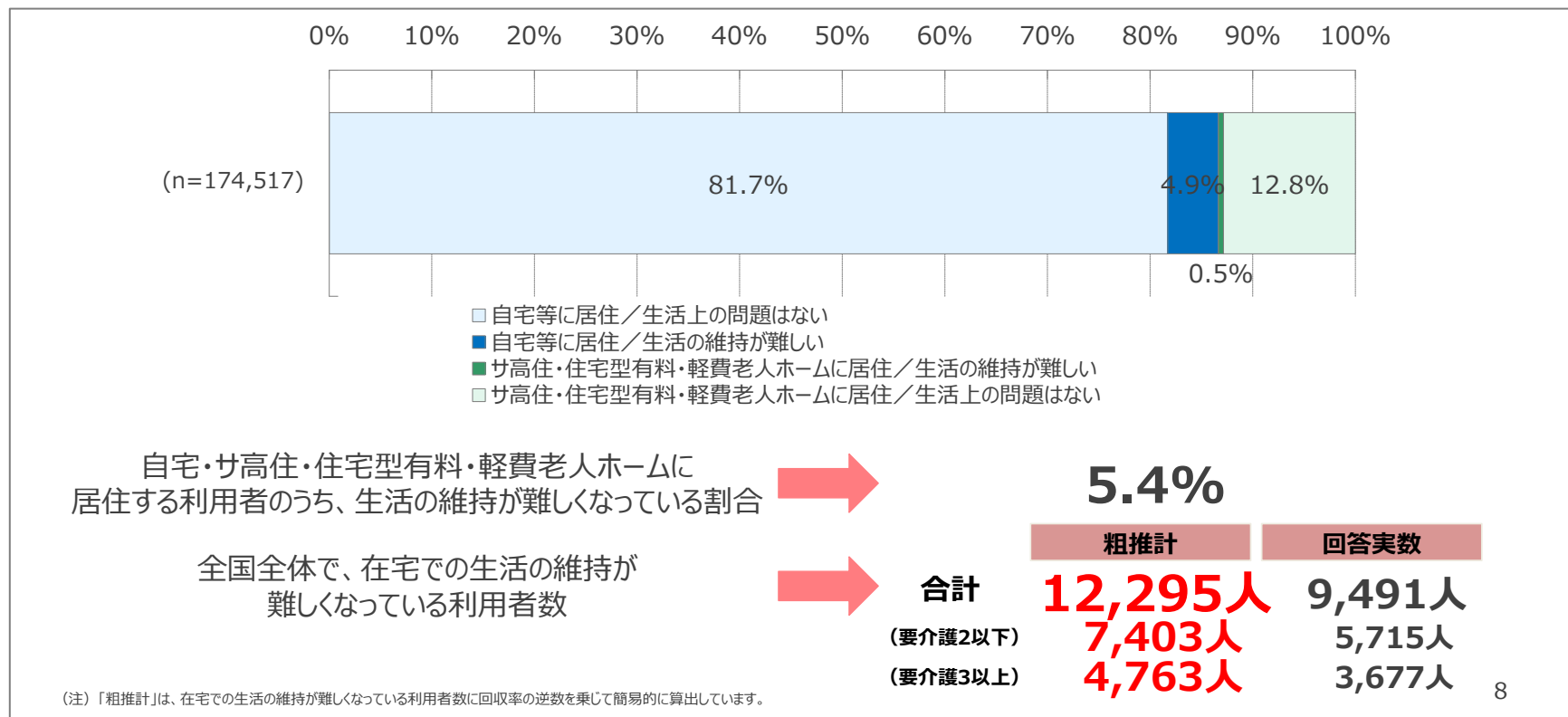
【集計・分析する設問】

□ 在宅生活改善調査 利用者票への回答人数

【わかること】

□ 現在、自宅等にお住まいの方で、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている人」の人数（粗推計）

図 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者



Q 5 自宅等で、現在の生活の維持が難しくなっている人たちに、必要なサービスは何か？

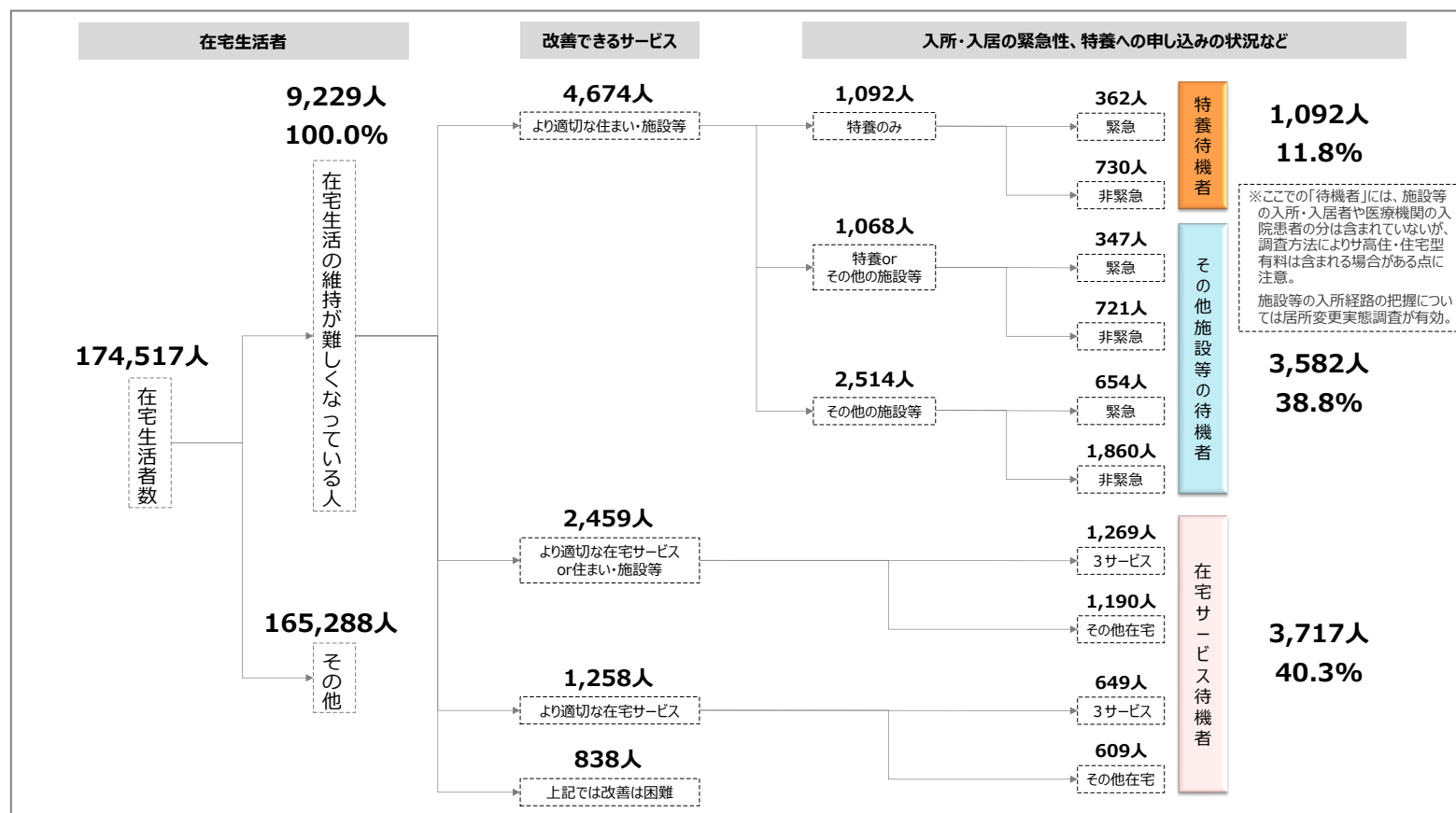
【集計・分析する設問】

□ 在宅生活改善調査 利用者票 問3-1～問3-3

【わかること】

□ 自宅等で、現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている人たちの、「生活改善に必要なサービス(潜在的な需要)」(粗推計)

図 「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更



Q 7 在宅生活の継続が可能と考えている人は、どのようなサービス利用をしているの？

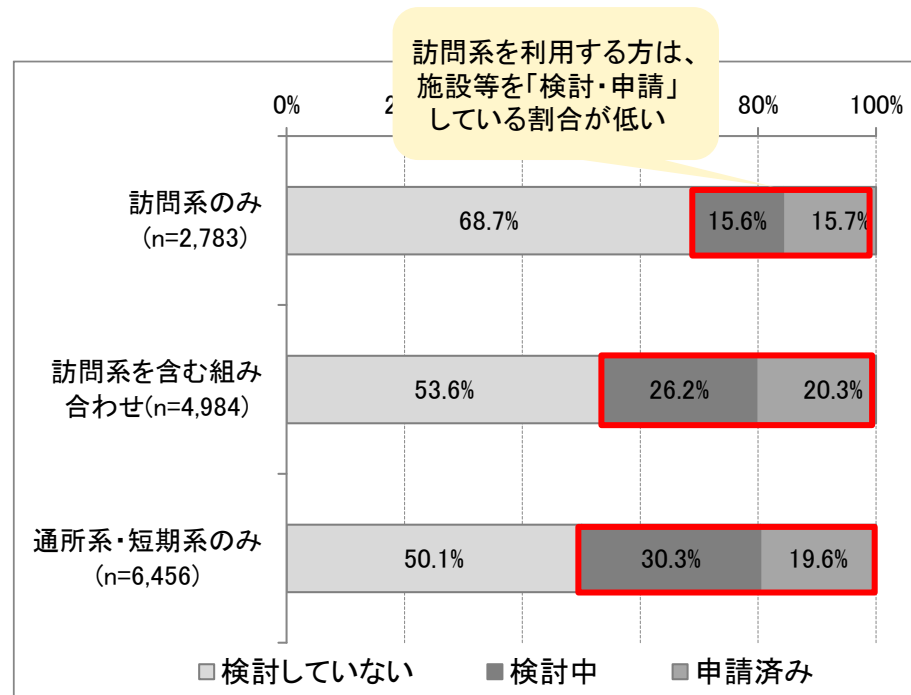
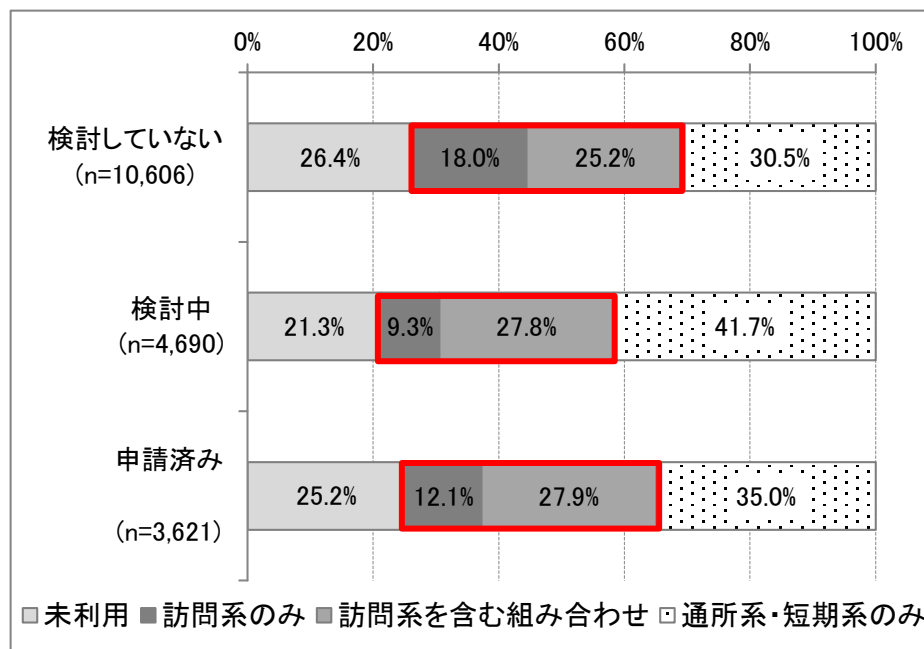
【集計・分析する設問】

□ 在宅介護実態調査 A票-問10、要介護認定データ(サービス利用の状況)

【わかること】

□ サービス利用の組み合わせと、施設等の検討状況の関係

図表 サービスの利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護3以上)



Ⅲ 「調査や分析ツールの活用」により、把握できる地域の実態とは？

Q10 過去1年間に、施設等から退所・退居した人について、居所変更をした人と死亡した人の割合は、それぞれどの程度？また、居所変更した人の行先はどこ？

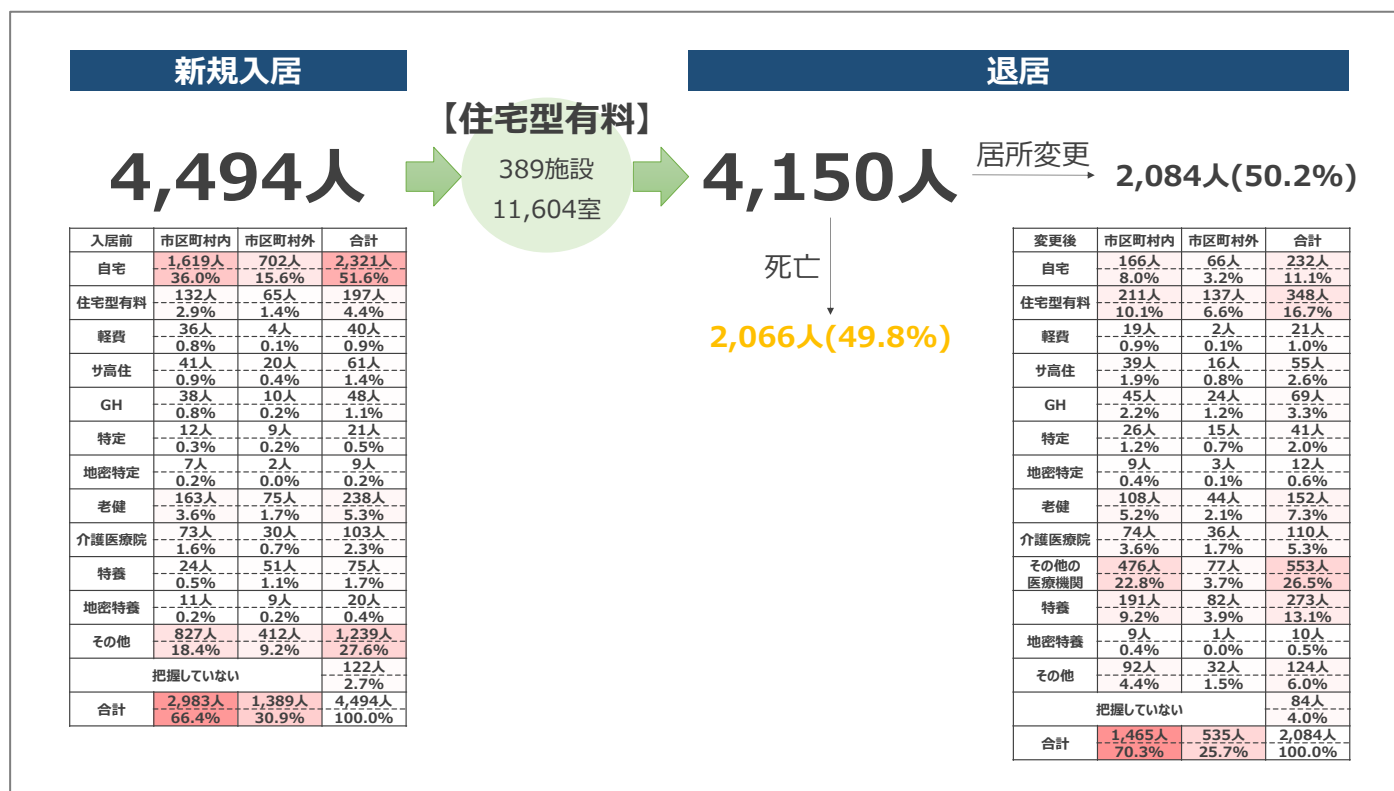
【集計・分析する設問】

□ 居所変更実態調査 問2-2)、問6、問9

【わかること】

□ 居所別の入所・入居前にいた居場所の構成、居所別の退所・退居した人の居所変更と死亡の割合、居所別の居所変更した人の行先の構成

図 過去1年間の施設等の入居・入所及び退居・退所の流れ



Ⅲ 「調査や分析ツールの活用」により、把握できる地域の実態とは？

手引き
P.56

Q20 サービス系統別の、介護職員の性別・雇用形態別の年齢構成は？

【集計・分析する設問】

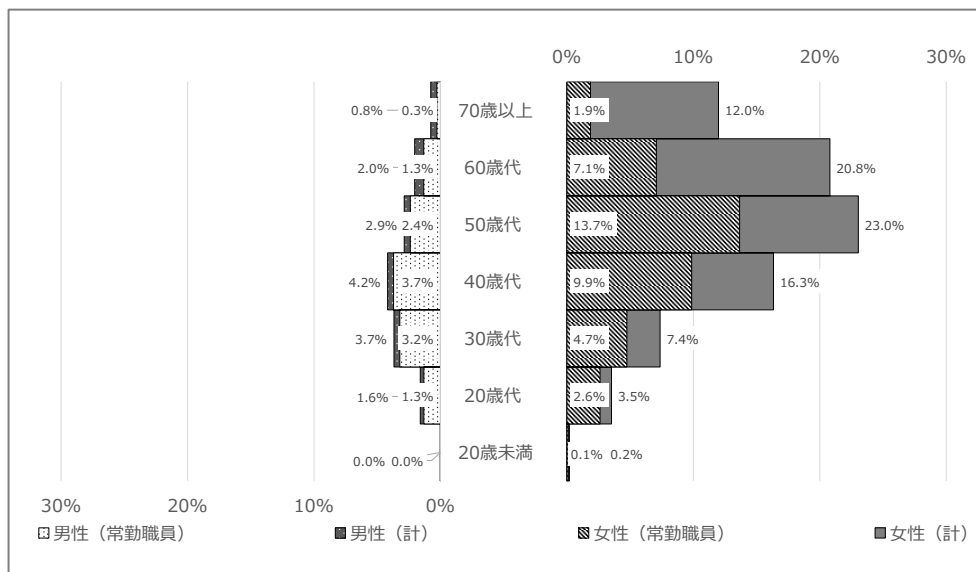
□ 介護人材実態調査 職員票 問1、問2、問3-1)～3)

【わかること】

□ 介護職員の性別・雇用形態別(正規・非正規)の年齢構成

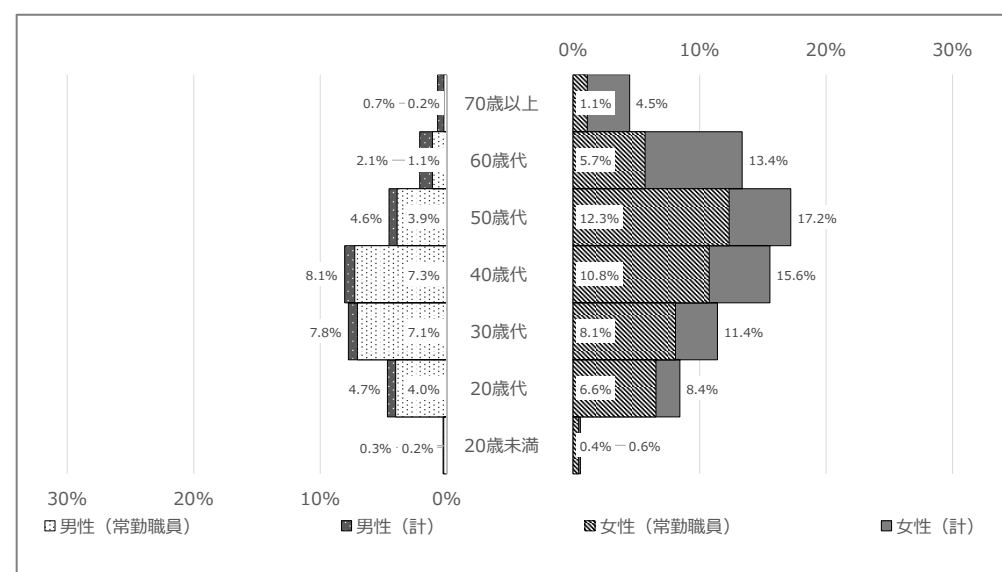
訪問系

図 性別・年齢別の雇用形態の構成比(訪問系)



施設・居住系

図 性別・年齢別の雇用形態の構成比(施設・居住系)



a.介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

令和7年度第3回運協
資料2-9

ページ 数	設問番 号	9期	10期	説明
3		あなたの現在の状態	介護認定の状況	文言修正
4	問1 (2)	新設	<p>(2) 現在のあなたの就労状態はどれですか(いくつでも)</p> <p>選択肢</p> <p>1. 職に就いたことがない</p> <p>2. 引退した</p> <p>3. 常勤(フルタイム)</p> <p>4. 非常勤(パート・アルバイト等)・</p> <p>5. 自営業</p> <p>6. 求職中</p> <p>7. その他・</p>	17ページ問9(7)今後の就労希望についての設問はあるが、現在の就労状態についての設問がなかったため新設
8	問4 【(3) 】で 「1」 を選択 した方 のみ】	<p>① 携帯電話やスマートフォンを利用していますか</p> <p>選択肢</p> <p>1 電話のみ利用</p> <p>2 メール・電話のみ利用</p> <p>3 メール・電話・ウェブ検索などを利用</p> <p>4 未利用</p>	<p>① 携帯電話やスマートフォンで操作可能なものを教えてください(あてはまるものすべてに○)</p> <p>選択肢</p> <p>1 電話</p> <p>2 メール</p> <p>3 ウェブ検索</p> <p>4 SNS(LINE等)</p> <p>5 アプリのダウンロード</p> <p>6 写真・動画撮影</p> <p>7 QRコード(読み取り・決済等)</p> <p>8 携帯・スマートフォンを持っていない</p>	携帯電話やスマートフォンの使用状況について、より詳しく確認するため変更。
8	問4 (8)	新設	<p>(8) 現在の耳の聞こえはどうか</p> <p>選択肢</p> <p>1 よく聞こえる</p> <p>2 時々聞こえが悪い感じがある</p> <p>3 聞こえが悪いのでうまく会話できない</p> <p>4 ほとんど聞こえない</p>	耳の聞こえについて、コミュニケーションの不足等による認知症リスクが高まることや、補聴器を必要とする高齢者の割合等を確認するため新設。

a.介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

令和7年度第3回運協
資料2-9

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
12	問6 (5)	(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (あてはまるものすべてに○) 選択肢 5 地域包括支援センター・役所・役場	(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (あてはまるものすべてに○) 選択肢 5 地域包括支援センター・市役所	選択肢の文言修正
14	問7 (5) ①	【(5)において「2」を選択した方のみ】 ① 習慣として運動していない主な理由を教えてください (あてはまるものすべてに○) 選択肢 1 病気 2 障害(脳卒中の後遺症等) 3 足腰等の痛み 4 トイレの心配(失禁等) 5 耳の障害(聞こえの問題等) 6 目の障害 7 外での楽しみがない 8 <u>経済的に出られない</u> 9 <u>交通手段がない</u> 10 その他()	【(5)において「2」を選択した方のみ】 ① 習慣として運動していない主な理由を教えてください (あてはまるものすべてに○) 選択肢 1 病気 2 障害(脳卒中の後遺症等) 3 足腰等の痛み 4 トイレの心配(失禁等) 5 耳の障害(聞こえの問題等) 6 目の障害 7 外での楽しみがない 8 <u>運動することがおっくうだ(面倒だ)</u> 9 <u>運動する気持ちはあるが続けられない</u> 10 その他()	習慣として運動していない理由を、より詳しく分析するため変更。

b.在宅介護実態調査

	ページ数	設問番号	9期	10期	説明
A票	4	問3	※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院（ <u>介護療養型医療施設</u> ）、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。	※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。	文言修正。 介護医療院（ 介護医療型医療施設 ） 介護医療型医療施設はなくなっているため削除。
	5	問6	介護保険サービスを利用することで、経済的な負担はどうになりましたか 選択肢 1 負担が軽減した 2 あまり変わらない 3 負担が増えた・ 4 大いに負担が増えた	削除	介護保険サービスを利用すると基本的には経済的負担が増えるため削除。
B票	10	問8	主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、 <u>仕事と介護の両立に効果があると思いますか</u> （3つまで選択可）	（案） 「仕事と介護の両立がしやすいと思いますか」	文言修正するか検討。 国のオプション設問のため、大幅な修正不可。

c.施設等利用者及び家族状況調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
8	問5 (4)	介護保険サービスを利用することで、経済的な負担はどうなりましたか 選択肢 1 負担が軽減した 2 あまり変わらない 3 負担が増えた 4 大いに負担が増えた	削除	b.在宅介護実態調査と同じのため説明省略。 介護保険サービスを利用すると基本的には経済的負担が増えるため削除。

d.介護保険事業者調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
2	問1 (3)	新設	<p>(3)該当するサービス種別（介護予防を含む）</p> <p>選択肢 1. 住宅型有料老人ホーム 2. 軽費老人ホーム（特定施設除く） 3. サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く） 4. グループホーム 5. 特定施設 6. 地域密着型特定施設 7. 介護老人保健施設 8. 介護医療院 9. 特別養護老人ホーム 10. 地域密着型特別養護老人ホーム 11. 訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業）） 12. 小規模多機能型居宅介護 13. 看護小規模多機能型居宅介護 14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 15. 通所介護（デイサービス） 16.通所リハビリテーション 17. 認知症対応型通所介護 18.通所型サービスB</p>	<p>該当するサービス種別を追加</p> <p>・居所変更実態調査の設問に回答してもらいたい事業所は、1～10</p> <p>・介護人材実態調査（11～18）の選択肢を設定。 介護人材実態調査は、「1. 施設・居住系サービス」と「2. 通所系サービス」のどちらか何う設問だが、居所変更の選択肢に合わせて、事業種別ごとに選択式とした。</p>
2	問1 (4)	(3) 職員体制	<p>(4) 職員体制</p> <p><u>うち外国人労働者数</u></p> <p><u>うち派遣職員</u></p>	<p>正規職員欄は、外国人労働者数を、 正規職員以外欄は、外国人労働者数と派遣職員数を追加。 （介護人材実態調査）</p>
		<p>ここでは以下のとおり分類しますの説明文</p> <p>・短時間労働者：1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が、常勤労働者より少ない方（登録ヘルパーを除く）</p>	<p>・短時間労働者：労働時間が、常勤労働者より少ない方（登録ヘルパーを除く）</p>	文言修正
	問1 (5)	<p>定期健康診断の実施状況 （労働安全衛生法規定） 常勤労働者、短時間労働者、登録ヘルパーそれぞれ「実施している」「実施していない」を選択</p>	削除	労働安全衛生法により実施する義務があるため削除。

d.介護保険事業者調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
3	問1 (6)	新設	短時間労働者・登録ヘルパーの勤務年数 1年未満 () 人 1～3年未満 () 人 3年以上 () 人 ※() 人の数字の合計が(4)の短時間労働者、登録ヘルパーの合計となるようにご記入ください	多様な働き方が増加する中で、正規職員以外の方がどの程度の期間継続して勤務をしているのか確認。
3	問2	新設	貴事業所において安定的に事業所運営を行うにあたり、不足していると感じる職員数は、常勤換算で何人になりますか。 また、頭数では何人になりますか。 1. 常勤換算 () 人 2. 頭数 () 人 3. 不足していない	介護人材不足の状況を把握するため追加
3	問3	新設	貴事業所は開設から1年以上経過していますか 1. はい 2. いいえ	介護人材実態調査
3	問4	新設	過去1年間（令和7年2月1日～令和8年1月31日）に採用した人数、離職した人数を常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めて教えてください	介護人材実態調査 常勤、非常勤、短時間労働者の採用者数と離職者数
4	問5～問13	新設	2居所変更の実態について	居所変更実態調査 「問6 貴施設等で、以下の医療処置が必要な利用者の受け入れは可能ですか。」の選択肢並び順については、後ほどサ高住調査の際にお伝えする順番に変更。

d.介護保険事業者調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
7	問14	<p>貴事業所において、利用者の意思や尊厳の尊重、事業所内での虐待防止等、利用者の人権を擁護するために講じている取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>1 認知症、高齢者虐待防止等に関する研修を実施したり、外部研修へ参加をしている</p> <p>2 他事業所と情報交換等の交流をしている</p> <p>3 人員配置上の工夫をしている（夜勤体制の強化等）</p> <p>4 事業所内外の多職種（医師やケアマネジャー等）間の連携を高めている</p> <p>5 規則等の再検討や、業務内容（一斉介助や流れ作業等）の見直しを行っている</p> <p>6 トラブルが発生したとき、利用者及び家族が最初に連絡できる職員を明確にしている</p> <p><u>7 虐待防止等に関して事業所全体の方針を設定し、管理者の責任を明確にしている</u></p> <p><u>8 虐待防止委員会等や相談窓口を設置し、担当者等を決めている</u></p> <p>9 苦情対応等の対応状況に関する点検評価を外部から受ける仕組みを導入している</p> <p>10 家族等にサービスの内容を知らせている</p> <p>11 事業所の情報公表を進めている（福祉サービス第三者評価等の利用）</p> <p>12 その他（ ）</p> <p>13 特にない</p>	<p>貴事業所において、利用者の意思や尊厳の尊重、事業所内での虐待防止等、利用者の人権を擁護するために講じている取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>1 認知症、高齢者虐待防止等に関する研修を実施したり、外部研修へ参加をしている</p> <p>2 他事業所と情報交換等の交流をしている</p> <p>3 人員配置上の工夫をしている（夜勤体制の強化等）</p> <p>4 事業所内外の多職種（医師やケアマネジャー等）間の連携を高めている</p> <p>5 規則等の再検討や、業務内容（一斉介助や流れ作業等）の見直しを行っている</p> <p>6 トラブルが発生したとき、利用者及び家族が最初に連絡できる職員を明確にしている</p> <p>7 苦情対応等の対応状況に関する点検評価を外部から受ける仕組みを導入している</p> <p>8 家族等にサービスの内容を知らせている</p> <p>9 事業所の情報公表を進めている（福祉サービス第三者評価等の利用）</p> <p>10 その他（ ）</p> <p>11 特にない</p>	<p>7 指針策定、8 虐待防止委員会は義務化されているので、選択肢から削除</p>

d.介護保険事業者調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
7	問15-1	新設	<p>講じていると選択した取組において、効果があったと思う取組はありますか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>1 事故防止マニュアルの作成 2 事故防止研修の実施 3 事故防止ミーティングの実施 4 ヒヤリ・ハット報告の徹底 5 事故発生時の対応マニュアルの作成 6 救急車の呼び方マニュアルの作成 7 応急処置技能研修の実施 8 その他（ ） 9 特にない</p>	より詳しく分析するため、問15で講じている取組を選択したもののうち、効果があった取組についてを追加。
8	問17	<p>今後起こり得る「大規模災害（例：地震・台風等）」について、貴事業所で被害を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢 1 避難計画・方針の策定 2 避難訓練の実施 3 食料品等の備蓄 4 <u>災害発生時のサービス提供再開に向けたマニュアル等の作成</u> 5 自治会等の地域組織との連携 6 その他（ ） 7 特にない</p>	<p>今後起こり得る「大規模災害（例：地震・台風等）」について、貴事業所で被害を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢 1 避難計画・方針の策定 2 避難訓練の実施 3 食料品等の備蓄 4 自治会等の地域組織との連携 5 その他（ ） 6 特にない</p>	「4 災害発生時のサービス提供再開に向けたマニュアル等の作成」を削除。 マニュアル作成は義務付けられているため、選択肢から削除。

d.介護保険事業者調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
9	問20	<p>貴事業所で課題となっているものはどれですか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢</p> <p>【経営面】</p> <p>1 事業所の経営理念の明確化</p> <p>2 提供するサービスの量的拡大</p> <p>3 提供するサービスエリアの拡大</p> <p>【人材面】</p> <p>4 人材の確保 5 従業員の労働条件の改善</p> <p>6 従業員への経営理念の周知徹底</p> <p>7 OJT（人材育成・教育）の充実</p> <p>8 外部研修への積極的な派遣</p> <p>9 障害者サービスへの対応・研修</p> <p>【サービスの質】</p> <p>10 各種マニュアルの作成 11 サービスの自己評価の取組</p> <p>12 利用者にとって有益な情報開示の推進・</p> <p>13 制度改正に対応した利用者への説明</p> <p>14 利用者にわかりやすい契約書の工夫</p> <p>15 利用者のプライバシー保護・個人情報管理の徹底</p> <p>16 サービス担当者会議への積極的な参加</p> <p>17 苦情処理対応の充実</p> <p>【連携】</p> <p>18 家族等介護者とのつながり</p> <p>19 福祉系事業者との連携</p> <p>20 医療系事業者との連携</p> <p>21 医療機関との連携</p> <p>22 地域包括支援センターとの連携</p> <p>23 ボランティアの受入れ、連携</p> <p>24 その他（ ） 25 課題はない</p>	<p>貴事業所で課題となっているものはどれですか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢</p> <p>【経営面】</p> <p>1 提供するサービスの量的拡大</p> <p>2 提供するサービスエリアの拡大</p> <p>【人材面】</p> <p>3 人材の確保 4 従業員の労働条件の改善</p> <p>5 OJT（人材育成・教育）の充実</p> <p>6 外部研修への積極的な派遣</p> <p>7 障害者サービスへの対応・研修</p> <p>【サービスの質】</p> <p>8 各種マニュアルの作成 9 サービスの自己評価の取組</p> <p>10 利用者にとって有益な情報開示の推進</p> <p>11 制度改正に対応した利用者への説明</p> <p>12 利用者にわかりやすい契約書の工夫</p> <p>13 利用者のプライバシー保護・個人情報管理の徹底</p> <p>14 サービス担当者会議への積極的な参加</p> <p>15 苦情処理対応の充実</p> <p>【連携】</p> <p>16 家族等介護者とのつながり</p> <p>17 福祉系事業者との連携</p> <p>18 医療系事業者との連携</p> <p>19 医療機関との連携</p> <p>20 地域包括支援センターとの連携</p> <p>21 ボランティアの受入れ、連携</p> <p>22 その他（ ）</p> <p>23 課題はない</p>	選択肢を精査し変更

d.介護保険事業者調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
11	問23	<p>介護職員の処遇改善を行う上で、どのような課題があると考えますか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>選択肢</p> <p>1 介護報酬処遇改善加算はあっても、<u>職員の処遇改善にまでは回らない</u></p> <p>2 事業の安定運営が最優先で、<u>職員の処遇改善にまでは回らない</u></p> <p>3 介護職員の処遇改善をしても、人材確保や定着率向上に結びつかない</p> <p>4 今後の制度改正や介護報酬改定を見据えると、給与体系まで手がつけられない</p> <p>5 その他（ ）</p> <p>6 特に課題はない</p>	<p>介護職員の処遇改善を行う上で、どのような課題があると考えますか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>選択肢</p> <p>1 介護報酬処遇改善加算の額が十分ではない</p> <p>2 事業の安定運営が最優先で、職員の処遇改善する余裕がない</p> <p>3 介護職員の処遇改善をしても、人材確保や定着率向上に結びつかない</p> <p>4 今後の制度改正や介護報酬改定を見据えると、給与体系まで手がつけられない</p> <p>5 その他（ ）</p> <p>6 特に課題はない</p>	<p>文言修正。</p> <p>「1 介護報酬処遇改善加算の額が十分ではない」に変更。</p> <p>「2 事業の安定運営が最優先で、職員の処遇改善する余裕がない」に変更</p>
11	問24-1	<p>収入額が増減した理由を教えてください（あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢</p> <p>1 利用者数の増減</p> <p>2 利用者一人当たりの利用単価の増減</p> <p>3 提供サービスの拡大・縮小</p> <p>4 加算の取得</p> <p>5 その他（ ）</p>	<p>収入額が増減した理由を教えてください（あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢</p> <p>1 利用者数の増減</p> <p>2 利用者一人当たりの利用単価の増減</p> <p>3 提供サービスの拡大・縮小</p> <p>4 加算の取得</p> <p><u>5 報酬改定の影響</u></p> <p>6 その他（ ）</p>	<p>選択肢「5 報酬改定の影響」を追加</p>
13	問27	新設	採用や人材定着に関する課題をご回答ください。（自由記述）	介護人材実態調査
13	問28	新設	人材確保に関して市町村に期待するサポートがあれば、ご回答ください。（自由記述）	介護人材実態調査

d.介護保険事業者調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
14	問29-1	<p>どのような支援があれば受審できると思いますか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢 5 <u>どんな支援があっても受審しない</u></p>	<p>どのような支援があれば受審できると思いますか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢 5 <u>支援有無に関わらず受審しない</u></p>	<p>文言修正。 5の選択肢を「支援有無に関わらず受審しない（理由： ）」とする。</p>
14	問30	新設	<p>貴事業所で勤務する介護職員から利用者または利用者家族から以下のようなハラスメント被害の報告を受けたことがありますか</p> <p>選択 1 身体的暴力（物を投げる、蹴られる、唾を吐くなど） 2 精神的暴力（大声を発する、怒鳴る、特定の職員にいやがらせをする、理不尽なサービスを要求するなど） 3 セクシュアルハラスメント（必要もなく手や腕を触る、抱きしめる、あからさまに性的な話をするなど） 4 受けたことがない</p>	<p>ハラスメント質問新設。 職員、ケアマネジャーに聴取し、事業所と職員の認識の差を確認。</p>
15	問30-1 【問30で1、2を選択した方のみ】	新設	<p>職員からハラスメント被害の報告を受けたとき、どのように対応しましたか。</p> <p>選択肢 1 顧問弁護士相談 2 都（市）法律相談 3 都相談窓口 4 事業所内相談窓口 5 その他（ ）</p>	<p>ハラスメント質問新設。 職員、ケアマネに聴取し、事業所と職員の認識の差を確認。</p>

e.介護支援専門員調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
2	問1 (3)	選択肢 1 国家資格等 (国家資格等の種類：)	選択肢 1 国家資格等	一部削除。 選択肢1の(国家資格等の種類：)を削除。
	問1 (4)	選択肢 2 常勤で兼務(兼務業務：) 4 非常勤で兼務(兼務業務：)	選択肢 2 常勤で兼務 4 非常勤で兼務	一部削除。 選択肢2、4の(兼務業務：)を削除。
	問1 (8)	労働時間 週の所定労働時間()時間	週の所定労働時間 選択肢 1 10時間未満 2 10～20時間未満 3 20～30時間未満 4 30～40時間未満 5 40時間超	文言修正。 回答者が記入する形式であったが、集計する際にある程度まとめてしまうので、回答者負担が減るように選択肢制に変更。
3	問1 (10)	令和4年中の収入(賞与及び残業・諸手当等を含む) 選択肢 1 103万円未満 2 103万円～130万円未満 3 130万円～200万円未満 4 200万円～250万円未満 5 250万円～300万円未満 6 300万円～400万円未満 7 400万円～500万円未満 8 500万円～600万円未満 9 600万円以上 10 昨年は1年を通じて働いていない	令和7年中の収入(賞与及び残業・諸手当等を含む) 選択肢 1 160万円未満 2 160万円～200万円未満 3 200万円～300万円未満 4 300万円～400万円未満 5 400万円～500万円未満 6 500万円～600万円未満 7 600万円～800万円未満 8 800万円以上 9 回答したくない 10 昨年は1年を通じて働いていない	収入額を変更。

e.介護支援専門員調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
		<p>3 サービスの供給について</p> <p>問6 介護支援専門員から見て、供給が不足していると感じられるサービスはありますか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>問7 介護保険サービスのメニュー以外で、在宅生活を送る上で必要と思われるサービスや支援内容がありますか(3つまで選択可)</p>	<p>3 サービスの供給について を削除し、別紙【在宅生活改善調査_利用者票】を追加</p>	<p>在宅生活改善調査 別紙</p>
5	問12-1	<p>介護予防プランの作成を受託する上で問題になっていることは何ですか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>選択肢</p> <p>1 介護予防サービス計画書の作成が煩雑</p> <p>2 サービスが組みにくい</p> <p>3 受託件数が多く対応しきれない・</p> <p>4 その他()</p> <p>5 問題になっていることはない</p>	<p>介護予防プランの作成を受託する上で問題になっていることは何ですか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>選択肢</p> <p>1 介護予防サービス計画書の作成が煩雑</p> <p>2 人材不足により、サービス提供予定が組みにくい</p> <p>3 受託件数が多く対応しきれない・</p> <p>4 その他()</p> <p>5 問題になっていることはない</p>	<p>文言修正。 選択肢2を「人材不足により、サービス提供予定が組みにくい」に変更</p>
5	問14	<p>新設</p>	<p>問14 あなたは、利用者または利用者家族から以下のようなハラスメントを受けたことがありますか</p> <p>選択肢</p> <p>1 身体的暴力(物を投げる、蹴られる、唾を吐くなど)</p> <p>2 精神的暴力(大声を発する、怒鳴る、特定の職員にいやがらせをする、理不尽なサービスを要求するなど)</p> <p>3 セクシュアルハラスメント(必要もなく手や腕を触る、抱きしめる、あからさまに性的な話をするなど)</p> <p>4 受けたことがない</p>	<p>ハラスメント質問新設。 介護支援専門員、介護職員の回答と、事業所の回答を照らし合わせ、認識の差を確認。</p>

e.介護支援専門員調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
6	問14－1 【問14で1から3を選択した方のみ】	新設	問14－1 【問14で1から3を選択した方のみ】 ハラスメント受けたことを、誰に相談していますか(あてはまるものすべてに○) 選択肢 1 職場の上司・同僚 3 保険者（国分寺市） 5 家族・親族 7 都（市）法律相談 9 その他() 2 職場の相談窓口 4 友人・知人 6 顧問弁護士 8 都相談窓口 10 相談していない	ハラスメント質問新設。 問13悩みの相談先の選択肢を参考にし、一部選択肢を追加。
6	問14－2 【問14－1で10を選択した方のみ】	新設	相談していない理由は何ですか(あてはまるものすべてに○) 選択肢 1 忙しくて相談する時間がとれないから 2 職場内外とも相談体制が整っていないから 3 信頼できる相談相手がいないから 4 相談先がわからないから 5 相談しても無駄だから 6 自分で解決しているから 7 その他()	ハラスメント質問新設。 設問、選択肢 問13-1と同じ。

e.介護支援専門員調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
6	問15	<p>ケアマネジメントの質の向上に向けて、必要な知識は何だと思いますか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>選択肢</p> <p>1 自治体毎の施策や担当部署等の知識</p> <p><u>2 成年後見制度に関する知識</u></p> <p><u>3 地域福祉権利擁護事業に関する知識</u></p> <p>4 住宅改修に関する知識</p> <p>5 医療・保健に関する知識</p> <p>6 障害者福祉制度に関する知識</p> <p>7 リハビリテーションに関する知識</p> <p>8 福祉用具の利用方法に関する知識</p> <p>9 高齢者虐待防止に関する知識</p> <p><u>10 病気(認知症等)、症状(麻痺・痛み・発作・日内変動等)、障害(高次脳機能障害等)に関する知識</u></p> <p><u>11 会話(コミュニケーション)技術</u></p> <p><u>12 地域のボランティア情報</u></p> <p>13 その他 ()</p>	<p>ケアマネジメントの質の向上に向けて、必要な知識は何だと思いますか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>選択肢</p> <p>1 自治体毎の施策や担当部署等の知識</p> <p><u>2 権利擁護に関する知識</u></p> <p>3 住宅改修に関する知識</p> <p>4 医療・保健に関する知識</p> <p>5 障害者福祉制度に関する知識</p> <p>6 リハビリテーションに関する知識</p> <p>7 福祉用具の利用方法に関する知識</p> <p>8 高齢者虐待防止に関する知識</p> <p>9 高齢者に多い疾患や障害に関する知識</p> <p><u>10 自立支援・重度化防止に関する知識</u></p> <p><u>11 地域の社会資源</u></p> <p><u>12 医療連携及び多職種協働に関する知識</u></p> <p>13 その他 ()</p>	<p>一部の選択肢をまとめて、文言修正。</p> <p>11、12を削除し、</p> <p>「自立支援・重度化防止に関する知識」</p> <p>「地域の社会資源」</p> <p>「医療連携及び多職種協働に関する知識」を追加。</p>
6	問16	<p>ケアマネジメントの質の向上に向けて、さらに向上させたい知識は何ですか(あてはまるものすべてに○)</p>		問15と同じのため省略。選択肢の変更。

e.介護支援専門員調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
7	問17	<p>保険者(国分寺市)に対して不満に感じることは、どのようなことですか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>選択肢</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 受付場所が少ない 2 窓口対応が悪い 3 書類を郵送で処理できない 4 各種手続きが煩雑 5 申請から介護認定までの時間の長さ 6 困難事例に対する相談体制や受け止めが不十分 7 <u>制度に関する広報が少ない</u> 8 <u>制度の経過説明が少ない</u> 9 訪問日と利用者宛書類の送付タイミングがずれる 10 余計な通知が多い 11 その他 () 12 特になし 	<p>保険者(国分寺市)に対して不満に感じることは、どのようなことですか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>選択肢</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 受付場所が少ない 2 窓口対応が悪い 3 書類を郵送で処理できない 4 各種手続きが煩雑 5 申請から介護認定までの時間の長さ 6 困難事例に対する相談体制や受け止めが不十分 7 <u>制度に関する説明・広報が少ない</u> 8 <u>事業者支援の情報提供が少ない</u> 9 訪問日と利用者宛書類の送付タイミングがずれる 10 余計な通知が多い 11 その他 () 12 特になし 	<p>一部の選択肢をまとめて、文言修正。 「8 事業者支援の情報提供が少ない」を追加。</p>
7	問19	<p>保険者(国分寺市)が行う介護支援専門員への支援として、どのようなことを望みますか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>選択肢</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 各種研修の充実 2 事例検討会の開催 3 相談体制の強化 4 地域の医療機関との連携 5 認定審査会における付帯意見 6 利用者や家族への介護保険制度の周知徹底 7 事業者に対する指導の徹底 8 インターネットによるケアマネ支援情報の発信 9 高齢者虐待事例の相談・助言 10 成年後見制度に関する相談・助言 11 消費者被害に関する相談・助言 12 その他 () 	<p>保険者(国分寺市)が行う介護支援専門員への支援として、どのようなことを望みますか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>選択肢</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 各種研修の充実 2 事例検討会の開催 3 相談体制の強化 4 地域の医療機関との連携 5 認定審査会における付帯意見 6 利用者や家族への介護保険制度の周知徹底・ 7 事業者に対する指導の徹底・ 8 インターネットによるケアマネ支援情報の発信 9 高齢者虐待事例の相談・助言 10 成年後見制度に関する相談・助言 11 消費者被害に関する相談・助言 12 <u>研修費補助等の補助金の交付</u> 13 その他 () 	<p>選択肢「12 研修費補助等の補助金の交付」を追加。</p>

e.介護支援専門員調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
8	問21	<p>次に挙げる人たちとの連携状況について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください</p> <p>選択肢</p> <p>(1)他の居宅介護支援事業所 (2)他の介護保険事業所 (3)地域包括支援センター (4)ボランティア・NPO (5)行政機関 (6)社会福祉協議会 (7)民生委員 (8)障害者基幹相談支援センター</p>	<p>次に挙げる人たちとの連携状況について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください</p> <p>選択肢</p> <p>(1)他の居宅介護支援事業所 (2)他の介護保険事業所 <u>(3)介護保険以外の事業所</u> <u>(4)医療機関</u> (5)地域包括支援センター (6)ボランティア・NPO (7)行政機関 (8)社会福祉協議会 (9)民生委員 (10)障害者基幹相談支援センター</p>	<p>選択肢「3 介護保険以外の事業所」「4 医療機関」を追加。</p>
8	問22	<p>問20の人たちとどのような連携を取っていますか(あてはまるものすべてに○)</p> <p><u>1 勉強会、ケース検討会の共同開催</u> <u>2 利用者の定員超過が見込まれる場合や空きがある場合の連携</u> 3 困難事例等の相談 4 その他() 5 特にない</p>	<p>問21の人たちとどのような方法で連携を取っていますか(あてはまるものすべてに○)</p> <p><u>1 ケース検討会の開催、参加</u> <u>2 勉強会の開催、参加(共同開催含む)</u> <u>3 困難事例等の相談(複合的課題を抱える世帯への支援)</u> <u>4 地域資源に関する相談</u> 5 その他() 6 特にない</p>	<p>設問文の文言修正。</p> <p>選択肢 回答者が分かりやすいように文言修正。 「4地域資源に関する相談」を追加。</p>

f.介護職員等調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
2	問2 (2)	(2)現在取得している介護に関する資格(あてはまるものすべてに○) 選択肢 1 訪問介護員(ホームヘルパー)	(2)現在取得している介護に関する資格(あてはまるものすべてに○) 選択肢 1 訪問介護員(ホームヘルパー) <u>(実務者研修修了・初任者研修修了を含む)</u>	文言修正。 訪問介護員(ホームヘルパー)相当の2つの研修について説明書きを追記。
4	問4 (3)	ここでは以下のとおり分類しますの説明文 ・短時間労働者：1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が、常勤労働者より少ない方(登録ヘルパーを除く)	・短時間労働者：労働時間が、常勤労働者より少ない方(登録ヘルパーを除く)	文言修正。 短時間労働者の説明を介護保険事業者調査と揃えた
4	問4 (4)	(8)労働時間 週の所定労働時間()時間	(8)週の所定労働時間 選択肢 1 10時間未満 2 10～20時間未満 3 20～30時間未満 4 30～40時間未満 5 40時間超	文言修正。 回答者が記入する形式であったが、集計する際にある程度まとめてしまうので、回答者負担が減るように選択肢制に変更。
4	問4 (6)	(10)令和4年中の収入(賞与及び残業・諸手当等を含む) 選択肢 1 103万円未満 2 103万円～130万円未満 3 130万円～200万円未満 4 200万円～250万円未満 5 250万円～300万円未満 6 300万円～400万円未満 7 400万円～500万円未満 8 500万円～600万円未満 9 600万円以上 10 昨年は1年を通じて働いていない	(10)令和4年中の収入(賞与及び残業・諸手当等を含む) 選択肢 1 160万円未満 2 160万円～200万円未満 3 200万円～300万円未満 4 300万円～400万円未満 5 400万円～500万円未満 6 500万円～600万円未満 7 600万円～800万円未満 8 800万円以上 9 回答したくない 10 昨年は1年を通じて働いていない	一部変更。e介護支援専門員調査と同じのため説明省略。

f.介護職員等調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
6	問10	新設	<p>問10 あなたは、利用者または利用者家族から以下のようなハラスメントを受けたことがありますか</p> <p>1 身体的暴力（物を投げる、蹴られる、唾を吐くなど） 2 精神的暴力（大声を発する、怒鳴る、特定の職員にいやがらせをする、理不尽なサービスを要求するなど） 3 セクシュアルハラスメント（必要もなく手や腕を触る、抱きしめる、あからさまに性的な話をするなど） 4 受けたことがない</p>	e介護支援専門員調査と同じのため説明省略。
6	問10-1	新設	<p>問10で1、2を選択した方 ハラスメントを受けたことを、誰に相談していますか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>1 職場の上司・同僚 2 職場の相談窓口 3 保険者（国分寺市） 4 友人・知人 5 家族・親族 6 顧問弁護士 7 都（市）法律相談 8 都相談窓口 9 その他() 10 相談していない</p>	同上
6	問10-2	新設	<p>相談していない理由は何ですか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>1 忙しくて相談する時間がとれないから 2 職場内外とも相談体制が整っていないから 3 信頼できる相談相手がないから 4 相談先がわからないから 5 相談しても無駄だから 6 自分で解決しているから 7 その他()</p>	同上

g.住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
2	問1 (3)	(3) 職員体制	(3) 職員体制 うち外国人労働者数 うち派遣職員	正規職員欄は、外国人労働者数を、 正規職員以外欄は、外国人労働者数と派遣職員数を追加 (介護人材実態調査)
2		ここでは以下のとおり分類します の説明文 ・短時間労働者：1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が、常勤労働者より少ない方（登録ヘルパーを除く）	・短時間労働者：労働時間が、常勤労働者より少ない方（登録ヘルパーを除く）	文言修正。
4	問5	以下の医療ニーズのうち、貴施設・住宅で受入れ可能なものをすべて選んで○をしてください。併せて、令和8年1月1日現在の利用人数をご記入ください 選択肢 (1) インスリン (2) 気管切開 (3) 中心静脈栄養 (4) バルーンカテーテル (5) 点滴の管理 (6) モニター測定 (7) 胃ろう (8) 鼻腔経管栄養 (9) たん吸引 (10) ペースメーカー (11) レスピレーター (12) 褥瘡の処置 (13) 透析 (14) 在宅酸素 (15) ストマ (16) 看取り (17) 疼痛の看護	以下の医療ニーズのうち、貴施設・住宅で受入れ可能なものをすべて選んで○をしてください。併せて、令和8年1月1日現在の利用人数をご記入ください 選択肢 (1) インスリン (2) 鼻腔経管栄養 (3) 中心静脈栄養 (4) 点滴の管理 (5) 胃ろう (6) バルーンカテーテル (7) ストマ (8) 気管切開 (9) 喀痰吸引 (10) ペースメーカー (11) レスピレーター (12) 在宅酸素 (13) 透析 (14) 褥瘡の処置 (15) モニター測定 (16) 看取り (17) 疼痛の看護(薬物療法) (18) 疼痛の看護(非薬物療法)	選択肢の順番を並び替え。 (17) 疼痛の看護について、 (薬物療法) (被薬物療法) に分けた。

g.住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
6	問12	<p>今後起こり得る「大規模災害（例：地震・台風等）」について、貴施設・住宅で被害を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか （あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢</p> <p>1 避難計画・方針の策定</p> <p>2 避難訓練の実施</p> <p>3 食料品等の備蓄</p> <p>4 災害発生時のサービス提供再開に向けたマニュアル等の作成</p> <p>5 自治会等の地域組織との連携</p> <p>6 その他（ ）</p> <p>7 特にない</p>	<p>今後起こり得る「大規模災害（例：地震・台風等）」について、貴施設・住宅で被害を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか （あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢</p> <p>1 避難計画・方針の策定</p> <p>2 避難訓練の実施</p> <p>3 食料品等の備蓄</p> <p>4 自治会等の地域組織との連携</p> <p>5 その他（ ）</p> <p>6 特にない</p>	<p>d介護保険事業者調査と同じのため説明省略。</p> <p>「4 災害発生時のサービス提供再開に向けたマニュアル等の作成」を削除。 マニュアル作成は義務付けられているため、選択肢から削除。</p>

g.住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
7	問13	<p>貴施設・住宅において、利用者の意思や尊厳の尊重、施設内での虐待防止等、利用者の人権を擁護するために講じている取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢</p> <p>1 認知症、高齢者虐待防止等に関する研修を実施したり、外部研修へ参加をしている</p> <p>2 他施設と情報交換等の交流をしている</p> <p>3 人員配置上の工夫をしている（夜勤体制の強化等）</p> <p>4 施設内外の多職種（医師やケアマネジャー等）間の連携を高めている</p> <p>5 規則等の再検討や、業務内容（一斉介助や流れ作業等）の見直しを行っている</p> <p>6 トラブルが発生したとき、利用者及び家族が最初に連絡できる職員を明確にしている</p> <p><u>7 虐待防止等に関して施設全体の方針を設定し、管理者の責任を明確化している</u></p> <p><u>8 虐待防止委員会等や相談窓口を設置し、担当者等を決めている</u></p> <p>9 苦情対応等の対応状況に関する点検評価を外部から受ける仕組みを導入している</p> <p>10 家族等にサービスの内容を知らせている</p> <p>11 施設の情報公表を進めている（福祉サービス第三者評価等の利用）</p> <p>12 その他（ ）</p> <p>13 特にない</p>	<p>貴施設・住宅において、利用者の意思や尊厳の尊重、施設内での虐待防止等、利用者の人権を擁護するために講じている取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢</p> <p>1 認知症、高齢者虐待防止等に関する研修を実施したり、外部研修へ参加をしている</p> <p>2 他施設と情報交換等の交流をしている</p> <p>3 人員配置上の工夫をしている（夜勤体制の強化等）</p> <p>4 施設内外の多職種（医師やケアマネジャー等）間の連携を高めている</p> <p>5 規則等の再検討や、業務内容（一斉介助や流れ作業等）の見直しを行っている</p> <p>6 トラブルが発生したとき、利用者及び家族が最初に連絡できる職員を明確にしている</p> <p>7 苦情対応等の対応状況に関する点検評価を外部から受ける仕組みを導入している</p> <p>8 家族等にサービスの内容を知らせている</p> <p>9 施設の情報公表を進めている（福祉サービス第三者評価等の利用）</p> <p>10 その他（ ）</p> <p>11 特にない</p>	<p>d介護保険事業者調査と同じのため説明省略。</p> <p>7 指針策定、8 虐待防止委員会は義務化されているので、選択肢から削除</p>

g.住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
8	問16	<p>貴事業所で課題となっているものはどれですか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢</p> <p>【経営面】</p> <p>1 事業所の経営理念の明確化</p> <p>2 提供するサービスの量的拡大</p> <p>3 提供するサービスエリアの拡大</p> <p>【人材面】</p> <p>4 人材の確保</p> <p>5 従業員の労働条件の改善</p> <p>6 従業員への経営理念の周知徹底</p> <p>7 OJT（人材育成・教育）の充実</p> <p>8 外部研修への積極的な派遣</p> <p>9 障害者サービスへの対応・研修</p> <p>【サービスの質】</p> <p>10 各種マニュアルの作成</p> <p>11 サービスの自己評価の取組</p> <p>12 利用者にとって有益な情報開示の推進・</p> <p>13 制度改正に対応した利用者への説明</p> <p>14 利用者にわかりやすい契約書の工夫</p> <p>15 利用者のプライバシー保護・個人情報管理の徹底</p> <p>16 サービス担当者会議への積極的な参加</p> <p>17 苦情処理対応の充実</p> <p>【連携】</p> <p>18 家族等介護者とのつながり</p> <p>19 福祉系事業者との連携</p> <p>20 医療系事業者との連携</p> <p>21 医療機関との連携</p> <p>22 地域包括支援センターとの連携</p> <p>23 ボランティアの受入れ、連携</p> <p>24 その他（ ）</p> <p>25 課題はない</p>	<p>貴事業所で課題となっているものはどれですか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢</p> <p>【経営面】</p> <p>1 提供するサービスの量的拡大</p> <p>2 提供するサービスエリアの拡大</p> <p>【人材面】</p> <p>3 人材の確保</p> <p>4 従業員の労働条件の改善</p> <p>5 OJT（人材育成・教育）の充実</p> <p>6 外部研修への積極的な派遣</p> <p>7 障害者サービスへの対応・研修</p> <p>【サービスの質】</p> <p>8 各種マニュアルの作成</p> <p>9 サービスの自己評価の取組</p> <p>10 利用者にとって有益な情報開示の推進</p> <p>11 制度改正に対応した利用者への説明</p> <p>12 利用者にわかりやすい契約書の工夫</p> <p>13 利用者のプライバシー保護・個人情報管理の徹底</p> <p>14 サービス担当者会議への積極的な参加</p> <p>15 苦情処理対応の充実</p> <p>【連携】</p> <p>16 家族等介護者とのつながり</p> <p>17 福祉系事業者との連携</p> <p>18 医療系事業者との連携</p> <p>19 医療機関との連携</p> <p>20 地域包括支援センターとの連携</p> <p>21 ボランティアの受入れ、連携</p> <p>22 その他（ ）</p> <p>23 課題はない</p>	<p>※変更漏れ。</p> <p>介護保険事業者調査と合わせて選択肢を変更します。</p>

令和6年度
国分寺市地域包括支援センター
事業報告

…国分寺市福祉部高齢福祉課…

令和7年6月

令和6年度国分寺市地域包括支援センター事業報告

目 次

【1】国分寺市における地域包括支援センター等の設置状況及び人員体制	1
I 国分寺市の地域包括支援センター設置状況	1
II 各地域包括支援センターにおける担当高齢者人口	2
III 国分寺市の各地域包括支援センターの人員体制	2
IV 地域包括支援センター運営協議会開催状況	3
【2】地域包括支援センターの業務状況	4
I 地域包括ケアシステム構築に向けた取組	5～8
II 地域包括支援センターの運営に関する取組	8～9
III 介護予防ケアマネジメント	10～11
IV 介護予防事業	12～14
V 総合相談支援	15～20
VI 権利擁護	21～24
VII 包括的・継続的ケアマネジメント	25～28
VIII 生活支援体制整備事業	29～30
IX 認知症に関すること	31～34
X 各種講座・教室・イベント関係	35～37

【1】 国分寺市における地域包括支援センター等の設置状況及び人員体制

I 国分寺市の地域包括支援センター設置状況

	地域包括支援センター	地域相談センター(在宅介護支援センター)
第1期 (H12年～14年)		■12年4月 高齢者総合相談室設置 在宅介護支援センター(直営で開設) 基幹型・地域型併設 1箇所 居宅介護支援事業所併設 ■14年4月 在宅介護支援センターたんぽぽ開設 (社会福祉法人心会) *基幹型(直営) 地域型 直営 1 委託 1
第2期 (H15年～17年)		■15年4月 高齢者相談室へ課名変更 ■17年4月 在宅介護支援センターひかり開設 (特定医療社団法人 健生会) 在宅介護支援センターにんじん開設 (社会福祉法人 にんじんの会) *基幹型(直営) 地域型 直営 1 委託 3
第3期 (H18年～20年)	●18年4月 *直営 1 国分寺市地域包括支援センター開設 ●19年4月 *直営 1 委託 2 国分寺地域包括支援センターもとまち開設 国分寺地域包括支援センターひかり開設	■18年4月 在宅介護支援センターもとまち開設 (社会福祉法人 至誠学舎立川) *基幹型(直営) 地域型 直営 1 委託 4
第4期 (H21年～23年)	<u>地域包括支援センター 3(直営1 委託2)</u> 国分寺市地域包括支援センター(高齢者相談室) 国分寺地域包括支援センターもとまち 国分寺地域包括支援センターひかり (平成22年度より 社会医療法人社団 健生会 へ法人名称変更)	<u>地域相談センター 3(委託3) 新規開設 1</u> 国分寺地域相談センターひよし (旧 たんぽぽ) 国分寺地域相談センターこいがくぼ (旧 にんじん) 国分寺地域相談センターなみき (社会福祉法人 至誠学舎立川 21年4月 新規開設)
第5期 (H24年～26年)	■24年4月 (高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画) <平成24年度> <u>地域包括支援センター 3(直営1 委託2)</u> 国分寺市地域包括支援センター(高齢者相談室) 国分寺地域包括支援センターもとまち 国分寺地域包括支援センターひかり <u>地域相談センター 3(委託3)</u> 国分寺地域相談センターひよし 国分寺地域相談センターこいがくぼ 国分寺地域相談センターなみき	●平成25年10月 <u>地域包括支援センター 7(基幹型・直営1 委託6)</u> (基幹型)国分寺市地域包括支援センター(高齢者相談室) (委託)国分寺地域包括支援センターもとまち (委託)国分寺地域包括支援センターひかり <地域相談センターから移行> (委託)国分寺地域包括支援センターひよし (委託)国分寺地域包括支援センターこいがくぼ (委託)国分寺地域包括支援センターなみき (委託・新規)国分寺地域包括支援センターほんだ (社会福祉法人 至誠学舎立川)
第6期 (H27年～29年)	■27年4月 (高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画) <u>地域包括支援センター 7(基幹型・直営1 委託6)</u> (基幹型・直営)国分寺市地域包括支援センター(高齢者相談室) 委託<東部地域> 国分寺地域包括支援センターもとまち 国分寺地域包括支援センターこいがくぼ 国分寺地域包括支援センターほんだ	委託<西部地域> 国分寺地域包括支援センターひよし 国分寺地域包括支援センターひかり 国分寺地域包括支援センターなみき
第7期 (H30年～R2年)	■29年4月 介護保険課と統合し、高齢福祉課へ課名変更 ■平成30年4月 (高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画) ■平成30年4月 福祉保健部が健康部と福祉部の2部体制に変更 ■令和3年3月末 国分寺市地域包括支援センター(基幹型・直営)の廃止	

第8期 (R3年～R5年)	<p>■令和3年4月（高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画）</p> <p>地域包括支援センター 6(委託6)</p> <p>高齢福祉課は基幹的機能を担い地域包括支援センターを支援</p>
第9期 (R6年～R8年)	<p>■令和6年4月（高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画）</p> <p>地域包括支援センター 6(委託6)</p> <p>高齢福祉課は基幹的機能を担い地域包括支援センターを支援</p>

Ⅱ 各地域包括支援センターにおける担当高齢者人口

令和6年10月1日現在

センター名	町 名	担当高齢者人口（人）
もとまち	東元町・西元町・南町	4,862
こいがくぼ	泉町・西恋ヶ窪・東戸倉	4,389
ほんだ	本町・本多・東恋ヶ窪	5,790
なみき	富士本・新町・並木町・北町	3,759
ひよし	戸倉・日吉町・内藤	4,981
ひかり	光町・高木町・西町	4,811

Ⅲ 国分寺市の各地域包括支援センターの人員体制

地域包括支援センターは、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員の3職種の配置が義務づけられています（国の示した経過措置の有資格者を含むものとする）。

国分寺市においても3職種を配置していて、様々な相談や支援をそれぞれの専門性と相互連携を意識したチームアプローチを重視しながら運営しています。

地域包括支援センター人員体制推移(実人数)

令和6年10月1日現在

名 称	年度	保健師等	社会福祉士等	主任介護支援専門員	介護支援専門員等	認知症地域支援推進員	生活支援コーディネーター	事 務	合 計
国分寺地域包括支援センターもとまち	5	1	1	1	1	1	1	0	6
	6	1	1	1	1	1	1	0	6
国分寺地域包括支援センターこいがくぼ	5	1	1	1	1	1	1	0	6
	6	1	1	1	1	1	1	0	6
国分寺地域包括支援センターほんだ	5	1	1	1	1	1	1	0	6
	6	1	1	1	1	1	1	0	6
国分寺地域包括支援センターなみき	5	1	1	1	1	1	1	0	6
	6	1	1	1	1	1	1	0	6
国分寺地域包括支援センターひよし	5	1	2(1)	1	1	1	1	0	7(1)
	6	1	2(1)	0	1	0	1	0	5(1)
国分寺地域包括支援センターひかり	5	1	2(1)	1	1	1	1	0	7(1)
	6	1	2(1)	1	1	1	1	0	7(1)

（ ）は法人の方針で増員して配置、再掲

高齢福祉課(地域包括支援センター支援)人員体制推移

名 称	年度	保健師等	社会福祉士等	主任介護支援専門員	介護支援専門員等	認知症地域支援推進員	生活支援コーディネーター	事 務	合 計
高齢福祉課	6	6	5	0	0	0	0	3	14

IV 地域包括支援センター運営協議会開催状況

「国分寺市地域包括支援センター運営協議会設置条例」 （平成18年1月施行）

公正・中立の確保の観点から地域包括支援センターの設置運営に関する事項の協議

〔委 員〕 公募により選出された市民、識見を有する者、介護保険サービス事業者の代表、国分寺市医師会の代表
国分寺市歯科医師会の代表、民生委員の代表、市内の障害者団体の代表、国分寺市社会福祉協議会の代表、権利擁護事業を実施する団体の代表

〔事務局〕 高齢福祉課

日 程		主な協議事項
第1回	令和6年5月24日	1 令和5年度 地域包括支援センターの評価について
		2 令和6年度 地域包括支援センター事業計画(案)について
第2回	令和6年8月14日	1 地域包括支援センター業務チェック票の見直しについて
		2 令和5年度 基幹的機能業務評価について
		3 介護予防支援業務 委託先居宅介護支援業務について
第3回	令和6年11月26日	1 介護予防支援業務 委託先居宅介護支援業務について
第4回	令和7年3月3日	1 地域包括支援センターの運営について
		2 委託先居宅介護支援業務について



【2】 地域包括支援センターの業務状況

「地域包括支援センターの創設」（平成18年4月）

【設置目的】

「地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援すること」

地域包括支援センターは、公正・中立の立場から地域の中核機関として下記の基本機能を担い、保健や福祉の専門職が配置され、地域からの相談対応を行う等の役割を果たします。

〔基本機能〕

○介護予防ケアマネジメント事業
介護予防事業・予防給付(要支援1・2)が効果的かつ効率的に提供されるような適切なマネジメントを行うこと
○総合相談支援事業
高齢者の心身の状況や生活の実態・必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け地域における適切なサービスや関係機関・制度につなげる支援を行うこと
○権利擁護事業
成年後見制度の利用促進や地域福祉権利擁護事業等の活用、消費者被害防止、高齢者虐待防止等権利擁護につとめること また、そのための連携やネットワークの構築に関すること
○包括的・継続的ケアマネジメント事業
高齢者に対し、包括的・継続的なサービスが提供されるよう地域の多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制を整えること ケアマネジャーに対する個別的な相談や助言、地域のケアマネジャーのネットワークづくり

I 地域包括ケアシステム構築に向けた取組

■ I-1 地域包括ケアシステムの構築に向けて

- [主管課] 高齢福祉課
- [目的] ①保健・医療・福祉の関係機関の連携強化とネットワーク構築
②地域の課題把握とその解決に向けての検討
③サービスの総合調整
- [構成] 地域ケア会議(市全域)、小地域ケア会議(市内6か所)で構成し、その他に
専門部会(医療介護連携部会・介護予防部会・権利擁護部会)を設置
各種会議で協議した事項を地域ケア会議へ報告



1-1) 地域ケア会議

- [年間テーマ] 自分らしく 豊かな日々を暮らすために
- [委員] 市内関係機関代表、地域包括支援センター、庁内関係部署
- [事務局] 高齢福祉課

日程		協議テーマ	参加人数
1	令和6年8月27日	①専門部会等開催報告 ②小地域ケア会議開催報告(西地区のみ) ③第9期地域ケア会議について ④小地域ケア会議から抽出された地域課題について(東地区より)	25
2	令和7年3月18日	①専門部会等開催報告 ②小地域ケア会議開催報告(東地区のみ) ③昨年度抽出された地域課題「高齢者に限らない情報発信・地域にすでにあるネットワークとの連携・活用」に関しての取組について ④小地域ケア会議から抽出された地域課題について(西地区より) ⑤小地域ケア会議から考える地域課題	24

1-2) 小地域ケア会議

[事務局] 地域包括支援センター

* 高齢福祉課は、相談支援係の職員が出席

* 下段 参加者

	第1回	第2回
	令和6年7月12日	令和7年1月29日
もとまち	【テーマ】 孤立しやすい居住環境(家族や地域社会との交流が、客観的にみて乏しい状態になりやすい住まいの状況) 【内容】 ①地域ケア会議について(マトリクスの説明と紹介) 孤立しやすい居住環境がもたらすもの 「孤立しやすい居住環境」の要因 ②意見交換 ③講評	【テーマ】 オートロックマンションの課題・好事件の共有と、小地域ケア会議としてできることを考える 【内容】 ①地域ケア会議の概要説明・前回の報告 ②グループワーク ③発表・意見交換・振り返り
	民生委員、歯科医師会、薬剤師会、居宅介護支援専門員、社会福祉協議会、高齢福祉課	民生委員、医師会、歯科医師会、居宅介護支援専門員、社会福祉協議会、高齢福祉課
	令和6年7月4日	令和7年2月5日
こいがくぼ	【テーマ】 「最期まで自分らしく生きるための備え」 【内容】 ①今回のテーマ説明 「自分らしく豊かな日々を暮すために」など ②グループワーク ③発表・まとめ	【テーマ】 高齢期のお金の備え 【内容】 ①自己紹介 ②会議報告 ③講義 ④グループワーク ⑤発表・振り返り
	民生委員、医師会、歯科医師会、薬剤師会、居宅介護支援専門員、社会福祉協議会、高齢福祉課	民生委員、医師会、歯科医師会、居宅介護支援専門員、社会福祉協議会、高齢福祉課
	令和6年7月3日	令和7年1月22日
ほんだ	【テーマ】 自分らしく豊かに暮らすために 【内容】 ①意見交換 ②講評	【テーマ】 高齢になっても、地域で暮らしていくために 【内容】 ①グループワーク・発表 ②講評・振り返り
	歯科医師会、薬剤師会、居宅介護支援専門員、民生委員、社会福祉協議会、高齢福祉課	民生委員、医師会、歯科医師会、居宅介護支援専門員、社会福祉協議会、高齢福祉課
	令和6年7月4日	令和7年2月10日
なみき	【テーマ】 悪質商法等の被害から地域高齢者を守るためにできること 【内容】 ①昨年の小地域ケア会議の振り返り ②今年度テーマ選定の経緯と高齢者をねらう悪質商法の実態について ③意見交換・発表 ～事例を聞いて共有しておきたい事、支援者としてできること～ ⑤発表・感想・まとめ	【テーマ】 悪質商法等の被害から地域高齢者を守るためにできること 【内容】 ①令和6年度第1回小地域ケア会議の振り返り ②高齢者を狙う悪質商法に対する支援について ③意見交換・発表 ④感想・発表・まとめ
	民生委員、歯科医師会、薬剤師会、居宅介護支援専門員、社会福祉協議会、権利擁護センターこくぶんじ、経済課、高齢福祉課	民生委員、歯科医師会、薬剤師会、居宅介護支援専門員、社会福祉協議会、小金井警察生活安全課、権利擁護センターこくぶんじ、経済課、高齢福祉課

	第1回	第2回
	令和6年7月11日	令和7年1月29日
ひよし	【テーマ】 誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らすために ～包括ひよしエリア(戸倉・内藤・日吉町)を知る～ 【内容】 ①これまでの経過説明 ②グループワーク ③今後の小地域ケア会議についての意見交換	【テーマ】 誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らすために～移動が難しい方が自立した楽しみのある生活を送るには～ 【内容】 ①これまでの経過説明 ②グループワーク ③第8期のまとめ
	民生委員、医師会、薬剤師会、居宅介護支援専門員、社会福祉協議会、地域共生推進課、高齢福祉課	民生委員、医師会、歯科医師会、薬剤師会、居宅介護支援専門員、社会福祉協議会、高齢福祉課
	令和6年7月29日	令和7年1月27日
ひかり	【テーマ】 最近あったうれしいこと 【内容】 ①昨年までの小地域ケア会議の振り返り ②意見交換	【テーマ】 自分らしく豊かな日々を暮らすために ～理解を深めよう孤立と孤独～ 【内容】 ①前回の振り返り・地域ケア会議報告 ②『社会的孤立と孤独～何が問題？どう防ぐ？～』講座報告 ③グループワーク ④意見交換・まとめ・感想
	民生委員、医師会、歯科医師会、薬剤師会、居宅介護支援専門員、社会福祉協議会、高齢福祉課	民生委員、医師会、歯科医師会、薬剤師会、居宅介護支援専門員、社会福祉協議会、高齢福祉課

1-3) 専門部会

〔目 的〕 地域包括ケアシステム構築に向けて各種専門分野の関係者が地域の課題の共有・協議を行い

地域ケア会議へ報告

〔事務局〕 高齢福祉課

	第1回	第2回
医療・介護連携部会	令和6年6月24日	令和7年1月20日
介護予防部会	令和6年6月20日	令和7年1月23日
権利擁護部会	令和6年6月20日	令和7年1月16日

■ I-2 民生委員との連携

民生委員・地域包括支援センター連絡会

〔内 容〕・新年度の体制、事業紹介 ・情報交換、意見交換

〔開 催〕 市内6か所各センターのエリアで開催

	もとまち	こいがくぼ	ほんだ
日程	令和6年6月14日	令和6年6月6日	令和6年6月5日
出席人数	12	5	11
	なみき	ひよし	ひかり
日程	令和6年6月11日	令和6年6月13日	令和6年6月6日
出席人数	4	8	6

* 出席者数は民生委員のみ

* 高齢福祉課は全会場出席

■ I-3 自治会・町内会連絡会への参加

〔主管課〕 協働コミュニティ課

〔目 的〕 地域包括支援センターのPRと自治会町内会との連携・ネットワークの構築

情報提供先 団体数	内 容	担当
102団体	【情報提供】 高齢者相談窓口（地域包括支援センター）のご紹介	高齢福祉課

II 地域包括支援センターの運営に関する取組

■ II-1 地域包括支援センターの連携会議

1-1) 地域包括支援センター全体会

〔目 的〕 ①地域包括支援センターの効果的な運営の支援

②行政と各センターの連携強化と地域包括支援体制の総合調整

〔内 容〕 ①行政からの情報提供 ②各センター間の情報交換及び業務に関する協議 ③研修会等

〔開 催〕 3回（『(2-2)研修会』を参照のこと）

1-2) 地域包括支援センター職種別連絡会

〔目 的〕 地域包括支援センターに配置されている各専門職間の連携の強化と業務調整

〔内 容〕 業務状況の確認 実務の検討

	看護職連絡会	社会福祉士 連絡会	主任介護支援 専門員連絡会	介護予防プラン 直営担当者 会議	第2層生活支援 コーディネー ター連絡会	認知症地域 支援推進員 連絡会
開催回数	3回	4回	3回	3回	4回	4回

1-3) 管理者会議

〔目 的〕 高齢福祉課と各地域包括支援センターの管理者との連絡・協議等
月1回程度開催

〔開 催〕 9回



■ II-2 地域包括支援センターの人材育成支援

2-1) 事例検討会

〔目 的〕 地域包括支援センターの人材育成と業務支援

- ・事例に対するアセスメント能力や対応能力の向上
- ・支援困難事例における課題共有と問題解決へのサポート
- ・包括的・継続的ケアマネジメント支援業務において必要な視点と支援機関としての対応力の向上

〔スーパーバイザー〕 川端 伸子氏

〔事 務 局〕 高齢福祉課

日 程		事例提出	参加人数	日 程		事例提出	参加人数
1	令和6年6月11日	こいがくぼ	13	3	令和6年9月12日	ひかり	11
2	令和6年12月12日	なみき	17	4	令和7年2月13日	もとまち	17

2-2) 研修会

日 程		内 容	出席人数
第1回	令和6年4月16日	【研修】 「地域包括センター業務チェック 振り返りについて」 講師: 埼玉福祉保育医療製菓調理専門学校 社会福祉士養成科 大 口 達也氏	33
第2回	令和6年9月3日	【研修】 「高齢者虐待防止のための安心づくり・安全探しアプローチ (AAA) の基本的理解について」 講師: 立正大学 社会福祉学部 土 屋 典子氏	32
第3回	令和6年12月17日	【研修】 「障害のある方を含む世帯支援の考え方について、 各分野でできることを考える」	32

Ⅲ 介護予防ケアマネジメント

【位置づけ】 地域包括支援センター事業(包括的支援事業 第2号事業)

■Ⅲ－１ 予防給付、介護予防・日常生活支援総合事業 契約締結状況（要支援1・2）

要支援1・2の認定者は地域包括支援センターが利用者と契約をする

(居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)への委託も可能)

◇要支援1・2の認定者のうち契約者と未契約者の人数と割合

契 約:要支援1・2の認定者の内、包括と契約している人数

未契約:要支援1・2の認定者から、契約者数を引いた人数

令和7年3月末

	全 市		もとまち		こいがくぼ		ほんだ		なみき		ひよし		ひかり	
契約	1,015	64.2%	158	61.8%	165	65.5%	194	65.3%	155	65.3%	170	67.5%	173	58.8%
未契約	567	35.8%	99	38.2%	87	34.5%	102	34.7%	78	34.7%	82	32.5%	119	41.2%
合計 (認定者)	1,582	100.0%	257	100.0%	252	100.0%	296	100.0%	233	100.0%	252	100.0%	292	100.0%

◇予防給付実績における委託・直営の割合

令和7年3月末

	全 市		もとまち		こいがくぼ		ほんだ		なみき		ひよし		ひかり	
直営	183	31.0%	35	40.2%	41	45.6%	27	24.3%	25	27.2%	33	31.1%	22	21.6%
委託	407	69.0%	52	59.8%	49	54.4%	84	75.7%	67	72.8%	73	68.9%	82	80.4%
合計	590	100.0%	87	100.0%	90	100.0%	111	100.0%	92	100.0%	106	100.0%	104	100.0%

◇総合事業実績における委託・直営の割合

令和7年3月末

	全 市		もとまち		こいがくぼ		ほんだ		なみき		ひよし		ひかり	
直営	145	35.4%	28	39.4%	36	48.0%	21	25.3%	25	39.7%	19	29.7%	16	23.2%
委託	280	64.6%	43	60.6%	39	52.0%	62	74.7%	38	60.3%	45	70.3%	53	76.8%
合計	425	100.0%	71	100.0%	75	100.0%	83	100.0%	63	100.0%	64	100.0%	69	100.0%

◇総合事業(従前相当)実績における委託・直営の割合

令和7年3月末

	全 市		もとまち		こいがくぼ		ほんだ		なみき		ひよし		ひかり	
直営	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
委託	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

■Ⅲ－２ 介護予防給付・介護予防ケアマネジメント(介護予防・日常生活支援総合事業)

３－１) プラン作成数(直営)

地域包括支援センターが直接担当する要支援１・２の認定者の予防プランの作成

令和7年3月末

			全 市	もとまち	こいがくぼ	ほんだ	なみき	ひよし	ひかり
(A ＼ D 表)	初回	要支援1	64	13	24	5	5	7	10
		要支援2	57	13	14	10	9	6	5
		事業対象者	7	1	0	2	1	1	2
		計(a)	128	27	38	17	15	14	17
	継続	要支援1	180	34	41	28	35	33	9
		要支援2	201	32	45	19	33	48	24
		事業対象者	7	1	0	2	2	1	1
		計(b)	388	67	86	49	70	82	34
	(a)+(b)合計		516	94	124	66	85	96	51
評価状況 確認 (F表)	要支援1	147	26	41	16	28	27	9	
	要支援2	176	39	37	12	31	33	24	
	事業対象者	11	3	0	3	3	1	1	
	計	334	68	78	31	62	61	34	
サービス 担当者会議	要支援1	240	42	65	33	41	40	19	
	要支援2	239	44	59	29	41	48	18	
	事業対象者	17	2	0	4	3	2	6	
	計	496	88	124	66	85	90	43	

３－２) ケアマネジメント実施数(委託)

要支援１・２の認定者のうち居宅介護支援事業所に委託した予防プランのマネジメント業務

令和7年3月末

			全 市	もとまち	こいがくぼ	ほんだ	なみき	ひよし	ひかり
(A ＼ D 表)	初回	要支援1	115	16	15	22	17	24	21
		要支援2	97	11	17	14	17	15	23
		事業対象者	0	0	0	0	0	0	0
		計(a)	212	27	32	36	34	39	44
	継続	要支援1	287	40	36	71	40	48	52
		要支援2	303	39	35	61	42	53	73
		事業対象者	4	2	0	0	1	1	0
		計(b)	594	81	71	132	83	102	125
	(a)+(b)合計		806	108	103	168	117	141	169
評価状況 確認 (F表)		要支援1	265	37	38	58	40	49	43
		要支援2	270	34	36	59	44	40	57
		事業対象者	4	0	0	0	1	1	2
		計	539	71	74	117	85	90	102
サービス 担当者会議		要支援1	282	34	36	77	35	53	47
		要支援2	275	34	40	62	42	47	50
		事業対象者	3	2	0	0	0	1	0
		計	560	70	76	139	77	101	97

Ⅳ 介護予防事業

■Ⅳ－１ 地域づくりによる介護予防推進支援事業 集いの場「暮らしを拓げる10の筋力トレーニング」

1-1) ハイブリッドフレイル予防合同筋トレ

講師：東京都立大学 健康福祉学部 理学療法学科 浅川康吉氏

	日程	参加人数（延数）
1	令和6年7月30日	23
2	令和6年11月20日	34
3	令和7年2月27日	57



1-2) 体力測定会（体力評価に加え、基本チェックリストやリーフレットを活用し介護予防の普及啓発も実施）

	日程	担当	会場	参加人数
1	令和6年6月25日	こいがくぼ	いきいきセンター こいがくぼ	20
2	令和6年9月26日	ひかり	西町プラザ	27
3	令和6年10月3日	ひよし	内藤地域センター	6
4	令和6年10月24日	もとまち	本町南町 地域センター	国政選挙のため中止
5	令和6年12月18日	ほんだ	cocobunjiプラザ リオンホールA・B	25
6	令和6年12月3日	なみき	並木公民館	22
計				100

1-3) 出張体力測定会（体力評価、基本チェックリスト/かかりつけ歯科医のススメ/低栄養/脳卒中などリーフレットを活用し介護予防の普及啓発も実施）

	日程	依頼元	対応者	会場	参加人数
1	令和6年9月13日	あおぞら筋トレ	もとまち、ほんだ、 高齢福祉課	さわやかプラザ もとまち	23
2	令和6年10月1日	高木町長寿会	ひかり、高齢福祉課	八幡神社社務所 兼高木集会所	20
3	令和6年10月19日	NPO法人あおぞら	もとまち、ほんだ、 高齢福祉課	さわやかプラザ もとまち	29

1-4) 集いの場立ち上げ支援、継続支援

高齢福祉課、各地域包括支援センターが実施

	地域包括支援センター 担当地域	立ち上げ支援	継続支援
1	もとまち	0	9
2	こいがくぼ	1	10
3	ほんだ	8	30
4	なみき	0	52
5	ひよし	0	34
6	ひかり	2	57
7	高齢福祉課	5	67
計（延べ）			275

1-5) 集いの場活動応援説明会、懇談会

	日程	地域包括支援センター 担当地域	会場	参加人数
1	令和6年9月10日	こいがくぼ	トミンハイム 集会室	18
計				18

1-7) 集いの場登録団体(令和7年3月31日時点)

	団体名	グループ数	参加人数
1	くろがね友和会	1	11
2	NPOあおぞら	9	121
3	高木町ひだまり	1	11
4	光町北部自治会光・絆の会／ つどいグループ	1	7
5	うれしのつどいの会	1	20
6	月の会	1	14
7	ひだまり健康グループ	1	8
8	西元町体操サークル	1	13
9	けやき元気会	1	9
10	はればれ健康クラブ	1	20
11	鷹の台グループ	1	12
12	恋ヶ窪ベース	1	19
13	南町1丁目グループ	1	11
14	西町筋トレ	1	4
15	百千の会	1	15
16	はなみずき	1	8
17	並木町ミンナ	1	16
18	さつき	1	5
19	内藤2丁目体操クラブ	1	13
20	男子体操クラブ	1	5
21	マリーゴールド	1	10
22	虹の会	1	10
23	内藤みんなの会	1	9
24	ひまわりグループ	1	9
25	さくら	1	12
26	しなやか・10の筋トレ	1	9
27	グラ筋トレ	1	4
28	かようかい	1	11
計		36	416

V 総合相談支援

【位置づけ】 地域包括支援センター事業(包括的支援事業 第3号事業)

■ V-1 総合相談支援実施状況

1-1) 新規・継続件数

	計	市	地域包括支援センター					
			もとまち	こいがくぼ	ほんだ	なみき	ひよし	ひかり
総件数	27,521	1,816	3,951	2,478	3,988	5,337	3,667	6,284
	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)
新規	3,037	1,114	314	261	311	208	448	381
	(11.0%)	(61.3%)	(7.9%)	(10.5%)	(7.8%)	(3.9%)	(12.2%)	(6.1%)
継続	24,484	702	3,637	2,217	3,677	5,129	3,219	5,903
	(89.0%)	(38.7%)	(92.1%)	(89.5%)	(92.2%)	(96.1%)	(87.8%)	(93.9%)
(参考) 令和5年度	27,584	2,046	3,932	2,768	4,187	4,462	4,581	5,608

◆令和6年度

総数	27,521	(100.0%)
市	1,816	(6.6%)
委託	25,705	(93.4%)

◆令和5年度

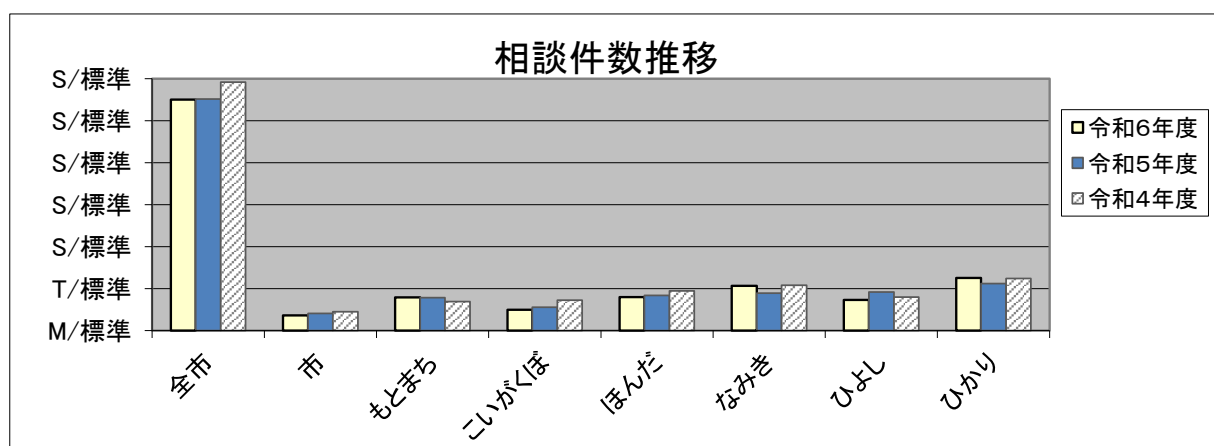
総数	27,584	(100.0%)
市	2,046	(7.4%)
委託	25,538	(92.6%)

◆令和4年度

総数	29,583	(100.0%)
市	2,231	(7.5%)
委託	27,352	(92.5%)

* 例年通り相談総数に占める委託先センターの割合が93.4%(6年度)、92.6%(5年度)と高く、地域の相談拠点として周知されている。

* 前年度と比べて、相談件数、その中の新規相談と継続相談の比率は、いずれも横ばいである。



1-2) 実施形態別件数

	計	市	地域包括支援センター					
			もとまち	こいがくぼ	ほんだ	なみき	ひよし	ひかり
総件数	27,521	1,816	3,951	2,478	3,988	5,337	3,667	6,284
	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)
訪 問	3,851	41	641	490	625	708	596	750
	(14.0%)	(2.3%)	(16.2%)	(19.8%)	(15.7%)	(13.3%)	(16.3%)	(11.9%)
来 所	3,722	691	590	242	509	633	294	763
	(13.5%)	(38.1%)	(14.9%)	(9.8%)	(12.8%)	(11.9%)	(8.0%)	(12.1%)
電 話	18,345	1,075	2,560	1,624	2,781	3,592	2,685	4,028
	(66.7%)	(59.2%)	(64.8%)	(65.5%)	(69.7%)	(67.3%)	(73.2%)	(64.1%)
その他	1,603	9	160	122	73	404	92	743
	(5.8%)	(0.5%)	(4.0%)	(4.9%)	(1.8%)	(7.6%)	(2.5%)	(11.8%)

■ V-2 世帯別相談実数

	計	市	地域包括支援センター					
			もとまち	こいがくぼ	ほんだ	なみき	ひよし	ひかり
実施総数	27,521	1,816	3,951	2,478	3,988	5,337	3,667	6,284
	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)
単身世帯	10,391	563	1,578	949	1,856	1,663	1,595	2,187
	(37.8%)	(31.0%)	(39.9%)	(38.3%)	(46.5%)	(31.2%)	(43.5%)	(34.8%)
高齢者世帯	7,991	401	902	680	1,086	1,991	1,085	1,846
	(29.0%)	(22.1%)	(22.8%)	(27.4%)	(27.2%)	(37.3%)	(29.6%)	(29.4%)
高齢者含む世帯(同居)	8,342	690	1,418	801	944	1,602	921	1,966
	(30.3%)	(38.0%)	(35.9%)	(32.3%)	(23.7%)	(30.0%)	(25.1%)	(31.3%)
その他	347	27	31	29	67	76	12	105
	(1.3%)	(1.5%)	(0.8%)	(1.2%)	(1.7%)	(1.4%)	(0.3%)	(1.7%)
不 明	450	135	22	19	35	5	54	180
	(1.6%)	(7.4%)	(0.6%)	(0.8%)	(0.9%)	(0.1%)	(1.5%)	(2.9%)

単身世帯 65歳以上の単身の世帯
 高齢者世帯 65歳以上の高齢者のみで構成される世帯（夫婦・親子・姉妹など）
 高齢者を含む世帯 高齢者と子の世帯(単身・家族含む)の同居
 その他 上記いずれも属さない 世帯構成員65歳未満
 不 明 匿名での相談・世帯状況の把握にいたらなかった場合

※表中の割合は四捨五入により、合計が100%にならない場合があります。

■V-3 相談内容

	計		市		地域包括支援センター										(参考)		
					もとまち		こいがくぼ		ほんだ		なみき		ひよし		ひかり		5年度
相談総数(延べ)	42,845		2,098		6,148		3,376		6,410		9,939		4,518		10,356		43,671
1 在宅福祉サービス	1,639		89		115		111		615	4位	187		244	5位	278		1,680
2 介護保険サービス	14,889	1位	824	1位	2,128	1位	1,198	1位	2,313	1位	2,691	1位	2,129	1位	3,606	1位	15,946
3 入所相談	1,552		112	5位	194		161		253		356		148		328		1,521
4 介護予防・日常生活 支援総合事業	1,513		22		261		162		386	5位	219		70		393		1,719
5 保健・医療サービス	6,346	2位	103		1,237	2位	446	2位	736	3位	1,053	3位	440	2位	2,331	2位	7,408
6 介護の技術・方法	1,491		18		156		202	4位	282		624	5位	103		106		1,145
7 暮らしの相談	4,534	3位	157	3位	336	4位	112		885	2位	1,840	2位	415	3位	789	3位	3,879
8 経済的な相談	1,155		33		201		171	5位	152		301		33		264		915
9 家族関係	2,222	5位	124	4位	307	5位	126		229		577		118		741	4位	2,697
10 権利擁護	3,194	4位	470	2位	543	3位	280	3位	248		881	4位	138		634	5位	2,413
11 住宅相談	465		19		124		5		109		74		10		124		396
12 社会参加	195		1		7		17		23		38		9		100		109
13 直接的支援・対応	583		6		97		15		22		60		349	4位	34		746
14 緊急支援・対応	296		19		79		35		23		65		39		36		307
15 障害福祉に関すること	501		16		77		30		24		206		49		99		372
16 認知症初期集中支援 チームに関すること	18		3		1		0		0		6		7		1		36
17 見守りに関すること	1,010		42		220		166		69		272		78		163		1,321
18 介護者支援に関するこ と	1,007		10		35		78		39		431		135		279		834
19 その他	235		30		30		61		2		58		4		50		227

◆令和6年度

第1位 介護保険サービス	14,889
第2位 保健・医療サービス	6,346
第3位 暮らしの相談	4,534

◆令和5年度

第1位 介護保険サービス	15,946
第2位 保健・医療サービス	7,408
第3位 暮らしの相談	3,879

◆令和4年度

第1位 介護保険サービス	16,297
第2位 保健・医療サービス	6,992
第3位 暮らしの相談	3,737

* 相談件数と相談内容件数に違いがあるのは、相談内容は延べ件数であることによる。一つのケースについて、複合的な課題を抱える相談が増加している。



■ V-4 相談把握経路

相談がどのような対象者(経路)から持ち込まれたのかを計上

	計	市	地域包括支援センター											(参考)			
			もとまち	こいがくぼ	ほんだ	なみき	ひよし	ひかり	5年度								
相談総数(延べ)	30,312	1,875	4,329	2,918	4,367	5,873	3,922	7,028	30,932								
1 本 人	8,678	2位	353	3位	1,348	2位	792	2位	1,720	1位	1,419	2位	1,455	2位	1,591	2位	8,802
2 家 族	10,738	1位	655	2位	1,618	1位	1,021	1位	1,414	2位	2,398	1位	1,560	1位	2,072	1位	11,155
3 ケアマネジャー	3,920	3位	54	4位	367	3位	343	3位	441	3位	856	3位	332	3位	1,527	3位	3,892
4 サービス事業者	1,407	5位	7		127	5位	84	5位	238	4位	327	4位	159	4位	465	4位	1,780
5 マシン筋トレ事業者	12		0		3		0		0		6		0		3		8
6 地域包括支援センター	791		663	1位	12		20		7		26		15		48		717
7 権利擁護センター	393		4		66		83		47		67		25		101		207
8 自立生活サポートセンター	80		0		7		24		10		11		4		24		33
9 ボランティア活動支援センター	12		0		3		0		2		3		2		2		14
10 地域福祉コーディネーター	57		0		11		31		8		5		0		2		39
11 基幹相談支援センター	41		0		7		4		3		4		0		23		56
12 相談支援事業者	68		1		16		0		22		11		9		9		62
13 民生委員	109		1		14		7		21		11		26		29		137
14 自治会・町内会	18		0		1		2		3		0		0		12		12
15 老人クラブ	5		0		3		0		0		1		0		1		2
16 NPO	13		1		3		3		1		3		2		0		15
17 近隣	202		9		42		26		31		30		33		31		196
18 友人・知人	225		17		52		41		31		35		23		26		196
19 集いの場	16		0		1		0		2		7		0		6		11
20 ボランティア団体・地域サロン	6		0		2		1		0		1		1		1		2
21 商店	44		0		4		3		3		13		8		13		61
22 保健所	44		0		8		2		5		8		1		20		50
23 医療関係	1,566	4位	18		359	4位	200	4位	217	5位	275	5位	141	5位	356		1,553
24 施設関係者	207		4		54		26		2		86		3		32		204
25 金融機関	41		0		6		6		0		19		4		6		31
26 警察	131		39	5位	8		21		14		12		9		28		160
27 高齢福祉課	854		10		74		73		80		122		49		446	5位	923
28 生活福祉課	165		5		25		14		14		30		29		48		197
29 障害福祉課	97		17		16		14		7		17		9		17		74
30 地域共生推進課	2		0		1		0		0		0		0		1		7
31 その他行政機関	59		6		8		11		3		4		2		25		86
32 認知症疾患医療センター	22		0		6		6		2		4		4		0		31
33 後見人	69		5		13		19		6		20		0		6		／
34 住宅保証会社	14		0		4		1		2		5		1		1		
35 施設紹介業者	42		0		13		3		0		3		0		23		
36 その他	164		6		27		37		11		34		16		33		156

◆令和6年度

第1位 家族	10,738
第2位 本人	8,678
第3位 ケアマネジャー	3,920

◆令和5年度

第1位 家族	11,155
第2位 本人	8,802
第3位 ケアマネジャー	8,892

◆令和4年度

第1位 家族	11,182
第2位 本人	8,949
第3位 ケアマネジャー	4,690

■ V-5 関係機関連絡・連携

相談内容や対象者の状況から必要と判断して関係機関や専門機関と連絡・連携して対応したものを計上

	計	市	地域包括支援センター								(参考)	
			もとまち	こいがくぼ	ほんだ	なみき	ひよし	ひかり	5年度			
総数(延べ)	16,782	258	2,202	1,950	1,870	3,659	4,290	2,553	15,670			
1 地域包括	516	130	10	21	8	47	281	19	507			
2 社会福祉協議会	802	4	123	188	38	217	154	78	616			
3 障害福祉	200	2	42	9	19	47	52	29	174			
4 保健医療機関	1,939	3	435	304	163	419	358	257	1,946			
5 権利擁護機関	259	8	51	67	16	92	15	10	142			
6 サービス機関	9,332	22	1,185	1,040	1,304	2,177	2,045	1,559	9,044			
7 行政機関	2,721	88	269	228	284	517	818	517	2,354			
8 地域	971	0	87	91	38	106	567	82	815			
9 その他	42	1	0	2	0	37	0	2	72			

◆令和6年度

第1位 サービス機関	9,332
第2位 行政機関	2,721
第3位 保健医療機関	1,939

◆令和5年度

第1位 サービス機関	9,044
第2位 行政機関	2,354
第3位 保健医療機関	1,946

◆令和4年度

第1位 サービス機関	9,887
第2位 行政機関	2,834
第3位 保健医療機関	2,238

* 連携件数は増加しており、多機関連携が必要とされる複雑な相談に対応している。サービス関係機関や行政機関との連携が増えている。

■V-6 アウトリーチ活動

相談に結びつかない方と地域包括支援センターが繋がることを目指し、地域や団体、個別にアプローチする

日程	参加人数	会場(団体名)	テーマ・内容	担当
令和7年3月17日	14	さわやかプラザもとまち	成年後見制度ミニ講座	もとまち
令和6年6月28日	7	喫茶 楽	「断捨離」について	ほんだ
令和6年11月22日	7	カフェ楽	「姿勢・動作チェック」からだのメンテナンス体操	
令和6年5月18日	29	地域住民	並木公民館まつり 健康ふくし相談	なみき
令和6年10月27日	13	北町地域センター	北町地域センターまつり 健康福祉相談	
令和6年4月11日	2	坂の上のひとつ	出張相談まるっとひとつ	ひかり
令和6年5月9日	2	坂の上のひとつ	出張相談まるっとひとつ	
令和6年7月11日	1	坂の上のひとつ	出張相談まるっとひとつ	
令和6年8月8日	1	坂の上のひとつ	出張相談まるっとひとつ	
令和6年10月10日	1	坂の上のひとつ	出張相談まるっとひとつ	
令和6年10月20日	14	ひかり診療所1階	公民館まつりでの出張相談	
令和6年11月14日	3	坂の上のひとつ	出張相談まるっとひとつ	
令和6年12月12日	4	坂の上のひとつ	出張相談まるっとひとつ	
令和7年1月9日	8	坂の上のひとつ	出張相談まるっとひとつ	
令和7年2月13日	1	坂の上のひとつ	出張相談まるっとひとつ	

VI 権利擁護

【位置づけ】 地域包括支援センター事業(包括的支援事業 第4号事業)

■VI-1 権利擁護相談内訳

総合相談支援で計上された権利擁護相談の内訳を計上

	計	市	もとまち	こいがくぼ	ほんだ	なみき	ひよし	ひかり	(参考) 5年度
総数(延べ)	3,194	470	543	280	248	881	138	634	2,413
1 成年後見制度	769	95	150	85	105	213	49	72	502
2 高齢者虐待	1,552	310	197	67	108	444	22	404	1,208
3 消費者被害	211	31	24	48	7	80	3	18	162
4 地域福祉 権利擁護事業	381	18	67	21	9	103	48	115	353
5 その他	281	16	105	59	19	41	16	25	188

■VI-2 成年後見制度利用支援

相談支援の結果から、市が成年後見制度の利用支援を実施したものを計上

	6年度	(参考)	
		5年度	4年度
市長申立て	5	0	8
市長申立て検討・調整中	0	4	0
親族申立て・調整中	0	0	0
計	5	4	8

*各地域包括支援センターや権利擁護センターと連携して対応

*認知症、身寄りがないなど申立てが困難な場合に市が申立てを代行

■VI-3 高齢者虐待

3-1) 高齢者虐待通報・相談件数

高齢者虐待に関する通報及び相談を受けた件数とそのうち養護者によるものを再掲

通報		6年度	(参考)	
			5年度	4年度
通報・相談件数		36	26	31
内 訳	高齢者虐待の事実ありと判断した事例	12	9	8
	(うち養護者による虐待)	(12)	(9)	(7)
	高齢者虐待ではないと判断または判断には至らなかった事例	24	17	23

3-2) 高齢者虐待の分類(高齢者虐待防止・養護者支援法による区分)

* 新規把握 高齢者虐待の事実ありと判断した事例 12件

高齢者虐待ではないと判断または判断には至らなかった事例24件

◇高齢者虐待の分類内訳

(件数)

虐待の種別・類型		6年度	(参考)	
			5年度	4年度
		12	9	8
内 訳	身体的虐待	7	3	3
	心理的虐待	8	7	6
	性的虐待	0	0	0
	経済的虐待	0	0	1
	介護の世話の放棄・放任	0	0	2

注)内訳は複数計上

◇高齢者虐待ではないと判断または

判断には至らなかったケースの内訳

(件数)

高齢者虐待ではないと判断または判断には至らなかった事例		6年度	(参考)	
			5年度	4年度
		24	17	23
内 訳	不適切	7	2	5
	DV・家庭内暴力(疑い含む)	2	6	6
	疾患による問題	6	6	6
	家族の問題	13	7	7
	その他	0	0	0

注)内訳は複数計上

3-3) 高齢者虐待に関する支援状況(対応策としての分離の有無)

新規：令和6年度に新規に高齢者虐待として把握したケースの支援状況

継続：令和6年度以前に把握して6年度中も継続しているケースの支援状況

支援内容	新 規	継 続
件数	12	14
被虐待高齢者の保護と虐待者からの分離を行った事例	2	4
被虐待高齢者と虐待者を分離していない事例	9	9
被虐待高齢者が複数で異なる対応(分離と非分離)の事例	0	0
対応について検討、調整中の事例	0	0
その他	1	1

3-4) 支援における連携機関

(延数)

1	地域包括支援センター	42	10	司法書士	0
2	ケアマネジャー	18	11	社会福祉士	1
3	サービス事業者	9	12	民生委員	0
4	施設	1	13	近隣	0
5	医療機関	0	14	高齢福祉課計画・事業推進係	0
6	保健所	1	15	生活福祉課	0
7	警察	24	16	健康推進課	0
8	社会福祉協議会	0	17	障害福祉課	1
9	弁護士	0	18	その他	3

* 虐待の判断に至らなかった事例も計上

* 家族の疾患や抱える課題、経済的な問題等について支援が必要な事例が増加

適切な環境整備や課題解決へ向けた支援のため、関係機関との連携が増えている

* 今年度も警察からシートでの相談・通報を受ける事例が特に多かった

3-5) 虐待防止ネットワーク会議の開催

〔目 的〕 高齢者虐待の防止等に関係する機関との連携協力体制を推進する

開催日程	会議内容
令和6年7月12日	虐待防止ネットワーク実務者会議
令和6年10月28日	虐待防止ネットワーク代表者会議

3-6) 高齢者虐待対応研修の開催(オンライン開催)

〔目 的〕 高齢者の権利擁護の理解を促進する

日 程	内 容	講 師	出席人数
令和6年10月29日	在宅における身体拘束の廃止に向けた取組みについて ～内鍵・外鍵への対応～	一般社団法人 権利擁護支援 プロジェクトともす 川端 伸子氏	74人

■VI-4 悪質商法撃退キャラバン

〔目的〕 消費者被害防止・啓発事業として実施

〔企画〕 地域包括支援センターが東西3センターに分かれて、市内2か所で合同開催

〔事務局〕 高齢福祉課

センター名	開催日時	会場	参加人数	派遣講師・協力機関
もとまち	令和6年10月10日	トミンハイム国分寺 泉町コミュニティ サロン(集会所)	10人	東京都消費生活総合センター、 小金井警察署防犯係、 経済課消費生活相談室
こいがくぼ				
ほんだ				
なみき	令和6年10月25日	福祉センター 第1会議室	17人	東京都消費生活総合センター、 小金井警察署防犯係、 経済課消費生活相談室
ひよし				
ひかり				



VII 包括的・継続的ケアマネジメント

【位置づけ】 地域包括支援センター事業(包括的支援事業 第5号事業)

■ VII-1 ケアマネジャー支援（個別支援）

1-1) 相談実数

(実数)

計	市	もとまち	こいがくぼ	ほんだ	なみき	ひよし	ひかり
3,446	43	465	911	413	473	707	434

1-2) 相談内容

	計	市	もとまち	こいがくぼ	ほんだ	なみき	ひよし	ひかり
1 ケース共有・照会	2,216	0	410	262	336	361	545	302
2 制度関連	290	30	39	85	28	42	26	40
3 社会資源情報	104	0	6	14	22	30	18	14
4 ケアプラン内容全般	759	13	14	360	74	69	169	60
5 対人援助	59	0	4	2	18	5	8	22
6 医療連携	93	0	15	26	21	6	8	17
7 権利擁護	273	0	43	55	54	54	24	43
8 関係機関調整	254	0	8	68	95	59	13	11
9 家族・介護者支援	360	0	19	103	76	72	45	45
10 その他	44	0	6	4	6	12	4	12
計	4,452	43	564	979	730	710	860	566

1-3) センターの果たした役割

(延数)

	計	市	もとまち	こいがくぼ	ほんだ	なみき	ひよし	ひかり
1 支援チームの構築とチーム全体へのサポートの役割	953	0	33	271	294	74	225	56
2 介護支援専門員等へのサポートの役割	1,845	30	132	572	348	259	287	217
3 支援チームの一員としてのサポートの役割	1,773	0	421	120	223	355	387	267
4 家族・近隣住民等へのサポートの役割	59	0	5	3	5	23	9	14
計	4,630	30	591	966	870	711	908	554

■Ⅶー2 個別レベル地域ケア会議(個別支援会議)の開催

会議内容		計	もとまち	こいがくぼ	ほんだ	なみき	ひよし	ひかり
1	介護予防(サービスC含む)	7	1	0	2	0	1	3
2	ケアマネジメントの質向上	18	3	7	5	1	2	0
3	地域の支え合い力向上	6	5	0	1	0	0	0
4	地域課題把握	28	8	7	5	8	0	0
5	支援拒否等支援方針検討	38	2	6	3	7	7	13
計		97	19	20	16	16	10	16

■Ⅶー3 包括的・継続的ケアマネジメント体制構築

3-1) ケアマネジャー連絡会

〔開催回数〕 3回 〔参加者〕 国分寺市民が利用する又は利用すると想定される介護支援専門員

〔事務局〕 高齢福祉課



日 程		内 容	講師	出席人数
第1回	令和6年9月17日	ゼロから始める災害対策 ～ケアマネジャーとして 今日からできることを考えよう～	特定非営利活動法人 東京都 介護支援専門員研究協議会 災害担当理事 岩田 有佳乃 氏	48
第2回	令和7年1月24日	ヤングケアラーへの支援 ～ケアマネジャーとしての 関わり～	国分寺市子ども家庭部 子育て相談室 職員	56
第3回	令和7年3月17日	ケアマネジャー連絡会 各部会活動報告会	各部部长	64

3-2) 訪問介護サービス提供責任者連絡会

〔開催回数〕 3回

〔世話人〕 市内訪問介護事業所サービス提供責任者

〔事務局〕 高齢福祉課

日 程	内 容	出席人数
令和6年9月11日	国分寺市における高齢者虐待ケースへの対応について	24
令和6年12月9日	尊厳と自立支援 ～利用者目線で考える～	20
令和7年2月12日	介護職員の人材不足について	17

3-3) 訪問看護連絡会

〔開催回数〕 5回

〔運営〕 市内訪問看護事業所所長

〔事務局〕 高齢福祉課

日 程		内 容	出席人数
第1回	令和6年5月14日	今年度の連絡会について、 各事業所の報告および情報交換・情報共有	8
第2回	令和6年7月9日	地域包括支援センターとの勉強会について、 各事業所の報告および情報交換・情報共有	10
第3回	令和6年9月10日	地域包括支援センターとの勉強会について、 各事業所の報告および情報交換・情報共有	10
第4回	令和6年11月12日	地域包括支援センターとの意見交換、グループワーク、 情報交換・情報共有	18
第5回	令和7年2月18日	各事業所の報告および情報交換・情報共有 次年度計画について	11

3-4) 通所事業者連絡会

〔開催回数〕 1回

〔世話人〕市内通所事業所

〔事務局〕 高齢福祉課

日 程		内 容	講 師	出席人数
第1回	令和6年8月20日	Barthel Index・日常生活自立度 について	合同会社ONEBRIIDGE 作業療法士 林 和洋 氏	16

■ VII-4 ケアマネジャー研修

【新任研修】

〔目 的〕 市内で新しく勤務するケアマネジャーの業務が円滑に行われるよう支援する

日 程		内 容	出席人数
第1日目	令和6年5月14日 (ハイブリッド開催)	1. 国分寺市の概要と地域包括ケアシステムの深化・推進に向 けて 2. 地域包括支援センターの役割と機能について 3. 要介護認定の概要と手続きについて 4. 一般介護予防について 5. 高齢者一般施策の概要と手続きについて	26
第2日目	令和6年5月22日 (ハイブリッド開催)	1. 給付管理業務の概要と手続きについて 2. 国分寺市介護予防支援・介護予防マネジメントについて 3. 障害福祉サービスとの連携について 4. 国分寺市介護保険ケアマネジャー連絡会の紹介	25

【現任研修】

〔目 的〕 現任のケアマネジャーを対象にケアマネジメントの向上や業務を支援する

日 程			内 容	講師	出席人数
現任研修Ⅰ	第1回	令和6年9月30日	自分らしく「生きる」を考える ～カードゲームで学ぶ 人生会議(ACP)～	上智大学 総合人間科学部 看護学科 坂井 志麻 教授	61
	第2回	令和6年10月23日 (1日目)	ケアプラン作成研修	市内 主任ケアマネジャー	19
	第3回	令和6年10月30日 (2日目)	ケアプラン作成研修	市内 主任ケアマネジャー	21
	第4回	令和6年11月21日	ライブスーパービジョン研修	佐藤 信人氏	48
現任研修Ⅱ*	第1回	令和7年2月5日	がん末期の方への 関わりについて ～専門性を生かした支援とは～	グループワーク	88

* 医療介護連携部会委員が所属する機関、各会(国分寺市医師会、国分寺市歯科医師会、国分寺市薬剤師会、ケアマネジャー連絡会、サービス提供責任者連絡会、訪問看護連絡会、多摩立川保健所)・通所介護連絡会登録者を対象に開催

VIII 生活支援体制整備事業

■VIII-1 国分寺市生活支援介護予防サービス整備推進会議

- 〔目 的〕 ①生活支援・介護予防サービスの体制整備に向けて、多様なサービス提供主体や生活支援コーディネーター等が参画し、定期的な情報共有と連携強化を図る
- ②支え合いの地域づくり、担い手の拡充に向けた取り組み等を企画・検討し、連携・協働による資源開発を推進する

〔事務局〕 高齢福祉課

	開催日	内容
第1回	令和6年5月30日	各生活支援コーディネーターより活動報告 今年度の会議活動方針について 委員からの機関紹介・情報提供(ワールド・カフェスタイル)
第2回	令和6年8月29日	各生活支援コーディネーターより活動報告 若い世代との交流における情報、意見交換 担い手養成研修について 市民フォーラム開催報告
第3回	令和7年1月30日	各生活支援コーディネーターより活動報告 近隣大学の地域連携と地域活動の紹介 (白梅学園大学 午頭教授) 次年度の会議活動について

■VIII-2「支え合いの地域づくり 国分寺市民フォーラム」

〔目 的〕 支え合いの地域づくりの推進と担い手の拡充を目指した市民への働きかけとして実施

〔事務局〕 高齢福祉課

開催日	会場	内容	来場者数
令和6年6月26日	cocobunjiプラザ リオンホール	①講演「地域の見守りと支援の大切さ～福祉整理の現場から～」 講師 あんしんネット事業本部 石見 良教 氏	35人

■Ⅷ－３ 担い手養成研修に関すること

〔目 的〕 緩和した基準によるサービス(サービスA)および住民主体型サービス(サービスB)、その他地域の支え合い活動の担い手養成のため実施

〔事務局〕 高齢福祉課

３－１) 共通研修

※令和6年度は、介護予防推進員と共通研修とした

日 程	研修受講者	登録者
令和6年7月23日・24日	26人	25人

３－２) 基礎研修(終了後は介護予防応援隊に登録)

日 程	研修受講者	登録者
令和6年7月30日	13人	13人

３－３) 専門研修(修了後は生活支援隊に登録)

※内1名は令和5年度以前の基礎研修修了者

日 程	研修受講者	登録者
令和6年10月10日・15日・23日	10人	10人

３－４) 就労に向けた個別面談会(専門研修修了者を対象)

日 程	参加者
令和6年10月23日	10人

Ⅸ 認知症に関すること

■Ⅸ－１ 認知症ケアに関すること

１－１）介護保険地域密着型サービス運営推進会議出席

グループホーム等で開催される会議へ、区域の職員として出席

※認知症対応型グループホーム・デイサービスのみを記載



	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
あじさい苑	令和6年4月24日	令和6年6月26日	令和6年8月28日	令和6年10月23日	令和6年12月25日	令和7年2月26日
	ほんだ	高齢福祉課	高齢福祉課	ひかり	ほんだ	ひよし
グループホーム とくら	令和6年5月25日	令和6年7月27日	令和6年9月14日	令和6年11月30日	令和7年2月1日	令和7年3月22日
	なみき	ひよし	ひかり	ひよし	ひかり	高齢福祉課
国分寺 グループホーム そよ風	令和6年5月21日	令和6年7月23日	令和6年9月24日	令和6年11月26日	令和7年1月21日	令和7年3月25日
	ひよし	高齢福祉課	もとまち	もとまち	なみき	高齢福祉課
至誠ホームシナ グループホーム	令和6年5月22日	令和6年7月24日	令和6年9月25日	令和6年11月27日	令和7年1月22日	令和7年3月26日
	高齢福祉課	高齢福祉課	高齢福祉課	高齢福祉課	高齢福祉課	高齢福祉課
こもれび家族 国分寺	令和6年5月17日	令和6年7月19日	令和6年9月20日	令和6年11月15日	令和7年1月17日	令和7年3月18日
	ほんだ	もとまち	なみき	高齢福祉課	高齢福祉課	高齢福祉課
愛の家 グループホーム 国分寺本多	令和6年5月25日	令和6年7月27日	令和6年9月28日	令和6年11月30日	令和7年1月25日	令和7年3月29日
	こいがくぼ	こいがくぼ	もとまち	ほんだ	もとまち	ほんだ
グループホーム なごみ 国分寺北町	令和6年5月18日	令和6年7月20日	令和6年9月21日	令和6年11月16日	令和7年1月18日	令和7年3月15日
	なみき	なみき	こいがくぼ	ひかり	ひかり	こいがくぼ
グループホーム にんじん・西 恋ヶ窪	令和6年5月28日	令和6年7月29日	令和6年9月27日	令和6年11月27日	令和7年1月22日	令和7年3月19日
	(欠席)	もとまち	高齢福祉課	高齢福祉課	高齢福祉課	もとまち
花物語 こくぶんじ	令和6年7月17日	令和6年8月28日	令和6年9月27日	令和6年11月22日	令和6年12月20日	令和7年2月20日
	高齢福祉課	高齢福祉課	高齢福祉課	高齢福祉課	高齢福祉課	高齢福祉課
デイサービス センター やわらぎ・国 分寺	令和6年9月13日	令和7年2月28日				
	高齢福祉課	高齢福祉課				

1-2) 認知症の人を支える家族の会(きさらぎ会)開催支援

きさらぎ会の自主運営を広報・会場確保等で支援

開催:いずみプラザ 第1月曜日 13:30~16:00

	日 程	内 容	会 場	参加人数
1	令和6年4月1日	懇談会	健診室2・3	5
2	令和6年5月6日	祝日にて休み		
3	令和6年6月3日	懇談会	健診室2・3	8
4	令和6年7月1日	懇談会	健診室2・3	8
5	令和6年8月5日	懇談会	健診室2・3	5
6	令和6年9月2日	懇談会	健診室2・3	7
7	令和6年10月7日	懇談会	健診室2・3	12
8	令和6年11月4日	祝日にて休み		
9	令和6年12月2日	懇談会	健診室2・3	6
10	令和7年1月6日	休み		
11	令和7年2月3日	懇談会	健診室2・3	7
12	令和7年3月3日	懇談会	健診室2・3	5

■Ⅸ－２ 認知症の普及啓発に関すること

「認知症になっても安心して暮らせる国分寺」を目指し、認知症の普及啓発を実施する

２－１）認知症サポーターキャラバン・メイト

認知症の人や家族などを温かく見守るサポーターの養成講座の講師

実働しているキャラバン・メイト	57 人(令和7年3月末現在)		
市民メイト	22 人	地域包括支援センター職員	33 人
東京都認知症介護指導者	1 人	市職員(高齢福祉課所属)	1 人

【キャラバン・メイト全体会】

〔目 的〕キャラバン・メイト同士が地域での活動や認知症サポーター養成講座について情報交換を行う

日 程	内 容
令和7年3月14日	認知症サポーター養成講座テキスト改訂のポイントと認知症基本法についての講義とグループワーク

２－２）認知症サポーター養成講座

認知症の正しい知識をもち、認知症の人や家族等をあたたかく見守る応援者である、認知症サポーターの養成講座を実施した

	日 程	対 象	参加人数	担当包括
1	令和6年4月9日	企業・団体	13	ひよし
2	令和6年5月16日	地域住民	5	ほんだ
3	令和6年6月8日	地域住民	14	もとまち
4	令和6年7月20日	地域住民	20	こいがくぼ
5	令和6年9月14日	地域住民・市職員	49	ひかり
6	令和6年9月14日	小学生	106	こいがくぼ
7	令和6年10月5日	地域住民	8	なみき
8	令和6年10月19日	地域住民	8	ひかり
9	令和6年11月4日	企業・団体	17	こいがくぼ
10	令和6年11月14日	地域住民	12	ひよし
11	令和6年11月22日	地域住民	12	なみき
12	令和7年1月18日	地域住民	12	こいがくぼ
13	令和7年2月3日	小学生	170	もとまち
14	令和7年2月7日	地域住民	4	もとまち
15	令和7年2月20日・21日	小学生	111	ほんだ
16	令和7年3月6日・7日	中学生	97	ほんだ
17	令和7年3月21日	中学生	97	もとまち
合 計			755	

2-3) 認知症月間(9月)

〔目 的〕 認知症基本法に基づき、認知症や認知症の人の理解促進のため、各種の普及啓発に係る取組を実施した

日程	項目	場所	内容	参加人数
9月中	認知症コーナーの設置	市内図書館5館	認知症図書コーナーの設置	
	認知症に関する情報発信	各地域包括支援センター	認知症情報特設コーナーの設置	
		いずみプラザ		
9月14日	映面上映会	cocobunjiプラザ リオンホール	映画「オレンジ・ランプ」	99人
	講演会		「まちがえても『ま、いっか』と笑える地域づくり ～注文をまちがえる料理店から学ぶ～」 講師 小国 士朗氏	会場来場76人 オンライン参加9組
	事業の紹介など		国分寺病院認知症疾患医療センター、 きさらぎ会、おれんじCafe、 地域包括支援センターの紹介	
9月20日	認知症サポーター 養成講座	cocobunjiプラザ リオンホール	キャラバン・メイト: 地域包括支援センターひかり	受講者49人 (うち市職員30人)
9月26日	認知症サポーター フォローアップ講座	cocobunjiプラザ リオンホール	「認知症になっても暮らしやすい国分寺 ～認知症について理解を深め、 わたしにできることを考える～」 講師 東京都認知症介護指導者 嵩淵 建彦氏	16人

X 各種講座・教室・イベント関係

■ X-1 出張講座

	日 程	対 象	参加人数	テーマ	担 当
1	令和6年6月19日	自治会	7	介護予防体操、熱中症注意喚起	こいがくぼ
2	令和6年11月22日	地域交流会 「いずみ会」参加者	20	介護予防について、消費者被害予防啓発	
3	令和6年12月10日	地域住民	7	介護予防について	
4	令和6年6月1日	地域住民、学生	16	消費者被害防止講座	ほんだ
5	令和7年2月5日	老人クラブ	16	腸活セミナー	
6	令和7年3月28日	市民	16	「認知症になっても安心して生活するために」	
7	令和6年7月2日	集いの場参加者・地域住民	11	高齢者施設について	なみき
8	令和6年5月19日	老人会会員	21	介護予防について	ひよし
9	令和6年9月10日	高齢者	9	地域包括支援センターについて	
10	令和6年9月10日	高齢者	9	介護保険について	
11	令和6年11月9日	サロンプルーベリーの参加者	13	消費者被害防止講座	
12	令和6年11月22日	むさきの会参加者	11	消費者被害防止講座	
13	令和6年4月18日	三多摩健康友の会	18	認知症予防教室	ひかり
14	令和6年12月10日	デュオセーヌ	35	ACP学習会	
15	令和6年12月14日	国分寺診療所	27	虐待対応研修	
16	令和6年12月21日	西町5丁目都営AP集会所	9	介護や老後生活を快適にする会	
17	令和6年12月25日	光公民館地下ホール	31	包括支援センター紹介や悪質商法消費者被害などの普及啓発など	

■ X-2 介護予防教室

(委託内容:年度内に各担当区域で介護予防教室 1回以上)

	日 程	参加人数	テーマ	担 当
1	令和6年7月1日	18	いきいき美容講座	もとまち
2	令和6年4月17日	15	正しい呼吸で健康づくり	こいがくぼ
3	令和7年2月19日	20	元気なうちから始める物と心の整理	ほんだ
4	令和6年7月30日	11	嚥下体操で誤嚥性肺炎を予防	なみき
5	令和7年1月18日	7	フレイル予防	ひよし
6	令和6年5月23日	9	楽しくお出かけ排泄ケア	ひかり

■ X-3 家族介護者交流会

〔位置づけ〕 地域包括支援センター 委託事業

（委託内容：年度内に各担当区域で家族介護者交流会 2回以上開催）

日 程		参加人数	テーマ	担 当
1	令和6年11月22日	11	脳卒中の再発予防とリハビリテーションあれこれ	もとまち
2	令和7月2月14日	8	遠く離れた家族を見守るために	
3	令和6年5月29日	7	家族介護者の集い	こいがくぼ
4	令和6月12月18日	8	人生会議「ACP」	
5	令和6年9月27日	8	介護をされていて困ったことなど	ほんだ
6	令和7年3月26日	3	介護して苦労した事、工夫したことなどを共有	
7	令和6年5月28日	11	介護者のわたし。もしもの時のこと、今から考えてみませんか	なみき
8	令和6年9月28日	3	介護している私自身のきもちとからだも大切にしたい	
9	令和6年4月20日	2	家族介護者交流	ひよし
10	令和6年5月18日	2	家族介護者交流会	
11	令和6年6月15日	3	家族介護者交流会	
12	令和6年7月20日	2	家族介護者交流会	
13	令和6年9月21日	7	家庭環境の中に潜む危険	
14	令和6年10月19日	3	家族介護者交流会	
15	令和6年11月16日	3	家族介護者交流会	
16	令和6年12月21日	3	家族介護者交流会	
17	令和7年1月18日	5	家族介護者交流会	
18	令和7年2月15日	9	「訪問診療ってなあに」	
19	令和7年3月15日	2	家族介護者交流会	
20	令和6年4月27日	5	認知症の方の介護について意見交換など	ひかり
21	令和6年6月28日	6	家族介護者交流会	
22	令和6年8月23日	8	家族介護者交流会	
23	令和6年10月31日	8	介護とプライバシーについて意見交換	
24	令和6年12月26日	8	家族介護者交流会	
25	令和7年2月24日	6	家族介護者交流会	

■ X-4 転倒予防教室

【位置づけ】 地域包括支援センター 委託事業

(委託内容:年度内に各担当区域で1回以上開催)

日 程		参加人数	テーマ	担 当
1	令和6年11月8日	14	転倒しない為の環境づくりと身体づくり	もとまち
2	令和6年10月17日	17	理学療法士直伝、転ばないからだづくり	こいがくぼ
3	令和6年9月25日	16	転倒予防教室「元気に歩くための転倒予防の工夫」	ほんだ
4	令和6年11月13日	14	からだを支える筋力アップ	なみき
5	令和6年12月15日	11	内藤シニアサロンの参加者の方の体力測定会	ひよし
6	令和6年6月19日	12	栄養に気をつけて転ばない体づくり	ひかり

■ X-5 地域住民の交流等(サロン活動)

センター名	開催回数	主な開催内容
こいがくぼ	2	「こいがくぼ地区地域懇談会」身寄りのない方の支援と人生会議について 泉町一丁目サロン
ほんだ	1	多世代交流のイベント
なみき	1	消費者被害防止と体操
ひかり	4	消費者被害防止 認知症当事者の集まり 認知症当事者の会「カワセミの会@国分寺」

■ X-6 介護予防講演会

日時:令和7年2月21日

会場:cocobunjiプラザリオンホール

講師:東京都健康長寿医療センター研究所 白部 麻樹氏

テーマ:からだの健康はお口から!
～オーラルフレイル予防で歯ッピーな毎日を!!～

来場人数:113名



令和7年度 国分寺市地域包括支援センター事業計画



国分寺市福祉部高齢福祉課

令和7年6月

I 国分寺市の概況

【市の動向】

○国分寺市総合ビジョン（令和7年度～令和14年度）

共通目標 歴史をつなぎ 未来をひらく 個性がひかり輝くまち

○自治基本条例施行（平成21年4月1日から施行）

「自治の基本理念」「参加・協働・情報共有等の仕組み」「市政運営の基本原則」

○令和6年度～令和8年度国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期国分寺市介護保険事業計画

基本理念 個人としての尊厳が保たれ 地域・社会の支え合いによる
自立した豊かな生活を実現する

【高齢者人口・認定状況等】

人 口 （令和7年4月1日現在） 129,578 人

高齢者人口

高齢化率 22.1 % 28,687 人

要支援要介護認定者数（令和7年3月末現在）

	6,202 人	(内 要支援認定 1,725 人)
*第1号被保険者	6,064 人	(内 要支援認定 1,704 人)
*第2号被保険者	138 人	(内 要支援認定 21 人)

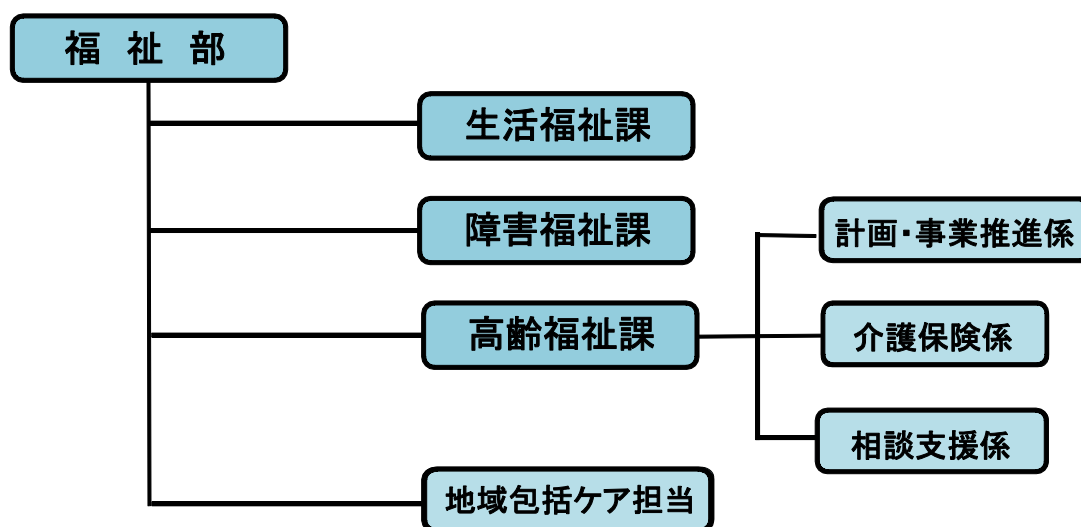
高齢者人口における認定率 21.1 %

【人口・高齢者人口の推移】

各年4月1日時点

年 度	人 口	65 歳以上人口	(再掲)75 歳以上	高齢化率
令和2	125,881	27,504	14,791	21.8%
令和3	127,272	27,786	14,856	21.8%
令和4	128,011	28,048	15,194	21.9%
令和5	128,691	28,187	15,812	21.9%
令和6	129,007	28,483	16,234	22.1%
令和7	129,578	28,687	16,594	22.1%

【国分寺市福祉部組織体制】



【高齢福祉課・地域包括ケア担当の事務】 (各係の主な担当業務)

* 国分寺市組織規則抜粋

計画・事業推進係

- ・高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に関する事
- ・高齢者福祉施設の整備計画及び整備に関する事
- ・老人福祉法による措置に関する事
- ・介護保険運営協議会に関する事
- ・高齢者福祉の増進に関する事

ほか

介護保険係

- ・介護認定審査会に関する事
- ・介護保険料の賦課及び徴収に関する事
- ・介護保険の給付管理に関する事
- ・介護保険サービス等の指定に関する事

ほか

相談支援係

- ・地域包括支援センター運営協議会に関する事
- ・高齢者相談に関する事
- ・地域包括支援センターに関する事
- ・高齢者の虐待防止対策に関する事
- ・高齢者成年後見制度利用支援に関する事
- ・認知症対策に関する事
- ・介護予防・日常生活支援総合事業に関する事
- ・在宅医療・介護連携の推進に関する事
- ・生活支援サービスの体制整備に関する事

ほか

地域包括ケア担当

- ・地域包括支援センターに関する事
- ・認知症対策に関する事
- ・在宅医療・介護連携の推進に関する事
- ・生活支援サービスの体制整備に関する事
- ・その他地域包括ケアの推進に関する事

Ⅱ 国分寺市の地域包括支援センターの整備状況

1 地域包括支援センターの設置

平成 18 年 4 月の介護保険法の改正により、地域包括支援センター（介護保険法 第 115 条の 46）が創設されました。

地域包括支援センターは高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活が続けられるよう、心身の健康の維持、保健・福祉・医療の向上、生活の安定のために必要なあらゆる相談・支援を、包括的かつ継続的に行う中核機関として、地域住民一人ひとりに対する個別的サービスの調整や地域ネットワークの構築・再生、また、地域住民の様々なニーズに応える高齢者福祉のワンストップサービスの拠点となることを目的とします。地域包括ケアを担う拠点として、包括的支援事業を展開します。

国分寺市では、平成 25 年 10 月より、直営 1 か所、委託 6 か所設置していましたが、令和 2 年度末に基幹的機能の充実と保険者機能の強化を踏まえ市直営の基幹型地域包括支援センターを廃止いたしました。

令和 3 年 4 月より高齢福祉課は「基幹的機能」を維持し、①総合調整、②統括、③人材育成支援、④後方支援・直接介入の 4 つの機能を担い、専門職を配置し委託型地域包括支援センターの支援をしています。委託先センター 6 か所においては地域の高齢者の相談拠点として、相談機能の充実を図っています。

〔地域包括支援センターの具体的な業務内容〕

「地域包括支援センターの設置運営について」平成 30 年 5 月 10 日一部改正 7 頁参照により

○ 第 1 号介護予防支援事業

第 1 号介護予防支援事業は、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、居宅要支援者（要支援 1・2）のうち、介護予防及び日常生活支援を目的として、訪問型サービス、通所型サービス、その他生活支援サービスが包括的かつ効果的に提供されるよう必要な援助を行うこと

○ 総合相談支援業務

高齢者の心身の状況や生活の実態・必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け地域における適切なサービスや関係機関・制度につなげる支援を行うこと

○ 権利擁護業務

成年後見制度の活用促進や地域福祉権利擁護等の活用、消費者被害の防止、高齢者虐待への対応等、高齢者の生活の維持を図ること
また、そのための連携やネットワークの構築に関すること

○ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者に対し、包括的・継続的なサービスが提供されるよう地域の多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制を整えること
ケアマネジャーに対する個別的な相談や助言、地域のケアマネジャーのネットワークの構築等を行うこと

2 各計画期間における整備状況

	地域包括支援センター	地域相談センター(在宅介護支援センター)
第1期 (H12年~14年)		<p>■平成12年4月 高齢者総合相談室設置 在宅介護支援センター(直営で開設) 基幹型・地域型併設 1か所 居宅介護支援事業所併設</p> <p>■平成14年4月 在宅介護支援センターたんぽぽ開設 (社会福祉法人 心会) *基幹型(直営) 地域型 直営 1 委託 1</p>
第2期 (H15年~17年)		<p>■平成15年4月 高齢者相談室へ課名変更</p> <p>■平成17年4月 在宅介護支援センターひかり開設 (特定医療法人社団 健生会) 在宅介護支援センターにんじんの会 (社会福祉法人 にんじんの会) *基幹型(直営) 地域型 直営 1 委託 3</p>
第3期 (H18年~20年)	<p>●平成18年4月 国分寺市地域包括支援センター開設 *直営 1</p> <p>●平成19年4月 国分寺地域包括支援センターもとまち開設 (社会福祉法人 至誠学舎立川) 国分寺地域包括支援センターひかり開設 (特定医療法人社団 健生会) *直営1 委託2</p>	<p>■平成18年4月 在宅介護支援センターもとまち (社会福祉法人 至誠学舎立川) *基幹型 廃止(地域包括支援センターへ移行) 地域型 委託 4</p> <p>■平成19年4月 *地域型 委託 2 2箇所廃止(地域包括支援センターへ移行)</p>
第4期 (H21年~23年)	<p>■平成21年4月(高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画) 地域包括支援センター 3(直営1 委託2) 国分寺市地域包括支援センター(高齢者相談室) 国分寺地域包括支援センターもとまち 国分寺地域包括支援センターひかり(平成22年度より 社会医療法人社団 健生会へ法人名称変更) 地域相談センター 3(委託3) 国分寺地域相談センターひよし (旧 在宅介護支援センターたんぽぽ) 国分寺地域相談センターこいがくぼ (旧 在宅介護支援センターにんじん) 国分寺地域相談センターなみき (社会福祉法人 至誠学舎立川 平成21年4月新規開設)</p>	
第5期 (H24年~26年)	<p>■平成24年4月(高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画) <平成24年度> 地域包括支援センター 3(直営1 委託2) 国分寺市地域包括支援センター(高齢者相談室) 国分寺地域包括支援センターもとまち 国分寺地域包括支援センターひかり 地域相談センター 3(委託3) 国分寺地域相談センターひよし 国分寺地域相談センターこいがくぼ 国分寺地域相談センターなみき</p>	<p>●平成25年10月~ 地域包括支援センター 7(基幹型・直営1 委託6) (基幹型)国分寺市地域包括支援センター(高齢者相談室) (委託)国分寺地域包括支援センターもとまち (委託)国分寺地域包括支援センターひかり <地域相談センターから移行> (委託)国分寺地域包括支援センターひよし (委託)国分寺地域包括支援センターこいがくぼ (委託)国分寺地域包括支援センターなみき <新規開設> (委託)国分寺地域包括支援センターほんだ (社会福祉法人 至誠学舎立川)</p>
第6期 (H27年~29年)	<p>■平成27年4月(高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画) 地域包括支援センター 7(基幹型・直営1 委託6) (基幹型)国分寺市地域包括支援センター(高齢者相談室) <東部地域> (委託)国分寺地域包括支援センターもとまち (委託)国分寺地域包括支援センターこいがくぼ (委託)国分寺地域包括支援センターほんだ <西部地域> (委託)国分寺地域包括支援センターひよし (委託)国分寺地域包括支援センターひかり (委託)国分寺地域包括支援センターなみき</p> <p>■平成29年4月 高齢者相談室・介護保険課が統合し高齢福祉課へ課名変更</p>	
第7期 (H30年~R2年)	<p>■平成30年4月(高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画) ■平成30年4月 福祉保健部が健康部と福祉部の2部体制に変更 ■令和3年3月末(基幹型)国分寺市地域包括支援センター(高齢福祉課)を廃止</p>	

第8期 (R3年~R5年)	<p>■令和3年4月（高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画） 地域包括支援センター 6(委託6) 高齢福祉課は基幹的機能を担い地域包括支援センターを支援</p> <p>■令和4年4月 地域包括ケア担当を新設</p>
第9期 (R6年~R8年)	<p>■令和6年4月（高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画） 地域包括支援センター 6(委託6) 高齢福祉課は基幹的機能を担い地域包括支援センターを支援</p>

3 地域包括支援センター担当区域

各センターは担当区域を基本エリアとして業務を運営しています。高齢福祉課は全センターの支援を行います。

◆担当区域及び運営委託法人 * 地域包括支援センター 6（委託6）

※各センターで担当区域の要支援1・2の介護予防ケアマネジメントを実施

センター名(運営法人等)		所在地	担当区域等
東部地域	国分寺地域包括支援センターもとまち ★ (社会福祉法人 至誠学舎立川)	東元町2-5-17 さわやかプラザもとまち1階	東元町・西元町・南町
	国分寺地域包括支援センターこいがくぼ (社会福祉法人 にんじんの会)	西恋ヶ窪1-50-1 にんじんホーム1階	泉町・西恋ヶ窪・東戸倉
	国分寺地域包括支援センターほんだ (社会福祉法人 至誠学舎立川)	本多2-3-3 国分寺市商工会館3階	本町・本多・東恋ヶ窪
西部地域	国分寺地域包括支援センターなみき ★ (社会福祉法人 至誠学舎立川)	並木町3-12-2 至誠ホームミナ1階	富士本・新町・並木町・北町
	国分寺地域包括支援センターひよし (社会福祉法人 心会)	日吉町4-32-6 うれしなの里1階	戸倉・日吉町・内藤
	国分寺地域包括支援センターひかり (社会医療法人社団 健生会)	光町3-13-34 国分寺ひかり診療所3階	光町・高木町・西町

★は各地域のリーダー

4 地域包括支援センター事業委託 業務内容

地域共生社会の実現に向けて、地域の拠点として地域に根付いた事業が実施できるよう機能強化を図ります。今年度は、センター内の各職種が専門的な視点を持ち寄り、重層かつ多面的な相談支援事業の実施を目指します。また、多分野の相談機関等とも連携を深め、地域住民の総合的な支援に取り組みます。

介護予防・日常生活支援総合事業においては、自立支援に資する介護予防マネジメントに取り組み、多様化する生活支援ニーズと地域住民主体の支え合い活動をつなぎます。

◆地域包括支援センター事業委託 主な業務内容

介護予防・日常生活支援総合事業	包括的支援事業
○介護予防・生活支援サービス事業 要支援者への支援 介護予防ケアマネジメント 指定居宅介護支援事業所への支援 ○一般介護予防事業 介護予防把握事業 介護予防普及啓発事業 介護予防教室事業 転倒予防事業 地域団体への出張講座 集いの場支援 ○地域介護予防活動支援事業	○総合相談支援業務 地域におけるネットワークの構築 実態把握 総合相談支援（アウトリーチ活動 ほか） ○権利擁護業務 ○包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 包括的・継続的なケア体制の構築 地域における介護支援専門員のネットワークの活用 日常的個別指導・相談 支援困難事例等への指導・助言 ○介護予防支援事業 要支援者に対する予防給付のマネジメント ○生活支援体制整備事業 第2層生活支援コーディネーターの配置 地域の支援ニーズとサービス提供主体のマッチング ○認知症総合支援事業 認知症に関する普及啓発（キャラバン・メイトの活動等） 「初期集中支援チーム」の一員としての活動 ○地域ケア会議推進事業
その他	
○高齢者を熱中症等から守る対策事業 ○家族介護者交流会 ○介護保険制度に関する相談・申請受付及び市 高齢者福祉サービスの申請受付業務	

5 地域包括支援センター人員体制

「国分寺市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例」により、国分寺市地域包括支援センターは、保健師もしくは看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員の3職種及び介護支援専門員等の配置が義務付けられています。

また、認知症総合支援事業の推進に係る推進員（認知症地域支援推進員）は、連絡会等を通じて推進員同士の連携体制を強化し、市全体の認知症支援推進に係る活動方針や計画策定に参画しています。

今年度より地域のケアマネジメント体制を確保するため、地域包括支援センターが担う要支援者等のケアマネジメント業務を担う職員（1人）を新たに配置しました。地域包括支援センターの実情に合わせた配置をすることで、ケアマネジメント業務の充実、業務の負担軽減を目指します。

基幹型地域包括支援センターであった高齢福祉課は、地域包括支援センターに対する適切なマネジメントを実施し、基幹的機能を十分に発揮するために、引き続き専門職を配置し委託型地域包括支援センターの支援を継続して相談支援体制の充実に努めます。

◆地域包括支援センター人員体制推移

各年4月1日現在の配置

		年度	保健師 看護師	社会 福祉士	主任 介護支援 専門員	介護支援 専門員等	認知症 地域支援 推進員	生活支援 コーディネーター	事務	計
国分寺地域包括支援センター	もとまち	R5年	1	1	1	1	1	1	0	6
		R6年	1	1	1	1	1	1	0	6
		R7年	1	1	1	2	2(1)	1	0	8(1)
	こいがくぼ	R5年	1	1	1	1	1	1	0	6
		R6年	1	1	1	1	1	1	0	6
		R7年	1	1	1	1	1	1	1	7
	ほんだ	R5年	1	1	1	1	1	1	0	6
		R6年	1	1	1	1	1	1	0	6
		R7年	1	1	1	2	1	1	0	7
	なみき	R5年	1	1	1	1	1	1	0	6
		R6年	1	1	1	1	1	1	0	6
		R7年	1	1	1	2	1	1	0	7
	ひよし	R5年	1	2(1)	1	1	1	1	0	7(1)
		R6年	1	2(1)	0	1	1	1	0	6(1)
		R7年	1	1	1	2	1	1	0	7
	ひかり	R5年	1	2(1)	1	1	1	1	0	7(1)
		R6年	1	2(1)	1	1	1	1	0	7(1)
		R7年	1	2(1)	1	1	1	1	0	7(1)

注1) ()は法人の方針で増員して配置(再掲)

◆高齢福祉課(地域包括支援センター支援)人員体制推移

各年4月1日現在の配置

	年度	保健師 看護師	社会 福祉士	主任 介護支援 専門員	介護支援 専門員等	認知症 地域支援 推進員	生活支援 コーディネーター	事務	計
高齢福祉課	R5年	3	6	1	1	0	0	3	14
	R6年	6	6	0	0	0	0	3	15
	R7年	6	5	0	0	0	0	4	15

Ⅲ 令和7年度運営方針及び重点施策

1 総合的な運営方針

国分寺市では、国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画を策定しています。市は下記のポイントに沿った重点施策をもとに地域包括支援センターを運営します。

国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画のポイント

1 地域共生社会の実現

地域共生社会の実現に向け、介護・障害・子ども・生活困窮等、支援を必要とするすべての住民が地域で支え合える包括的な支援体制構築を進めるとともに同時に、その中核的な基盤となり得る地域包括ケアシステムの深化・推進を図ります。

2 介護予防・健康づくり施策の充実・推進

健康づくりや社会貢献等の生きがいづくりの創出を目的とした、地域づくりによる介護予防施策を更に充実・推進させ、健康寿命延伸に向けても取り組みます。

3 認知症施策推進大綱を踏まえた認知症施策の推進

認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って自分らしく暮らし続けることができる社会を目指し、認知症の方やその家族の視点を重視しながら、認知症施策を推進します。

4 地域包括ケアシステムを支える人材の確保及び介護現場の生産性の向上の推進

介護事業者をはじめとする関係機関等と一体となり、介護に対するイメージの向上や普及啓発、情報提供の充実、働きやすい環境づくりの支援に取り組むとともに、介護人材や多様な担い手の育成にも取り組みます。

5 災害・感染症対策に係る体制整備

今後も起こりうる災害・感染症に備え、介護事業者等と連携し防災や感染症対策についての周知啓発や研修、訓練等実施し、国・都との情報共有・連携を含め、迅速かつ適切な対応が可能となるよう体制整備を進めます。

市は統括を行う保険者(国分寺市)として、地域の中核機関である地域包括支援センターを「総合調整」・「統括」・「人材育成支援」・「後方支援・直接介入」の4つの基幹的機能の充実と保険者機能の強化の両面から支援します。市は第9期で基幹的機能の充実を図るための新たな取組として、基幹的機能に関する業務チェック票をもとに、地域包括支援センター運営協議会で意見集約を行います。

2 重点施策

(1) 地域共生社会の実現

包括的な相談支援体制の充実

地域包括支援センターが地域の身近な相談機関として従来培ってきた相談技術と多職種による多面的な視点を活かしたチームアプローチによって、高齢者及びその世帯全体のアセスメントを実施します。課題を抱える高齢者以外の家族支援についても、重層的支援体制整備事業の趣旨を踏まえ、地域福祉コーディネーターが主催する支援会議等を活用し、関係機関との協働による世帯全体へのチーム支援を行います。

市(高齢福祉課)は、研修等を通じて地域包括支援センター全体や個々の職員のレベルアップを支援するとともに、地域包括支援センターが地域や庁内の関係機関とスムーズな相談支援体制が図れるようにともに取り組みます。併せて、これらの相談支援に対応できるよう業務の効率化、負担軽減についての検討を引き続き進めます。

生活支援体制整備の推進

地域住民や多様な主体が協働して高齢者の生活支援を推進するために、助け合い・支え合いの地域づくりに向けた活動を推進していきます。

第2層生活支援コーディネーターや地域住民等を中心に、協議体づくりを含めた暮らしに必要な社会資源の検討、ネットワークの構築を継続します。特に第2層生活支援コーディネーターを起点にした地域づくりのため、昨年度から取り組んでいる「地域まるごと戦略シート」等の考え方を意識した取組を進めます。

併せて、直営にて配置している第1層生活支援コーディネーターを中心に第1層協議体である生活支援・介護予防サービス整備推進会議の更なる充実を図り、地域づくりの障壁となっている課題の共有や課題解決につながる協議を進め、市全体の体制整備を進めていきます。

地域ケア会議の効果的な運営の推進

住み慣れた地域で尊厳を保持しながら自分らしい日常生活を継続する地域包括ケアシステムの完成を目指し、地域ケア会議の効果的な運営を目指します。第8期からの地域包括支援センター単位で開催している小地域ケア会議の推進を継続・充実します。

特に小地域ケア会議開催後に東西エリアで実施する「地域課題選別会議」については、エリアを意識した課題の共有や市レベルの地域ケア会議で報告する課題の協議を進めます。また、市レベルでの地域ケア会議では、地域課題選別会議の内容に焦点を当て委員が地域課題を把握し、意見交換できるよう、運営していきます。

多職種協働による在宅医療・介護連携の推進と充実

医療と介護の両方のニーズを持つ高齢者等が増加することを見据えて、在宅医療・介護連携事業をさらに推進していきます。令和6年 11 月に国分寺市医師会へ委託した在宅医療・介護連携相談窓口事業(窓口設置機関:社会福祉法人浴光会よくこうまちのほけんしつ)により、市内の基盤強化に取り組むほか、多職種協働を推進するための各種会議の開催や、研修を開催します。

市民向けには、「医療・介護」について元気なうちから備えておくための ACP(人生会議)について、関係者および市民への更なる理解促進に努めます。また、小地域ケア会議や医療介護連携部会等を通じて、地域の医療・介護関係機関等の多職種が連携・協働できる体制構築を進めます。

(2) 介護予防・健康づくり施策の推進と充実

地域介護予防活動支援の充実

地域住民による介護予防活動の普及を目指し、住民主体で運営する集いの場「暮らしを拓げる 10 の筋力トレーニング」を中心に展開します。日頃からの健康づくりや介護予防への意識がより高まり、互助の充実・拡大を目指し、一定の講習を修了した地域住民である介護予防推進員とも連携していきます。

また、介護予防普及啓発事業である通所型介護予防普及啓発事業(マシン筋トレ)については、教室型に加えて開放型を実施し、高齢者自身が健康づくりに主体的に取り組むことができるよう支援します。特に開放型の参加者で地域活動への参加に興味ある方への情報提供等については、地域包括支援センターが中心となり取り組みます。

プレフレイル状態にある高齢者を速やかに把握し、短期集中予防サービス(サービス C)の利用を推進することで、日々の生活行為の改善や活動・社会参加の維持または促進がなされるよう支援します。また、サービス C 利用者の事例を通して、効果的な介護予防のアプローチ方法や、介護予防の視点から地域資源との連携および足りない地域資源について、介護予防部会等で検討していきます。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

また、令和6年度から実施している高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について、介護・医療・健康に係るデータを活用するほか、一体的実施事業委託事業者と地域包括支援センターとの効果的な連携を図り、地域での取組を推進します。

(3) 認知症施策推進大綱を踏まえた認知症施策の推進

認知症に関する理解促進

令和6年1月に共生社会の実現を推進するための認知症基本法(以下「認知症基本法」といいます。)が施行され、認知症や認知症の人を理解するための取組、「新しい認知症観」に立った取組を新たに推進していくことが求められています。

認知症になっても安心して暮らせる国分寺を目指して、認知症基本法に基づき、認知症に関する市民の理解の増進を目的として認知症月間(9月)に取り組むほか、地域や学校、企業等で認知症に関する正しい知識を持ち、認知症の人や家族を手助けする認知症サポーターの養成講座やステップアップ講座、キャラバン・メイトの活動を支援する取組を引き続き推進します。

また、認知症予防についても、新たに普及啓発事業として着手し、早期診断・早期支援の取組を推進します。

市の認知症施策については、地域包括支援センターや地域包括支援センターに配置した

認知症地域支援推進員との連携を図り、総合的に推進します。

地域全体での支援体制の構築

認知症の人とその家族が孤立しない地域を目指すため、認知症地域支援推進員と住民がつながり、認知症になっても安心して暮らせるために必要な支援について検討を継続していきます。

そのために必要な認知症の人やその家族のニーズを把握し、地域資源を活用しながら認知症サポーターを中心とした地域住民への支援としてチームオレンジの構築を推進します。

(4) 地域包括ケアシステムを支える人材の確保及び介護現場の生産性の向上の推進

地域住民の支え手の拡充と高齢者の社会参加に向けた取組

地域包括支援センターの様々な取組を通じて、地域住民相互の支え手の発掘や人材を創出する視点を持ち、住民相互の支援の輪を拡げていきます。

高齢者一人一人が携える経験値や能力を活かし、高齢者が「支える側」としての社会参加を意識して取り組む必要があります。そのために、担い手養成研修を再編し、人材確保に向けた取組の推進を目指します。また市民フォーラムの開催により、多くの市民が地域活動へ参加する体制構築を推進します。

ケアマネジャーへの支援体制の充実

地域のケアマネジャーが日々のケアマネジメント業務の中で直面している複雑化・複合化した課題等をケアマネジャーが抱え込まないように、地域包括支援センターが適宜キャッチし、適切な支援を共に検討していく体制の構築・維持を目指します。

また、研修等の実施や連絡会の事務局運営等を通じて、ケアマネジャーのスキルアップや活動支援に繋がるような支援を継続します。

(5) 災害や感染症対策に係る体制整備

BCP(事業継続計画)については、地域包括支援センター委託法人の役割や介護予防支援事業所としての取組を踏まえながら、具体的な行動マニュアルを市と共に検討します。

また、日頃から地域の防災等への取組を把握するように努めます。

令和 7 年度 地域包括支援センター事業計画

国分寺地域包括支援センターもとまち

担当区域 東元町 西元町 南町 (担当高齢者人口 4,864 人)

職員配置 8 (1) 人 看護師 1、社会福祉士 1、主任介護支援専門員 1 (1)、
介護支援専門員 2、認知症地域支援推進員 2、
生活支援コーディネーター 1 * () は管理者と兼務、再掲

● 令和 7 年度 運営方針

- ① センター内の職種間の連携を強化し、地域に関わる事業などで効果的、戦略的に取り組む
- ② 他機関と協働し、今までに積み上げた地域課題の解決に向けて、具体的に取り組んでいく
- ③ 地域住民との協働を強化し、認知症支援、通いの場等の事業について積極的に取り組む

● 令和 7 年度 重点事業

重点項目	事業内容	計画区分	実施計画
1. 体制整備	1) 全スタッフ協働での体制作り	業務チェック	a. 四半期ごとに地域包括支援センター事業計画を評価し、各職員の業務の役割や進捗を確認 (通年)
		市-1 市-2	b. 地域に関わる事業について、センター全体で共有及び検討し、かつ職種間連携によって効果的かつ戦略的に実施 (通年)
	2) ケース対応の体制作り	センター 独自	a. ケース対応力の向上のため、各職員の積極的な外部研修の参加とセンター内部での共有方法を確立 (通年)
		市-4	b. 総合相談や予防委託について、地域のケアマネジャーへの引継ぎなど、より丁寧な対応を検討及び実施 (通年)
	3) 地域課題の把握や必要な社会資源の開発に向けた体制作り	市-1	a. 昨年度からの小地域ケア会議のテーマである「オートロックマンション」に関わる地域課題について、具体的な取組 (通年)
		市-1	b. 担当地域のデータの活用、必要に応じたマップの作成等「地域アセスメント」のブラッシュアップ (通年)
	4) 災害や感染症対策に関わる体制整備	市-5	a. 策定された自然災害、感染症対策に関するBCP (事業継続計画) について、より実態に即した内容への検討及び更新 (通年)
2. 地域の関係機関との連携強化	1) 地域のケアマネジャーとの連携強化	市-4	a. 包括主任ケアマネジャー連絡会と連動し、ケアマネジャーからの具体的な相談内容を分析し、情報提供方法等を検討 (年 2 回)
	2) 関係機関との連携強化	市-1	a. 8050 ケース等について、個別支援会議、勉強会や情報交換会等の機会を通じた障害関係機関や社会福祉協議会との連携 (随時)
		市-1	b. 権利擁護センターと連携した成年後見制度の周知不足の解消に向けた出張講座開催等の取組 (通年)
3. 地域の実情の把握強化	1) 地域住民との関係作りの強化	市-3	a. 認知症支援におけるチームオレンジについて、キャラバンメイトを含めた住民の主体的な活動への働きかけを実施 (通年)
		市-1	b. 通いの場である「モルックグループ」の活動について、協力をして頂ける地域住民や団体等とネットワークを形成 (通年)
		市-2	c. 各種教室、通いの場、集いの場等様々な事業や活動を通じた介護予防推進員との連携 (随時)
		市-4	

令和 7 年度 地域包括支援センター事業計画

国分寺地域包括支援センターこいがくぼ

担当区域 泉町 西恋ヶ窪 東戸倉 (担当高齢者人口 4,399 人)
 職員配置 7 (1) 人 看護師 1、社会福祉士 1、主任介護支援専門員 1 (1)、
 介護支援専門員 1、認知症地域支援推進員 1、
 生活支援コーディネーター 1、事務 1 * () は管理者と兼務、再掲

令和 7 年度 運営方針

- ① 複合的な課題を抱えた世帯全体を多角的に把握し、適切な支援につなげる
- ② 介護予防、認知症支援、消費者被害防止に取り組む地域づくりを推進する

令和 7 年度 重点事業

重点項目	事業内容	計画区分	実施計画
1. 総合相談、個別支援における対応力の向上	1) 包括内での多職種協働による、多角的なアセスメントと適切な支援	市-1	a. 毎朝夕のミーティングと週 1 回の拡大ミーティングにおいて、個別ケースの情報共有や多職種による検討を迅速に行い、より精度の高い支援を行う
		業務チェック	b. 支援終結ケースについて、支援内容を検証して他ケースの適切な支援につなげるとともに、支援を担当してきた職員へのねぎらいの機会として、ケース振り返りのカンファレンスを行う
	2) 多様な社会資源を活用した、その人らしい豊かな暮らしにつながる支援	市-1	a. 介護保険サービスを中心とした社会資源について、その強みや特性を正しく把握して、個別支援の場面で適切に活用する
		市-1 業務チェック	b. 介護保険以外の諸制度（医療保険、障害福祉、生活福祉、権利擁護等）を理解し、支援に必要な機関と連携、協働する
2. 介護予防、認知症支援、消費者被害防止の取組の連動	1) 地域の既存団体への情報提供や周知啓発	市-2	a. 自治会や老人クラブなどで、介護予防、認知症支援、消費者被害防止を盛り込んだ出張講座を行う
		市-3	
		市-1	b. 民生委員、自治会会長、ケアマネジャー等が集う地域懇談会を開催し、地域における様々な課題を共有するとともに、地域のネットワークを強化する
	2) 介護予防と認知症支援の取組	市-2	a. 介護予防に取り組む団体（集いの場、通いの場等）を訪問して活動継続の支援を行う。また、活動への「ちょい足し」として認知症支援や消費者被害防止などの周知啓発も行う
		市-3	
		市-3	b. 地域住民、学校、企業など、幅広い世代や属性の方々を対象に認知症サポーター養成講座を行う
		市-2 市-3 市-4	c. 介護予防と認知症予防の取組を協働で実施し、地域の様々な人財（介護予防推進員、認知症サポーター、生活支援隊等）が、分野の垣根がなく活躍できる機会を提案していく
	3) 消費者被害防止の取組	市-4 業務チェック	a. ケアマネジャーや介護サービス事業所に向けて、詐欺や悪質商法などに関する情報を定期的に発信し、高齢者を見守る目となっていただくよう働きかける
		市-4 業務チェック	b. ケアマネジャー等から消費者被害の報告があった際は、ケアマネジャーや消費生活相談室と連携して迅速に対応し、さらなる被害の防止に取り組む

令和 7 年度 地域包括支援センター事業計画

国分寺地域包括支援センターほんだ

担当区域 本町 本多 東恋ヶ窪 (担当高齢者人口 5,844 人)
 職員配置 7 (1) 人 看護師 1、社会福祉士 1、主任介護支援専門員 1 (1)、
 介護支援専門員 2、認知症地域支援推進員 1、
 生活支援コーディネーター 1 * () は管理者と兼務、再掲

令和 7 年度 運営方針

- ① 地域包括ケアシステム推進にむけた関係機関との連携
- ② 介護予防の視点を持った支援への取組強化
- ③ 認知症、通いの場等への普及啓発及び地域との連携継続
- ④ 災害・感染症対策への取組継続

令和 7 年度 重点事業

重点項目	事業内容	計画区分	実施計画
1. 体制整備	1) 全スタッフ協働でのセンター体制強化	センター 独自	a. 年間を通して働きやすい職場の環境作り
		市-5	b. 災害・感染症対策への体制整備づくり継続
	2) 支援困難ケース等への対応力強化	センター 独自	a. 個別支援会議を通して課題や強みの把握を行い、多機関等と連携できる体制強化
		センター 独自	b. 相談力向上を目的としたセンターにおける勉強会の計画的な開催
2. 地域包括ケアシステムの推進	1) 関係機関等との連携強化	業務チェック	a. 消費者被害防止について、ケアマネジャーへの周知方法を再検討する
		業務チェック	b. ケアマネジャーからの相談に対して、問題点だけでなく利用者の強みを意識的に把握共有できる方法を検討する
		市-1	c. 個別支援会議で抽出した課題等は、小地域ケア会議を通して整理・共有する
		業務チェック	d. 民生委員連絡会を活用して、包括と民生委員の連携強化を図る
	2) 介護予防の視点を 持った支援への取組	市-2	a. 介護予防推進員と連絡会等で地域課題を共有する機会をつくり、介護予防の重要性を共有し連携につなげる
		市-2	b. 介護予防把握事業にてプレフレイル状態の高齢者を把握し、サービスC利用の推進につなげる
3. 地域住民の自助・共助力向上への取組支援	1) 認知症支援の取組及び普及啓発	市-3	a. 認知症や認知症の人を理解するための取組み、「新しい認知症観」に立った取組を検討する
	2) 通いの場への支援	市-1	a. 地域住民等が助け合い・支え合いの地域づくりを意欲的に取り組めるよう支援する
		市-1	b. 既存の第2層協議体への支援継続

令和7年度 地域包括支援センター事業計画

国分寺地域包括支援センターなみき

担当区域 富士本 新町 並木町 北町 (担当高齢者人口 3,755 人)
 職員配置 7 (1) 人 看護師 1、社会福祉士 1 (1)、主任介護支援専門員 1、
 介護支援専門員 2、認知症地域支援推進員 1、
 生活支援コーディネーター 1 * () は管理者と兼務、再掲

● 令和7年度 運営方針

- ① 多職種による多面的な視点を活かし、複合化した課題に対応できる窓口機能を果たす
- ② 地域住民や関係機関との連携を深め、地域ネットワーク構築に向け取り組む
- ③ 介護予防・認知症支援、生活支援体制整備等、地域住民の主体性を生かした取組を推進する

● 令和7年度 重点事業

重点項目	事業内容	計画区分	実施計画
1. 地域包括支援センターの機能・対応力強化	1) 総合相談機能の充実・職員のスキルアップと計画性のある業務の実施	市-1	a. 効率的・効果的な定例ミーティングの開催と随時の情報共有
		業務チェック	b. 職員の知識習得とスキルアップを目的に、法人内外の研修へ積極的に参加、センター内での勉強会を実施し相談対応に活かす
		業務チェック	c. 年間の教室事業やイベントの予定を可視化し職員間で共有、各職員の負担感を確認しながら計画的にチームで企画・運営する
	2) 支援困難ケースへの対応力向上と関係機関との連携強化	市-4	a. ケアマネジャーから寄せられる相談やニーズを把握し、共に検討・対応できる体制の構築とフィードバックの方法の検討を行う
		市-1	b. 8050 問題等の複合化したケースへの対応において、他分野の支援機関とスムーズに連携できる体制を整えておく
		業務チェック	c. 高齢者虐待、悪質商法、詐欺等からの高齢者の権利擁護を目的に、関係機関との意見交換・連携・情報共有を密に行う
	3) 個別支援会議・小地域ケア会議の充実	市-1	a. 支援困難事例に限らない、地域特性に目を向けた個別支援会議の開催と地域課題の抽出
市-1		b. 市を交えた地域課題抽出会議の効果的な実施	
市-1		c. 地域課題に即した小地域ケア会議の開催と参加者との協働	
2. 多様な資源の創出・地域づくりの推進	1) 生活支援体制整備の推進	業務チェック	a. 社会資源・地域キーマンの発掘・把握に努め、センター職員が地域資源や強みを共有できるツールづくりと活用を進める
		市-2	b. 北町エリアを中心に“交流と情報発信の場づくり”を住民・地域事業所・地域福祉コーディネーター等と協働して行う
		業務チェック	c. 併設地域密着型施設と連携し、地域住民が集える場づくりの検討を行う
	2) 自立支援・介護予防に向けた取組の推進	市-2	a. 地域住民が介護予防に主体的に取り組めるよう、教室事業や広報紙を活用し普及啓発を行う
		市-2	b. 集いの場グループ同士の交流・情報交換の場を設定するほか、既存グループの活動意欲の維持向上を図る
		市-2	c. 介護予防推進員同士の交流及び推進員と包括の協働に向けた意見交換の機会を設ける
		市-2	d. 自立支援・介護予防の視点を持ったケアマネジメントを全職員で行う（介護予防事業の利用促進を図る）
3. 認知症地域支援体制の推進・強化	1) 認知症の方を地域で支える事業の充実	市-3	a. 幅広い世代を対象とした認知症サポーター養成講座の実施
		市-3	b. 現役世代の認知症家族介護者同士の交流の場の創出
		市-3	c. チームオレンジを意識したステップアップ講座等の開催
		市-3	d. 認知症疾患医療センター等との連携強化

令和 7 年度 地域包括支援センター事業計画

国分寺地域包括支援センターひよし

担当区域 戸倉 日吉町 内藤 (担当高齢者人口 5,019 人)
 職員配置 7 (1) 人 看護師 1、社会福祉士 1、主任介護支援専門員 1
 介護支援専門員 2、認知症地域支援推進員 1、
 生活支援コーディネーター 1 (1) * () は管理者と兼務、再掲

● 令和 7 年度 運営方針

- ① 全職員の質と対応力の向上とチームアプローチの強化
- ② 地域課題への取組を実施するため、地域住民、関係機関との協働
- ③ 介護予防、通いの場、認知症支援の各支援体制の更なる推進

● 令和 7 年度 重点事業

重点項目	事業内容	計画区分	実施計画
1. 体制整備	1) 全職員による協働と体制づくり	業務チェック	a. 四半期ごとに地域包括支援センター事業計画を評価し、各職員の業務の役割や進捗の確認を行う
		市-2	b. 各職種の担当する事業や講座、教室等を全職員で共有・検討し、職員間の連携と協働による体制強化を実施する
	2) ケース対応力の質の向上	市-4	a. 勉強会(権利擁護、障害分野、生活福祉分野について)を開催し学びを重ねていくとともに、ケースの把握や緊急対応を含めた実践力や対応力を身につける
	3) 災害対策への対応と支援	市-5	a. B C P リストの作成と未利用者リストを活用する
		市-5	b. 全職員での把握と実践をする
2. 地域課題への取組と地域包括ケアシステムの推進・充実	1) 全職員による地域課題の共有と地域関係者との取組の実施	市-1	a. 小地域ケア会議により得られた課題についての取組を地域関係者とともに考え、解決に向けた取り組みを実施する
		市-1	b. 個別支援会議での検討事項や課題、成果、残された課題をその都度、地域課題として全職員が把握する
	2) 地域のケアマネジャーとの連携	市-4	a. ケアマネジメントの課題を整理し、包括内及び、居宅介護支援事業者と共有していく
		市-4	b. ケアマネジャーとの更なる関係構築とニーズに対する適切な支援の 1 つとして独自の Q&A ツールの活用と情報提供を行う
	3) 地域づくりの取組の周知と内容の充実	市-2	a. ひよし新聞等広報ツールを用いた地域への介護予防に関する情報提供(法人のホームページへの掲載等)を行う
		市-1	b. 戦略シートを用いた取組へのレベルアップを図る
		市-1	c. 昨年度実施した異世代、多世代との活動のレベルアップを図る
		市-1	d. 地域懇談会の開催により、各活動関係者と活動における情報交換と課題の交流を図る
	4) 介護予防活動支援事業の後押しをする	市-2	a. 集いの場グループの担い手支援等の継続支援の充実
		市-2	b. 地域住民へ必要な支援やニーズを把握し、介護予防教室や転倒予防教室の内容に反映させる
	5) 認知症地域支援にむけた取組	市-3	a. キャラバンメイトによる認知症カフェ開催の継続支援
		市-3	b. 『カフェらくだのつぶやき』において企画の内容や検討について後方支援する

令和 7 年度 地域包括支援センター事業計画

国分寺地域包括支援センターひかり

担当区域 光町 高木町 西町 （担当高齢者人口 4,806 人）
 職員配置 7 〈1〉人 看護師 1、社会福祉士 2 〈1〉、主任介護支援専門員 1、
 介護支援専門員 1、認知症地域支援推進員 1、
 生活支援コーディネーター 1 * 〈 〉は管理者と兼務、再掲

● 令和 7 年度 運営方針

- ① 効率的・効果的なチームアプローチで地域全体における支援体制の充実を図る
- ② これまで個々が積み上げたスキルを発展させ相談対応へのチームアプローチを強化する
- ③ 地域・関係機関との連携で地域力を高め、安心して住み続けられるまちづくりをすすめる

● 令和 7 年度 重点事業

重点項目	事業内容	計画区分	実施計画
1. 地域包括支援センターの機能強化・対応力の向上	1) 職員のスキルアップと体制の構築	業務チェック	a. 年間計画に中間総括を位置づけ、進捗状況と課題を可視化することで計画を効率的に遂行する
		市-1 業務チェック	b. 個別支援会議と総合相談の分析を職員全体で行い、抽出された地域課題を念頭に置いた相談支援を実施する
		市-4 業務チェック	c. 業務の再調整を行い、全職員が健康に働き続けられる体制を構築する
		市-1	d. 支援経過を効果的に活用し、チームアプローチをすすめる
	2) 効率的・効果的な関係機関との連携	市-1	a. 個別支援会議を活用し、関係機関と顔の見える関係性を維持することで効果的な役割分担や方針立てを行う
		市-4	b. ケアマネジャーからの相談やニーズを全職種で共有し理解することで連携力を強化する
2. 地域包括支援システムの深化・推進	1) 地域づくりの推進	市-4 業務チェック	a. 住民個人の特技や経験など、得意なことを活かせる地域活動への取組を進める
		市-4 業務チェック	b. これまで繋がった地域活動の担い手との関係性を維持し、担当地域全体の活性化を図る
		市-3 業務チェック	c. 認知症当事者と共に取り組む視点で地域活動を推進する
		市-1	d. 消費者被害・詐欺被害防止のため、人が集う場所での日常的な情報提供や、講座開催を実施し広く市民に周知をすすめる
	2) 地域介護予防活動支援の充実	市-2 業務チェック	a. 自立した地域生活を支援するために、短期集中予防サービスなどの介護予防事業の提案を積極的に行う
		市-2 市-4 業務チェック	b. 介護予防や人とつながるためのツールとして「こくにし富士さんぽマップ」の周知活用を進める
		市-2	c. 集いの場 10 周年の歩みを振り返り、担当地域内 9 か所の横のつながりをつくるため交流会を開催する

【凡例】

市－１　：市 重点施策　（１）地域共生社会の実現

市－２　：市 重点施策　（２）介護予防・健康づくり施策の充実・推進

市－３　：市 重点施策　（３）認知症施策推進大綱を踏まえた認知症施策の推進

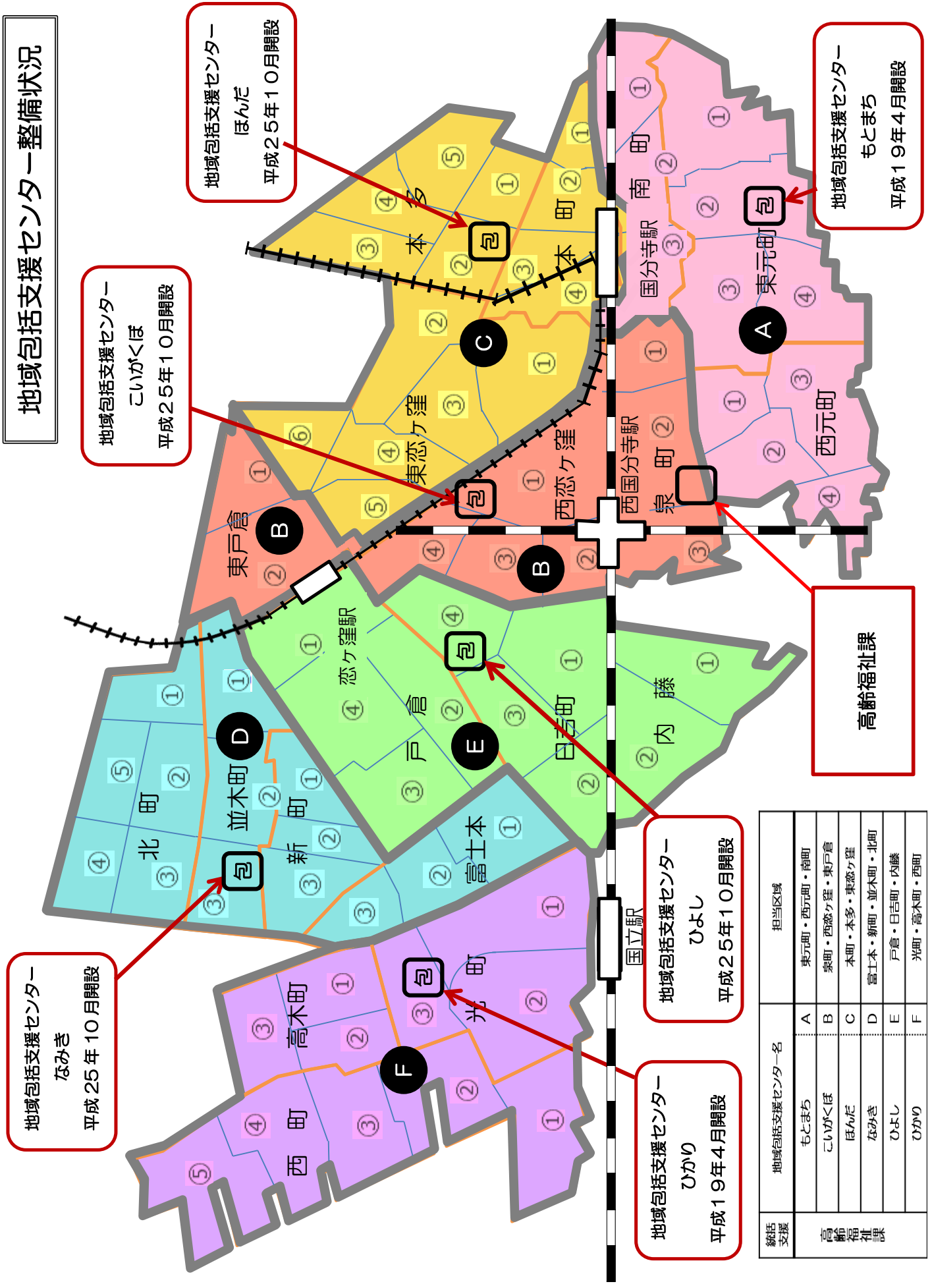
市－４　：市 重点施策　（４）地域包括ケアシステムを支える人材の確保及び介護現場の生産性の向上の推進

市－５　：市 重点施策　（５）災害や感染症対策に係る体制整備

業務チェック：前年度業務チェック票　『④次年度取り組みたい項目』

センター独自：上記以外でセンターが独自に取り組む項目

地域包括支援センター整備状況



統括支援	地域包括支援センター名	担当区域
高齢福祉課	A もとまち	東元町・西元町・南町
	B こいがくぼ	泉町・西恋ヶ窪・東戸倉
	C ほんだ	本町・本多・東恋ヶ窪
	D なみき	富士本・新町・並木町・北町
	E ひよし	戸倉・日吉町・内藤
	F ひかり	光町・高木町・西町

■ 令和7年度 市内地域包括支援体制及び担当区域

高齢福祉課

統括 支援	ブロック	地域包括 支援センター	担当区域				区域内訳				
			人口	高齢者 人口	高齢化率	面積(k㎡)	町名	人口	高齢者 人口	高齢化率	面積(k㎡)
高 齢 福 祉 課	東 部 地 域	もとまち	21,375	4,864	22.8%	1.93	東元町	9,975	2,378	23.8%	0.88
							西元町	4,174	960	23.0%	0.62
							南町	7,226	1,526	21.1%	0.43
		こいがくぼ	19,821	4,399	22.2%	1.58	泉町	9,457	2,147	22.7%	0.50
							西恋ヶ窪	6,454	1,418	22.0%	0.70
							東戸倉	3,910	834	21.3%	0.38
		ほんだ	30,744	5,844	19.0%	2.03	本町	6,914	1,236	17.9%	0.36
							本多	9,163	1,923	21.0%	0.65
							東恋ヶ窪	14,667	2,685	18.3%	1.02
	西 部 地 域	なみき	15,530	3,755	24.2%	1.81	富士本	4,805	1,313	27.3%	0.39
							新町	3,775	886	23.5%	0.31
							並木町	3,281	658	20.1%	0.48
		ひよし	21,864	5,019	23.0%	2.06	北町	3,669	898	24.5%	0.63
							戸倉	8,323	2,082	25.0%	0.89
							日吉町	8,497	1,836	21.6%	0.79
		ひかり	20,244	4,806	23.7%	2.05	内藤	5,044	1,101	21.8%	0.38
							光町	6,589	1,360	20.6%	0.74
							高木町	3,163	777	24.6%	0.35
1	2	6	129,578	28,687	22.1%	11.46	西町	10,492	2,669	25.4%	0.96
							注)人口は令和7年4月1日現在				



©ホッチプロジェクト

令和7年度保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金（インセンティブ交付金）の評価結果について

1 制度の概要

市町村の様々な取組を支援するため、国から交付される交付金である。

取組内容

- ・高齢者の地域における自立した日常生活の支援
- ・要介護状態となることの予防、要介護状態の軽減や悪化の防止
- ・介護給付等に要する費用の適正化

各自治体の取組を客観的な指標で評価し、達成状況（評価指標の総合得点）に応じて交付金額が決定する。

交付金の配分に係る主な評価指標

- ・PDCAサイクルの活用による保険者機能の強化
- ・ケアマネジメントの質の向上
- ・多職種連携による地域ケア会議の活性化
- ・介護予防の推進
- ・介護給付適正化事業の推進
- ・要介護状態の維持・改善の度合い

平成30年度に保険者機能強化推進交付金が創設され、さらに令和2年度には介護予防や健康づくりなどに資する取組を重点的に評価するため、介護保険保険者努力支援交付金が創設された。

2 令和7年度の評価結果

保険者機能強化推進交付金			国分寺市 得点	26市平均 得点
		配点		
目標Ⅰ	持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする	100	58	68.3
目標Ⅱ	公正・公平な給付を行う体制を構築する	100	80	70.6
目標Ⅲ	介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する	100	57	62.9
目標Ⅳ	高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む	100	65	44.4
合計		400	260	246.3
介護保険保険者努力支援交付金			国分寺市 得点	26市平均 得点
		配点		
目標Ⅰ	介護予防/日常生活支援を推進する	100	49	58.7
目標Ⅱ	認知症総合支援を推進する	100	26	53.9
目標Ⅲ	在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する	100	40	75.6
目標Ⅳ	高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む	100	65	44.4
合計		400	180	232.6

3 令和7年度の交付額

保険者機能強化推進交付金 7,428,000円

介護保険保険者努力支援交付金 16,415,000円

隣接市の地域密着型通所介護事業所の指定

1 地域密着型通所介護事業所について

平成28年4月1日より小規模（利用定員18人以下）通所介護サービスの地域密着型サービスへの移行に伴い、原則として事業所が所在する市区町村の被保険者だけが利用できることになり、市外市区町村に所在する地域密着型介護サービスを利用する際には、従前からの地域密着型サービスの指定手続と同様の手続が必要になりました。

ただし、隣接市（立川市・国立市・府中市・小金井市・小平市）については、介護保険法第78条の2第9項の規定により、利用に係る同意不要協定を締結しています。また、同法同条第10項の規定により、指定申請があった場合には、被申請市町村長の指定があったものとみなされます。

令和7年8月2日から令和7年10月1日までに指定を決定した事業所は以下のとおりです。

2 地域密着型通所介護事業所

事業所名	事業所番号	所在地	指定有効期間
サポーターズさかえ	1373002128	東京都立川市栄町3-2	令和7年11月1日 ～ 令和13年10月31日